

第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画 ニーズ調査結果報告書

平成31年3月

小樽市

【目 次】

1	子ども・子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査の実施	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査方法	1
(4)	回収結果	1
(5)	備考	1
2	就学前児童を対象としたニーズ調査の結果	2
2. 1	お子さんご家族の状況	2
2. 2	子どもの育ちをめぐる環境	5
2. 3	母親の就労状況	8
2. 4	父親の就労状況	12
2. 5	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	14
2. 6	お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	22
2. 7	お子さんの病気の際の対応	25
2. 8	お子さんの不定期の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用	28
2. 9	お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況	33
2. 10	お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方	38
2. 11	育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について	45
2. 12	市内中心部における「子育てまちなか拠点スペース」について	56
2. 13	その他	58

3 放課後児童クラブ利用児童を対象としたニーズ調査の結果	69
3. 1 お子さんと家族の状況.....	69
3. 2 お子さんの放課後の過ごし方	72
4 子ども・子育て会議からの提言	83
《資料編》 調査票について	86
(1) 就学前児童用の調査票.....	86
(2) 放課後児童クラブ（小学校 1～3 年生）用の調査票.....	106

1 子ども・子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査の実施

(1) 調査目的

- ・本調査は、「第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、教育・保育事業及び子育て支援事業の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、需要量の見込みなどを算定する基礎資料とするために実施したものです。

(2) 調査対象

- ・小学校就学前児童の保護者 2,000 件
- ・放課後児童クラブ利用児童の保護者 555 件

(3) 調査方法

- ・就学前児童の保護者・・・郵送による配布及び回収。
- ・放課後児童クラブ利用児童（小学校1～3年生対象）の保護者
・・・各所管課から放課後児童クラブを通じて実施。
- ・調査期間は、平成30年11月1日～11月20日

(4) 回収結果

	送付数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	2,000	890	44.5%
(参考)平成25年11月調査時	2,000	888	44.4%
放課後児童クラブ利用児童の保護者	555	476	85.8%
(参考)平成25年11月調査時	508	412	81.1%

(5) 備考

- ・質問に対して無回答であったものを「無回答」と表記している。割合は、無回答分も含めている。
- ・本文中の表における比率は、少数第2位を四捨五入したため、単数回答の項目でも個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・それぞれのグラフ中に表記した「n=〇〇」のnは、回答者総数（もしくは質問対象者総数）を示す。

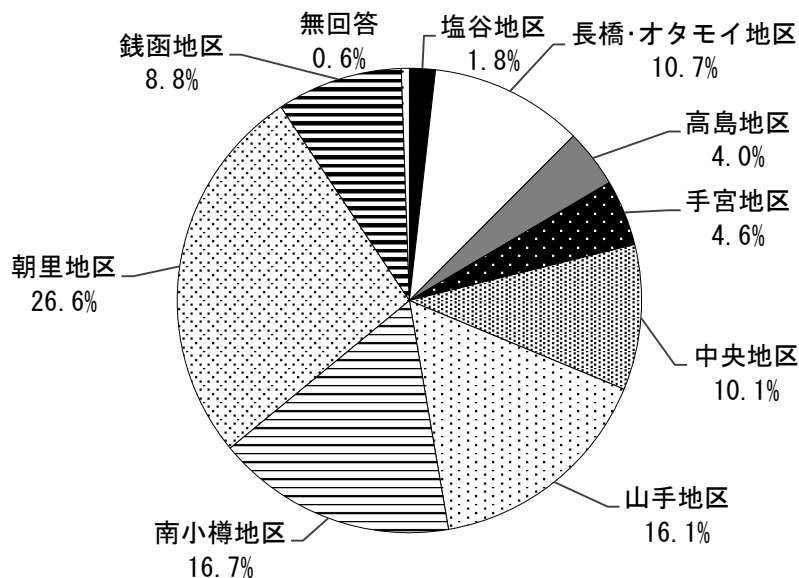
2 就学前児童を対象としたニーズ調査の結果

2. 1 お子さんご家族の状況

問1 お住まいの地区はどちらですか？

- お住まいの地区は、「朝里地区」(26.6%)が最も多く、次いで「南小樽地区」(16.7%)、「山手地区」(16.1%)、「長橋・オタモイ地区」(10.7%)、「中央地区」(10.1%)となった(図表1)。

<図表1 お住まいの地区>



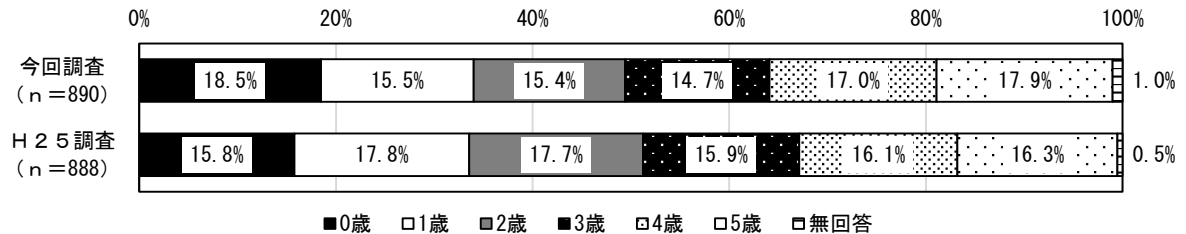
【備考】

塩谷地区	1. 蘭島、2. 忍路、3. 桃内、4. 塩谷
長橋・オタモイ地区	5. オタモイ、6. 幸、7. 長橋、8. 旭町
高島地区	9. 祝津、10. 赤岩、11. 高島
手宮地区	12. 手宮、13. 末広町、14. 梅ヶ枝町、15. 錦町、16. 清水町、17. 豊川町、18. 石山町、19. 色内3丁目
中央地区	20. 稲穂、21. 花園、22. 色内1・2丁目、23. 港町、24. 塚町、25. 東雲町、26. 山田町、27. 相生町、28. 入船1・2丁目
山手地区	29. 富岡、30. 緑、31. 最上、32. 松ヶ枝、33. 入船3~5丁目、34. 天狗山
南小樽地区	35. 住ノ江、36. 住吉町、37. 有幌町、38. 信香町、39. 若松、40. 奥沢、41. 天神、42. 真栄、43. 潮見台、44. 新富町、45. 勝納町、46. 若竹町、47. 築港
朝里地区	48. 桜、49. 船浜町、50. 朝里、51. 新光、52. 望洋台、53. 新光町、54. 朝里川温泉
銭函地区	55. 張碓町、56. 春香町、57. 桂岡町、58. 銭函、59. 見晴町、60. 星野町

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

・子どもの年齢は、0歳、4歳、5歳が18%前後、1歳～3歳が15%前後となった（図表2）。

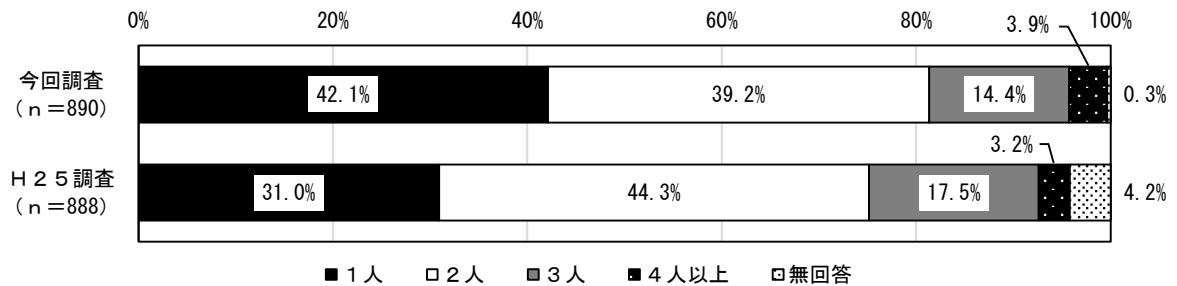
＜図表2 子どもの年齢＞



問3 あて名のお子さんは何人きょうだいですか？ あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

・きょうだいの数は「1人」（42.1%）が最も多く、次いで「2人」（39.2%）となった（図表3）。

＜図表3 きょうだいの数＞

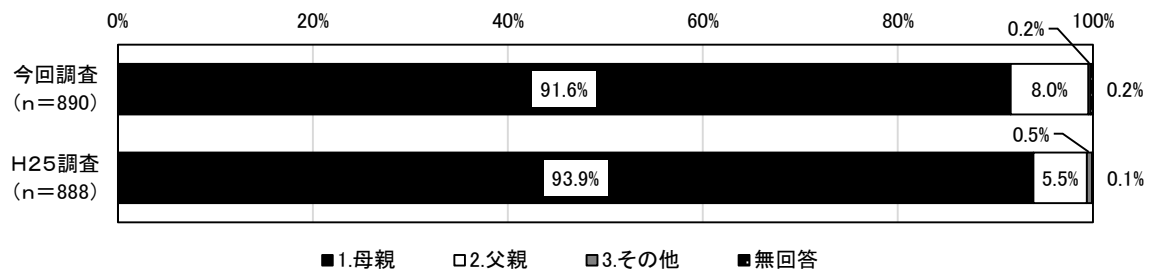


H25調査と比較すると、一人っ子世帯が増加し、二人きょうだい世帯を逆転した。

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか？ あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに〇)

・回答者は「母親」が91.6%、「父親」が8.0%となった(図表4)。

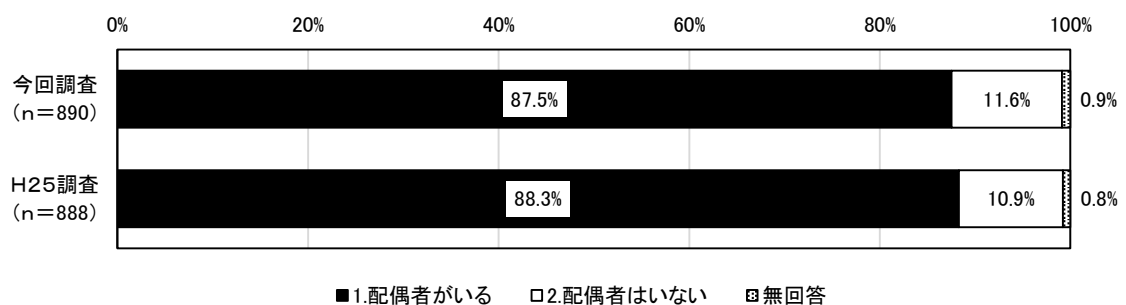
<図表4 回答者>



問5 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに〇)

・回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が87.5%、「配偶者はいない」が11.6%となった(図表5)。

<図表5 回答者の配偶関係>

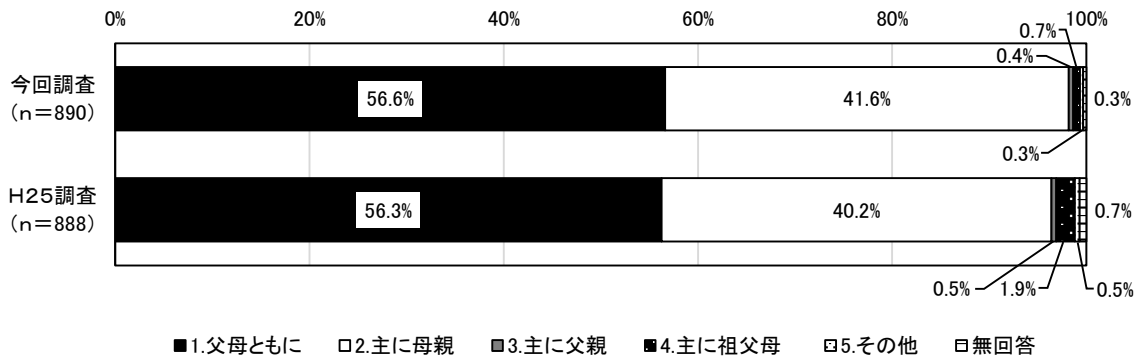


H25 調査と比較すると、ひとり親世帯が増加した。

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか？
（お子さんからみた関係で1つに○）

- ・子育てを主に行っている方は、「父母ともに」（56.6%）が最も多く、次いで「主に母親」（41.6%）となった（図表6）。

<図表6 子育てを主に行っている方>

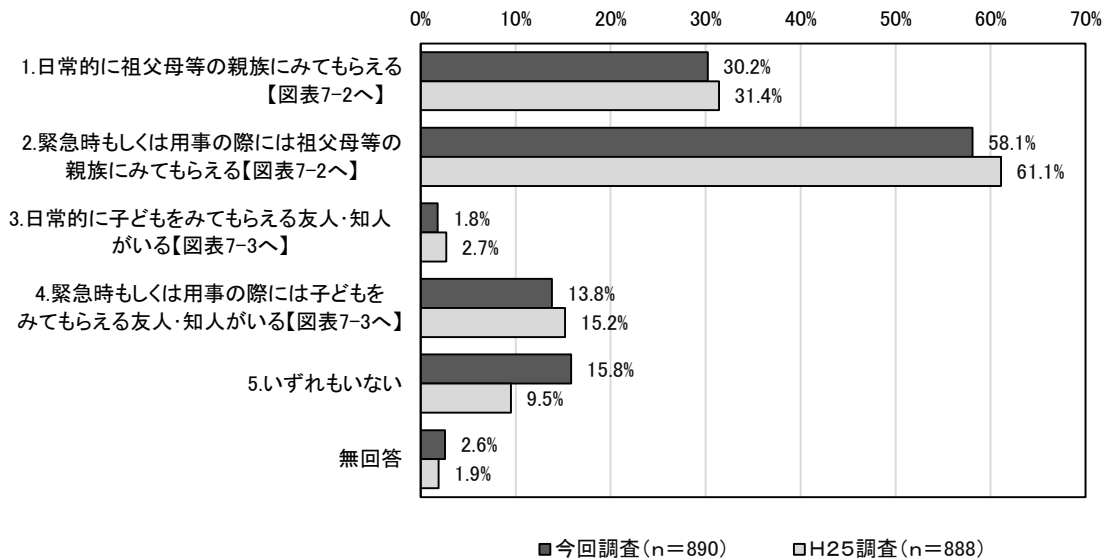


2. 2 子どもの育ちをめぐる環境

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親戚・知人はいますか？ 預かってもらうことに関する状況とあわせてお答えください。（当てはまる番号すべてに○）

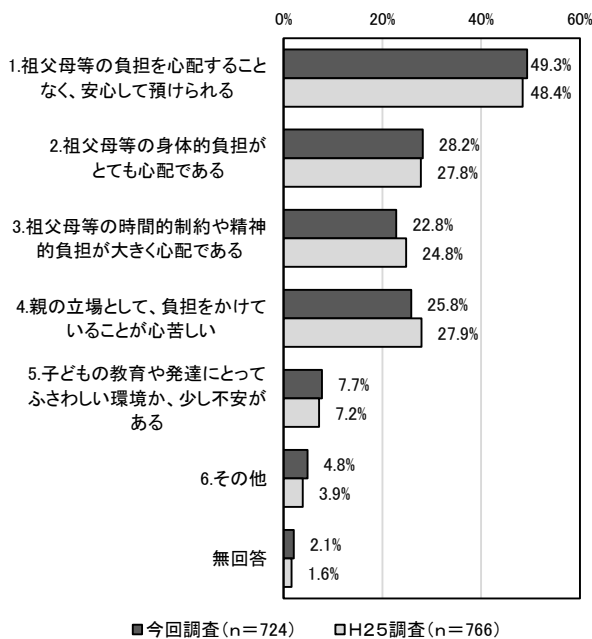
- ・お子さんを預かってもらえる人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」（58.1%）が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（30.2%）となった（図7-1）。
- ・「祖父母等の親族に預かってもらえる」方の預かってもらうことに関する状況は、「祖父母等の負担を心配することなく、安心して預けられる」（49.3%）が最も多く、次いで「祖父母等の身体的負担がとても心配である」（28.2%）、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（25.8%）、「祖父母等の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」（22.8%）となった（図表7-2）。
- ・「友人・知人に預かってもらえる」方の預かってもらうことに関する状況は、「友人・知人の負担を心配することなく、安心して預けられる」（45.6%）が最も多く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（32.4%）、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」（16.9%）となった（図表7-3）。

＜図表 7-1 預かってもらえる人の有無＞

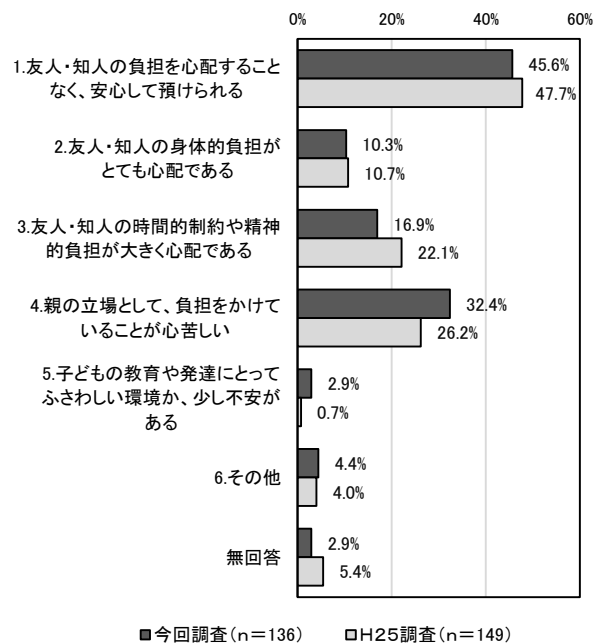


H25 調査と比較すると、「いずれもない」が増加した。

＜図表 7-2 預かってもらうことに関する状況＞
（祖父母等の親族に預かってもらえる方）



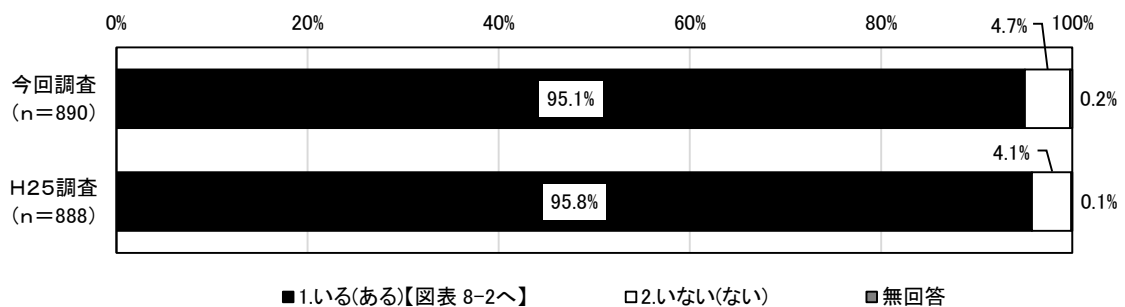
＜図表 7-3 預かってもらうことに関する状況＞
（友人・知人に預かってもらえる方）



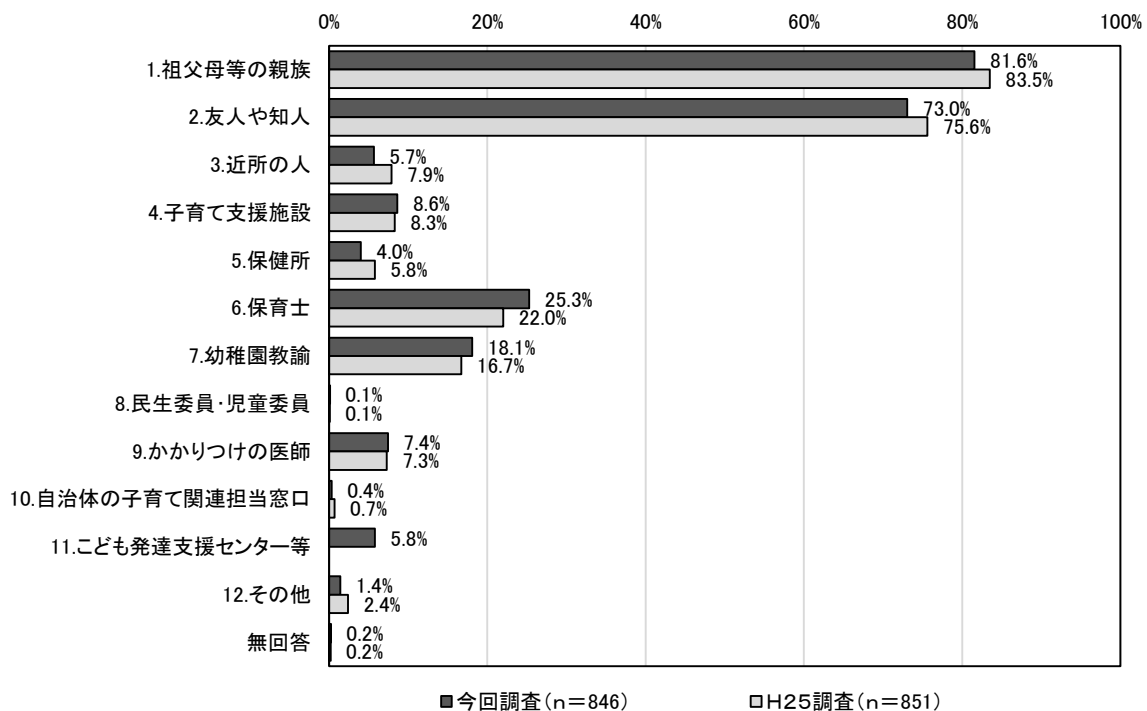
問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）？（どちらかに○）また、その相談先についてお答えください。（当てはまる番号すべてに○）

- ・子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無は、「いる（ある）」が95.1%、「いない（ない）」が4.7%となった（図表8-1）。
- ・子育てについて気軽に相談できる人（場所）が「いる（ある）」方の相談相手（場所）は、「祖父母等の親族」（81.6%）が最も多く、次いで「友人や知人」（73.0%）となった。また、「保育士」（25.3%）や「幼稚園教諭」（18.1%）も、やや多くなった（図表8-2）。

<図表8-1 相談先の有無>



<図表8-2 相談相手(場所)>



H25 調査と比較すると、「保育士」や「幼稚園教諭」とする割合が増加した。

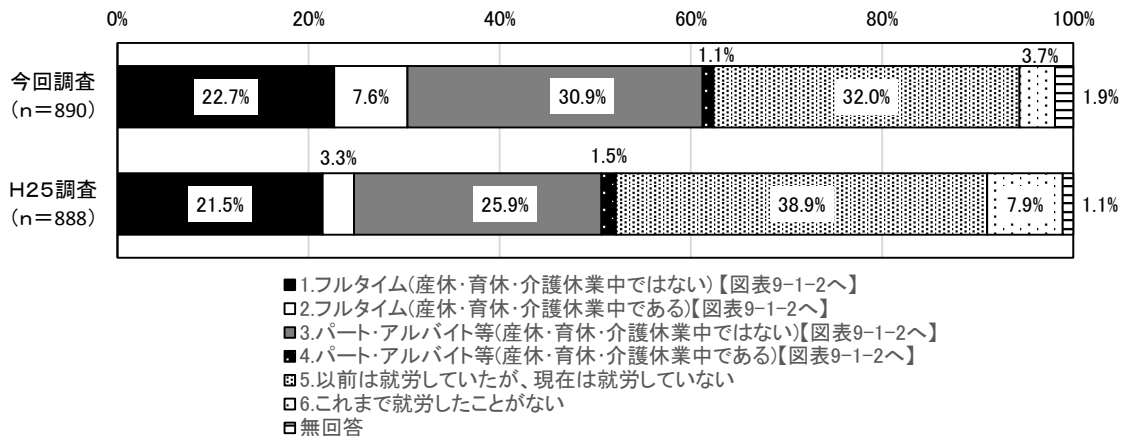
2. 3 母親の就労状況

問 9-1 就労状況と就労時間【母親】

母親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。

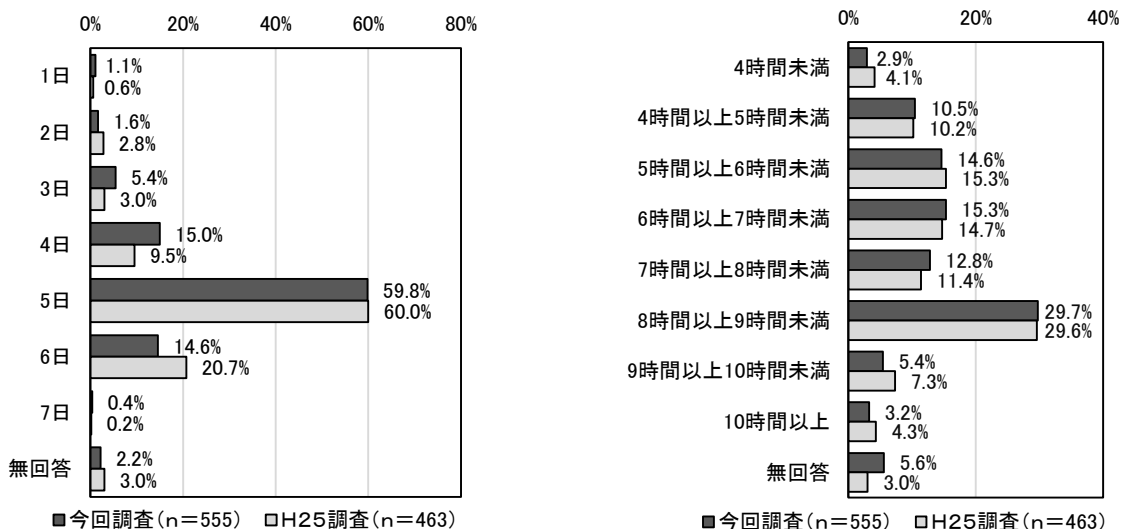
- ・母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（32.0%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（30.9%）、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（22.7%）となった（図表 9-1-1）。
- ・1週当たりの就労日数は、「5日」（59.8%）が最も多く、次いで「4日」（15.0%）となった（図表 9-1-2）。
- ・1日当たりの就労時間は、「8時間」（29.7%）が最も多く、次いで「6時間」（15.3%）、「5時間」（14.6%）となった（図表 9-1-2）。

<図表 9-1-1 母親の就労状況>



H25 調査と比較すると、未就労者は減少し、フルタイム、パート・アルバイト等が増加した。

<図表 9-1-2 1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間(母親)>



クロス集計

「母親の就労状況」を子どもの「年齢別」で見ると、子どもが2歳までは「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が高いが、3歳以上になると「フルタイム」「パート等」の割合が高くなっている。

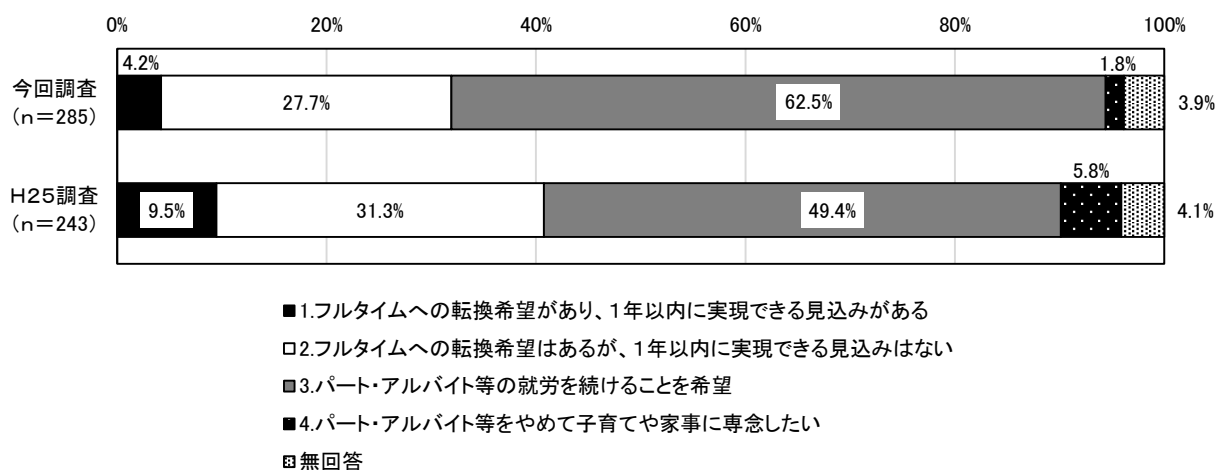
		問9-1. 就労状況（母親）							
		合計	1:フルタイム (産休・育休・介護休業中ではない)	3:フルタイム (産休・育休・介護休業中)	3:パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中ではない)	4:パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中である)	5:以前は就労していたが、現在は就労していない	6:これまで就労したことがない	無回答
全体		890	202	68	275	10	285	33	17
		100.0%	22.7%	7.6%	30.9%	1.1%	32.0%	3.7%	1.9%
年齢	0歳	165	7	49	12	5	85	3	4
		100.0%	4.2%	29.7%	7.3%	3.0%	51.5%	1.8%	2.4%
	1歳	138	31	6	41	1	53	3	3
		100.0%	22.5%	4.3%	29.7%	0.7%	38.4%	2.2%	2.2%
	2歳	137	32	7	44	1	46	7	0
		100.0%	23.4%	5.1%	32.1%	0.7%	33.6%	5.1%	0.0%
	3歳	131	42	3	40	2	39	4	1
		100.0%	32.1%	2.3%	30.5%	1.5%	29.8%	3.1%	0.8%
	4歳	151	43	2	60	0	37	6	3
		100.0%	28.5%	1.3%	39.7%	0.0%	24.5%	4.0%	2.0%
5歳	159	45	1	76	0	22	9	6	
	100.0%	28.3%	0.6%	47.8%	0.0%	13.8%	5.7%	3.8%	
無回答		9	2	0	2	1	3	1	0
		100.0%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%

問 9-2 フルタイムへの転換希望【母親】

問 9-1 で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○を付けた方に伺います。フルタイムへの転換希望はありますか？（1つに○）

・パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（62.5%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内の実現できる見込みはない」（27.7%）となった（図表 9-2-1）。

<図表 9-2-1 フルタイムへの転換希望(母親)>



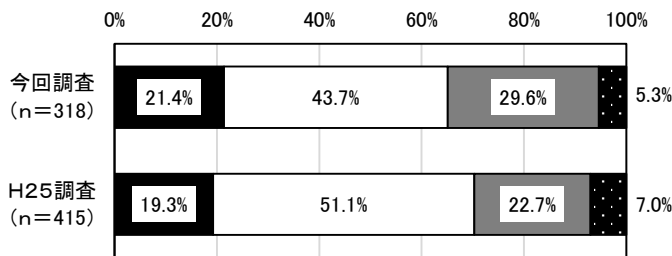
H25 調査と比較すると、パート等で就労している者のフルタイムへの転換希望について、現在の「パート等続けることを希望する」者が増加した。

問 9-3 就労希望【母親】

問 9-1 で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○を付けた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか？（1つに○）

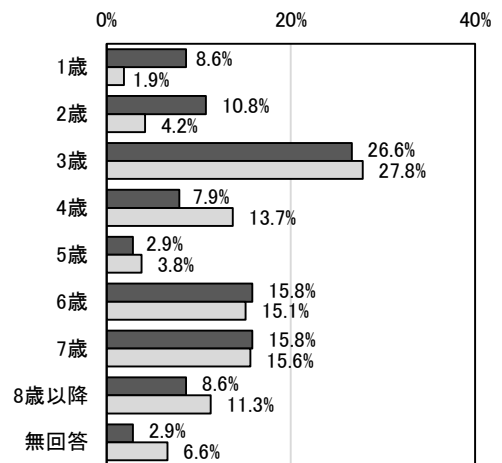
- ・現在就労していない方の就労希望は、「1年以上先に就労したい」（43.7%）が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（29.6%）となった。また、「1年以上先に就労したい」と回答した方の希望する就労時期は、一番下の子どもが「3歳」になったころ（26.6%）が最も多い（図表 9-3-1、図表 9-3-2）。
- ・「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労形態は、「パート、アルバイト等（フルタイム以外）」（81.9%）、「フルタイム」（13.8%）となった。また、希望する就労時間は、1週当たり「4日」（36.4%）、1日当たり「5時間」（48.1%）が最も多い（図表 9-3-3、図表 9-3-4）。

＜図表 9-3-1 就労希望(母親)＞



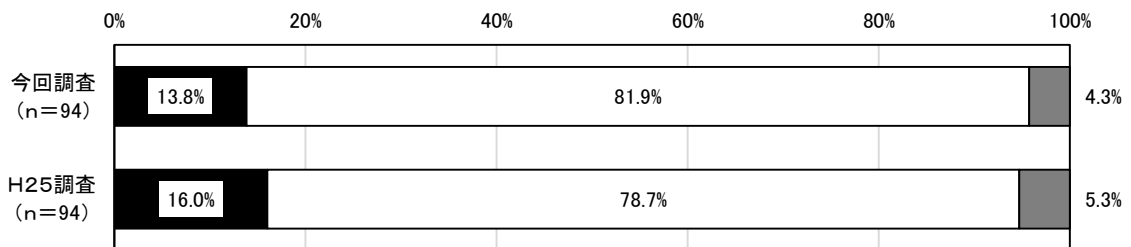
- 1.子育てや家事などに専念したい
- 2.1年以上先、一番下の子ども()歳になったころ就労したい【図表9-3-2へ】
- 3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい【図表9-3-3へ】
- 無回答

＜図表 9-3-2 希望する就労時期(母親) 一番下の子どもの年齢＞



■ 今回調査 (n=139) □ H25調査 (n=212)

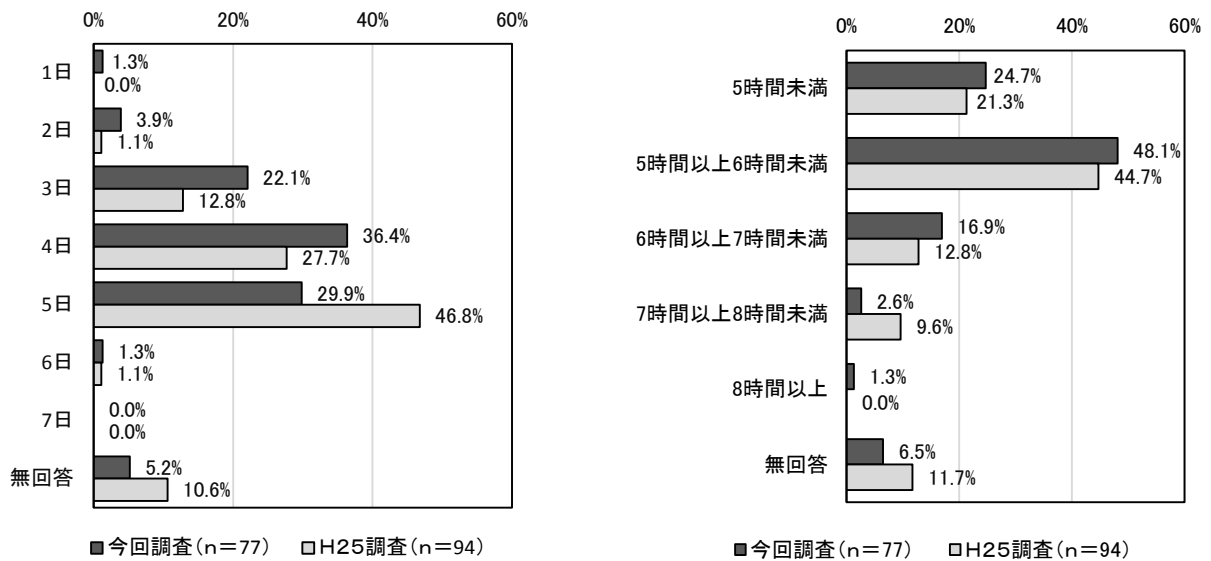
＜図表 9-3-3 希望する就労形態(母親)＞



■ 1.フルタイム □ 2.パート、アルバイト等【図表9-3-4へ】 ■ 無回答

H25 調査と比較すると、未就労者のうち「すぐにでも、1年以内に就労したい」者の希望する就業形態について、「パート・アルバイト等」が増加した。

＜図表 9-3-4 希望する1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間（母親）＞



2. 4 父親の就労状況

問 10-1 就労状況と就労時間【父親】

父親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。また、育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。

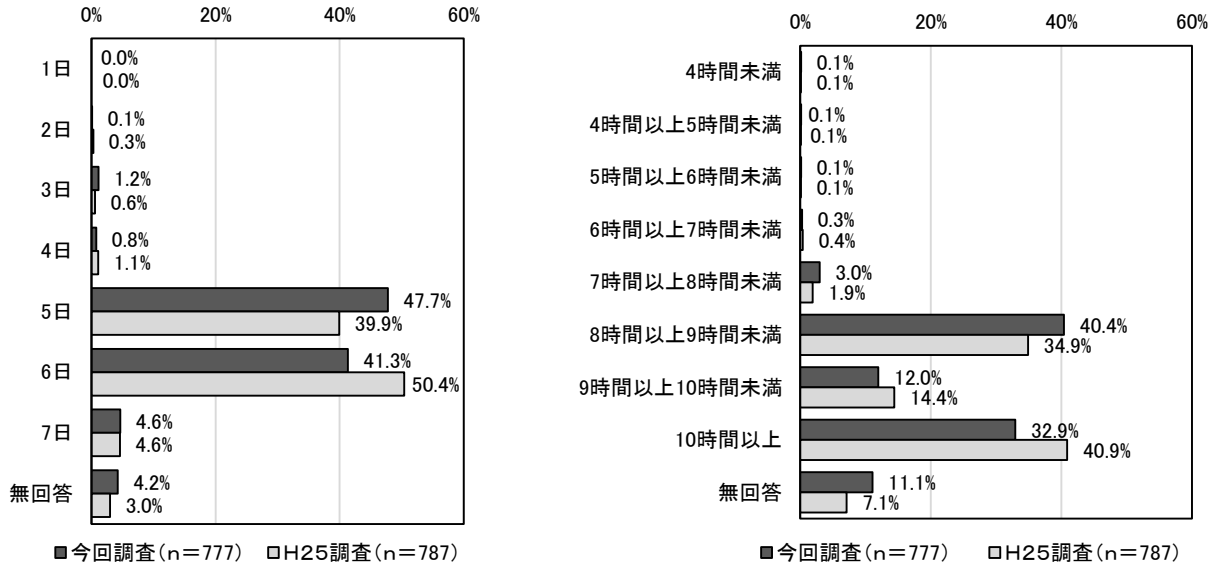
- 父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（86.6%）と圧倒的に多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（0.8%）、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」（0.4%）、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」（0.2%）となった。
「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」、「これまで就労したことがない」はともに該当者なし（図表 10-1-1）。
- 1週当たりの就労日数は、「5日」（47.7%）が最も多く、次いで「6日」（41.3%）となった。1日当たりの就労時間は「8時間」（40.4%）が最も多く、次いで「10時間以上」（32.9%）となった（図表 10-1-2）。

<図表 10-1-1 就労状況(父親)>



- 1.フルタイム(育休・介護休業中ではない)【図表10-1-2へ】
- 2.フルタイム(育休・介護休業中である)【図表10-1-2へ】
- 3.パート・アルバイト等(育休・介護休業中ではない)【図表10-1-2へ】
- 4.パート・アルバイト等(育休・介護休業中である)【図表10-1-2へ】
- 5.以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6.これまで就労したことがない
- 無回答

<図表 10-1-2 1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間(父親)>



問 10-2 フルタイムへの転換希望【父親】

問 10-1 で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○を付けた方にかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか？（1つに○）

- ・パート・アルバイト等で就労している方（4名）のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内に実現できる見込みはない」が2名、「フルタイムへの転換希望があり、1年以内に実現できる見込みがある」が1名となった。

問 10-3 就労希望【父親】

問 10-1 で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○を付けた方にかがいます。就労したいという希望はありますか？（1つに○）

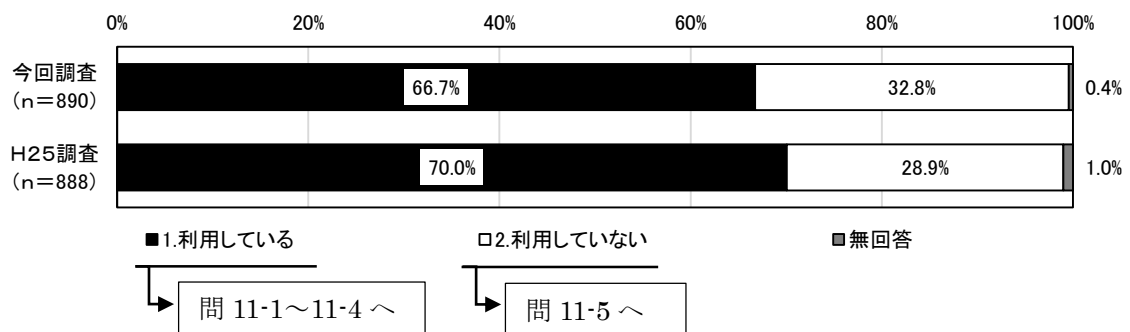
- ・現在就労していない方（7名）の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4名、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1名となった。
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方（4名）の希望する就労形態は、「フルタイム」が3名となった。

2. 5 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか？（1つに○）

- ・お子さんの現在の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が66.7%、「利用していない」が32.8%となった（図表 11）。

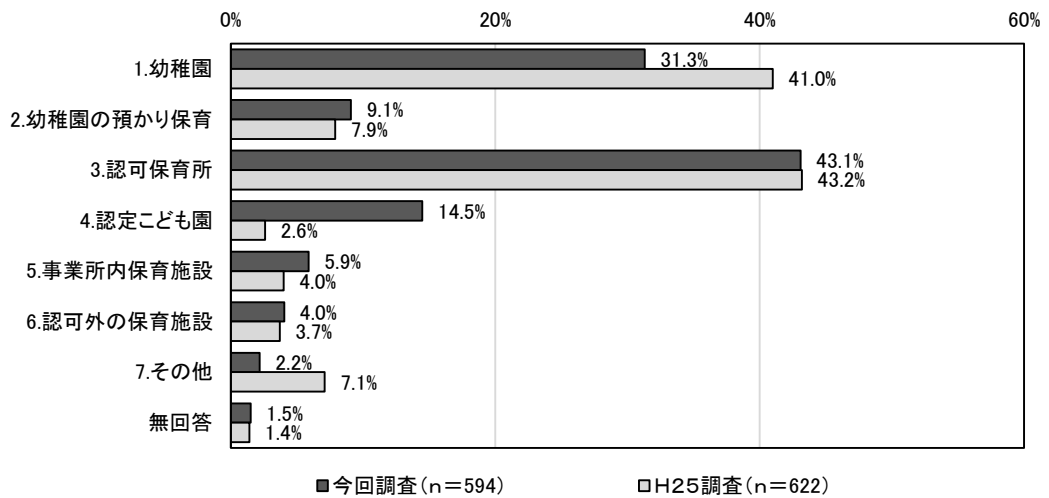
<図表 11 定期的な教育・保育事業の利用状況>



問 11-1 問 11-1～問 11-4 は、問 11 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか？年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（利用しているものすべてに○）

・「定期的な教育・保育事業を利用している」方の実際に利用している教育・保育事業は、「認可保育所」（43.1％）が最も多く、次いで「幼稚園」（31.3％）、「認定こども園」（14.5％）「幼稚園の預かり保育」（9.1％）となった（図表 11-1）。

<図表 11-1 定期的に利用している教育・保育事業>



H25 調査と比較すると、「認定こども園」が増加し、「幼稚園の預かり保育」を逆転した。

クロス集計

「平日の定期的な教育・保育の利用状況」を子どもの「年齢別」で見ると、子どもが1歳になるころから、教育・保育事業の利用が増え始めている。また、年齢が高くなるにつれ、保育所から幼稚園利用の割合が増える傾向にある。

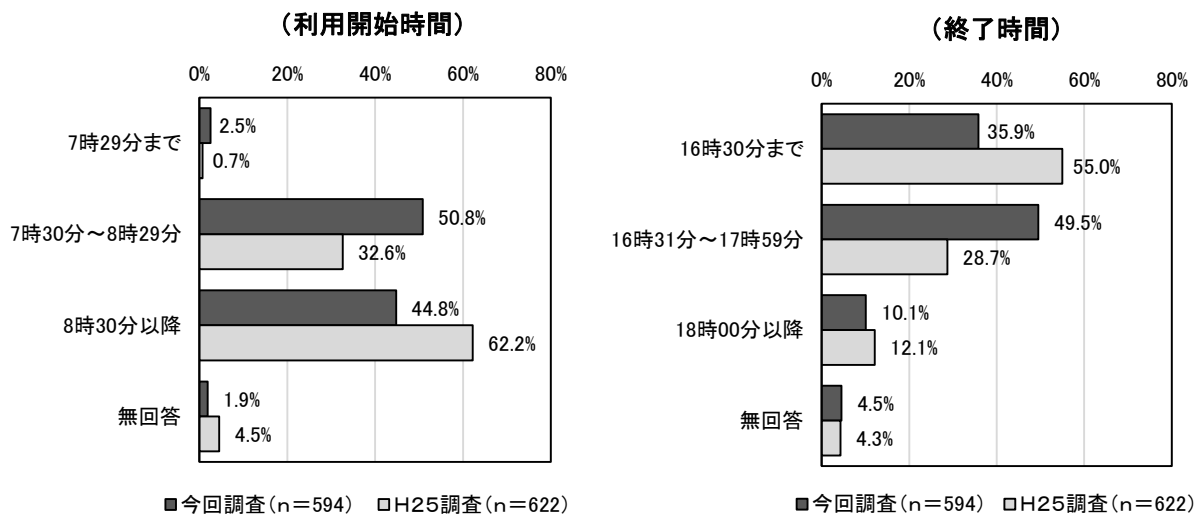
		合計	問11. 教育・保育事業の利用有無		
			1:利用している	2:利用していない	無回答
	全体	890	594	292	4
		100.0%	66.7%	32.8%	0.4%
年齢	0歳	165	18	147	0
		100.0%	10.9%	89.1%	0.0%
	1歳	138	68	69	1
		100.0%	49.3%	50.0%	0.7%
	2歳	137	80	56	1
		100.0%	58.4%	40.9%	0.7%
	3歳	131	115	16	0
		100.0%	87.8%	12.2%	0.0%
	4歳	151	146	3	2
		100.0%	96.7%	2.0%	1.3%
5歳	159	159	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
無回答	9	8	1	0	
	100.0%	88.9%	11.1%	0.0%	

		問11-1. 教育・保育事業の利用施設									
		合計	1:幼稚園	2:幼稚園の預かり保育	3:認可保育所	4:認定こども園	5:事業所内保育施設	6:認可外の保育施設	7:その他	無回答	非該当
	全体	594	186	54	256	86	35	24	13	9	296
		100.0%	31.3%	9.1%	43.1%	14.5%	5.9%	4.0%	2.2%	1.5%	
年齢	0歳	18	1	0	9	1	4	2	1	0	147
		100.0%	5.6%	0.0%	50.0%	5.6%	22.2%	11.1%	5.6%	0.0%	
	1歳	68	0	1	43	6	8	7	3	1	70
		100.0%	0.0%	1.5%	63.2%	8.8%	11.8%	10.3%	4.4%	1.5%	
	2歳	80	2	1	58	7	4	7	1	1	57
		100.0%	2.5%	1.3%	72.5%	8.8%	5.0%	8.8%	1.3%	1.3%	
	3歳	115	42	11	44	20	6	2	5	0	16
		100.0%	36.5%	9.6%	38.3%	17.4%	5.2%	1.7%	4.3%	0.0%	
	4歳	146	72	22	49	17	5	4	1	1	5
		100.0%	49.3%	15.1%	33.6%	11.6%	3.4%	2.7%	0.7%	0.7%	
5歳	159	68	19	51	34	7	1	1	4	0	
	100.0%	42.8%	11.9%	32.1%	21.4%	4.4%	0.6%	0.6%	2.5%		
無回答	8	1	0	2	1	1	1	1	2	1	
	100.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%		

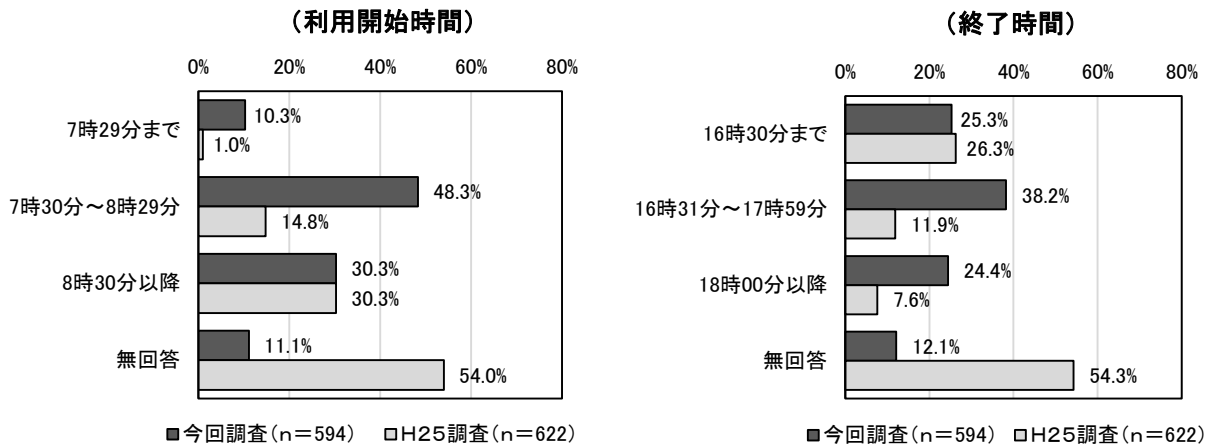
問 11-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在の利用時間と希望する利用時間をお答えください。(それぞれ1つに○)

- ・利用開始時間と終了時間についてみると、利用開始時間は現在・希望とも「7時30分～8時29分」が多く、終了時間は現在・希望とも「16時31分～17時59分」が多い(図表 11-2-1、図表 11-2-2)。

<図表 11-2-1 現在の利用時間 >



＜図表 11-2-2 希望する利用時間＞

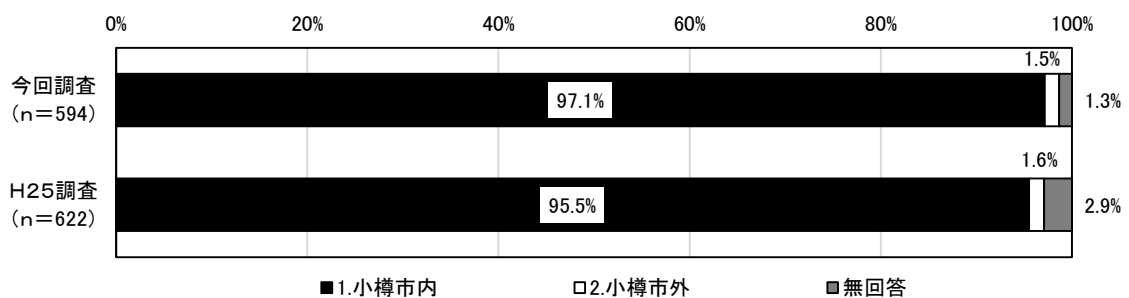


H25 調査と比較すると、利用時間は、現在・希望とも、長時間化した。が、現行の各保育所施設等の開所時間（概ね 7 時 30 分～18 時 00 分）はニーズに見合っていると考えられる。

問 11-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか？（1 つに○）

・「定期的な教育・保育事業を利用している」方の現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「小樽市内」が 97.1%、「小樽市外」が 1.5%となった（図表 11-3）。

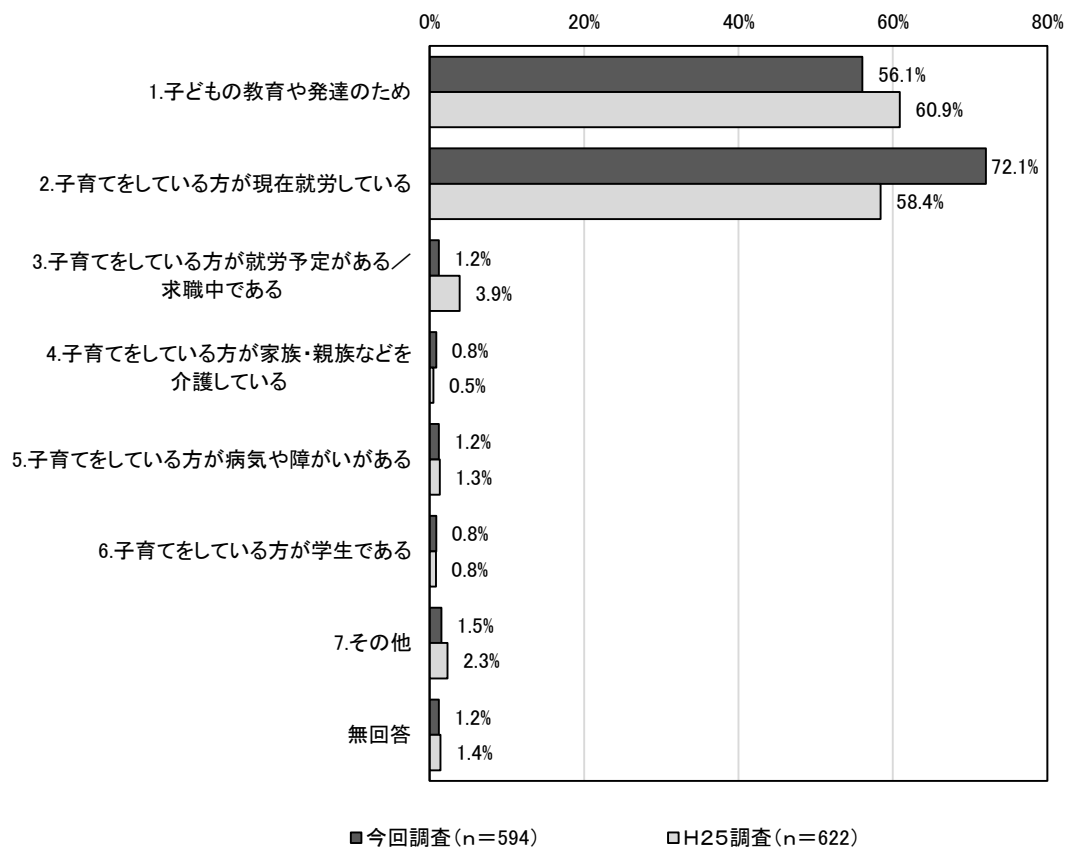
＜図表 11-3 現在利用している教育・保育事業の実施場所＞
（定期的な教育・保育事業を利用している方）



問 11-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか？（当てはまる番号すべてに○）

・「定期的な教育・保育事業を利用している」方の理由は、「子育てをしている方が現在就労している」（72.1%）が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（56.1%）となった（図表 11-4）。

＜図表 11-4 定期的に教育・保育事業を利用している理由＞

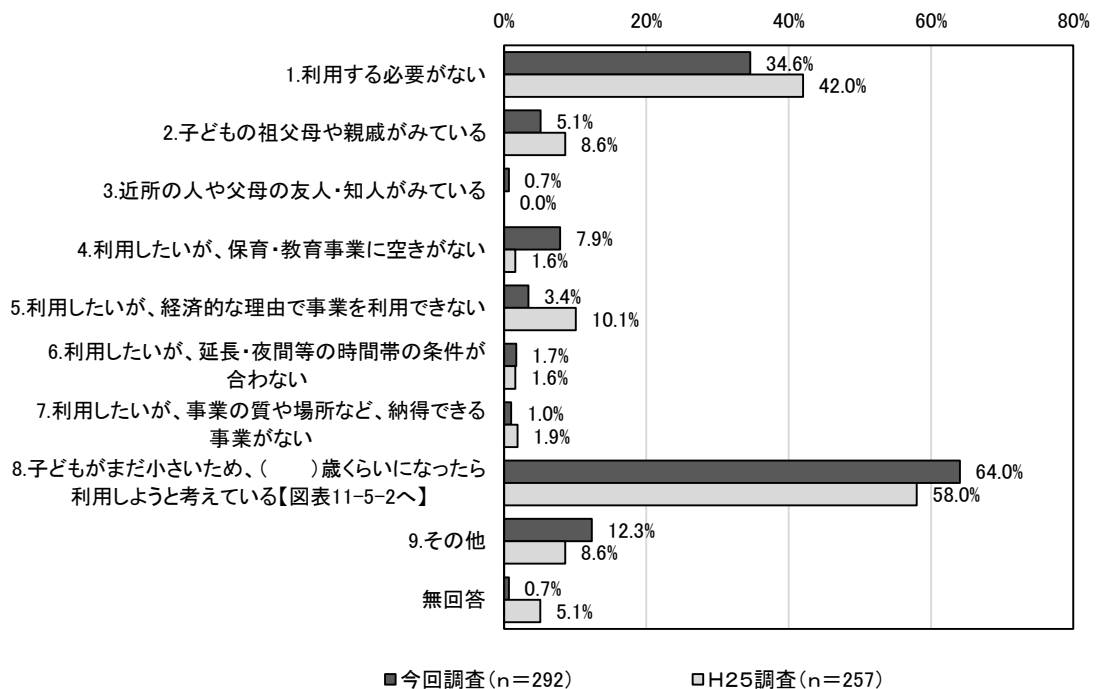


H25 調査と比較すると、利用する理由に変化が見られた。（「現在就労」にシフト）

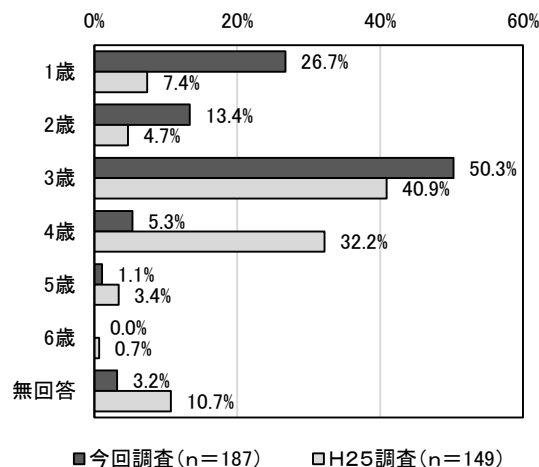
問 11-5 問 11 で「2. 利用していない」に○を付けた方にかがいます。利用していない理由は何ですか？（当てはまる番号すべてに○）

- ・「定期的な教育・保育事業を利用していない」方の理由は、「子どもがまだ小さいため」（64.0%）が最も多く、次いで「利用する必要がない」（34.6%）となった（図表 11-5-1）。
- ・「子どもがまだ小さいため」と回答した方について、子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているか尋ねた結果、「3歳」（50.3%）が最も多く、次いで「1歳」（26.7%）となった（図表 11-5-2）。

<図表 11-5-1 定期的に教育・保育事業を利用していない理由>



<図表 11-5-2 定期的に教育・保育事業を利用したい子どもの年齢>

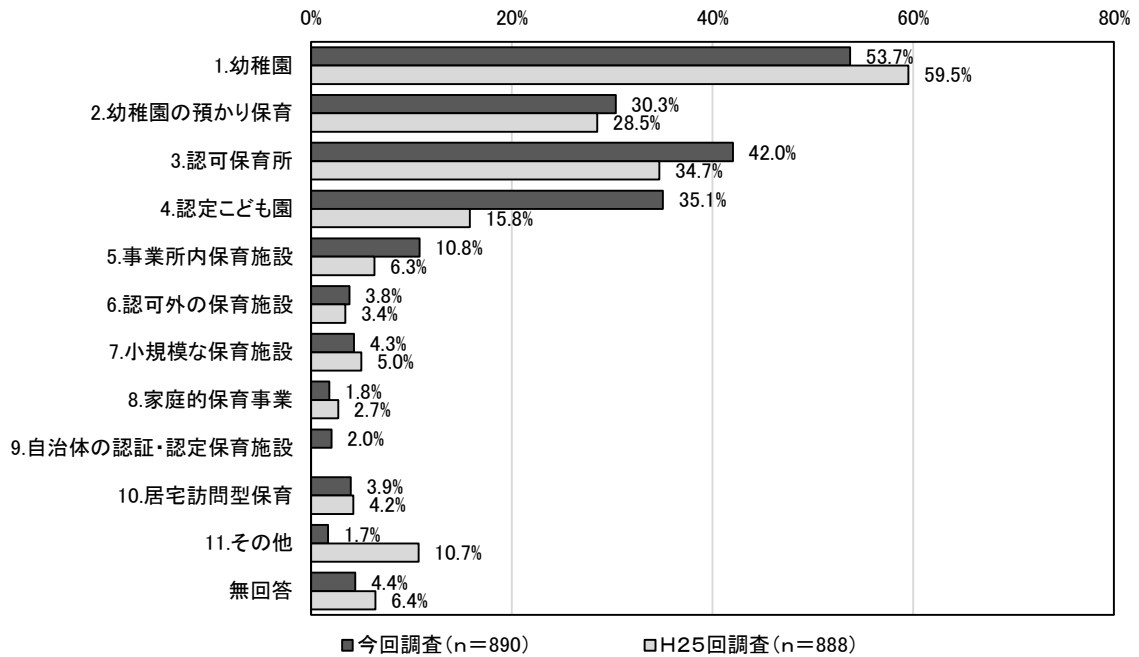


H25 調査と比較すると、利用を始めたい子どもの年齢が低年齢化した。

問 12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業で、「定期的に」利用したい事業は何ですか？（当てはまる番号すべてに○）

- ・現在の利用有無にかかわらず平日の教育・保育事業で「定期的に」利用したい事業は、「幼稚園」（53.7%）が最も多く、次いで「認可保育所」（42.0%）、「認定こども園」（35.1%）、「幼稚園の預かり保育」（30.3%）となった（図表 12）。

<図表 12 定期的に利用したい教育・保育事業>

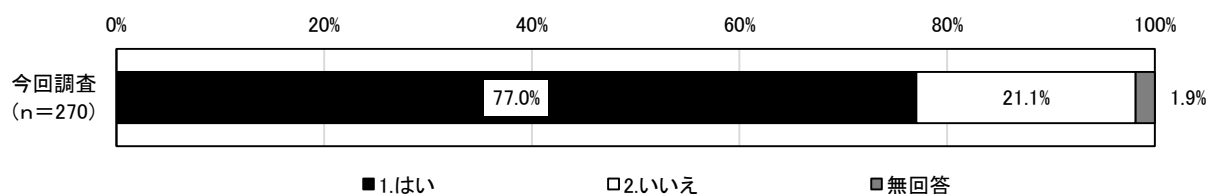


H25 調査と比較すると、「認定こども園」の利用希望が特に増加した。

問 12-1 問 12 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○を付け、かつ「3.」～「11.」にも○を付けた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか？（1つに○）

- ・幼稚園又は保育所等を利用したい方のうち、幼稚園の利用を強く希望する方が 77.0% となった（図表 12-1）。

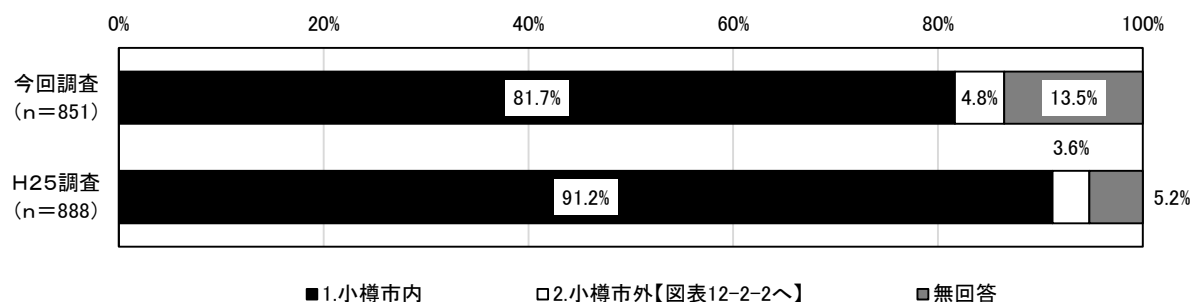
<図表 12-1 幼稚園利用の希望>



問 12-2 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか？ また、「2. 小樽市外」に○を付けた方は、その理由をお答えください。(1つに○)

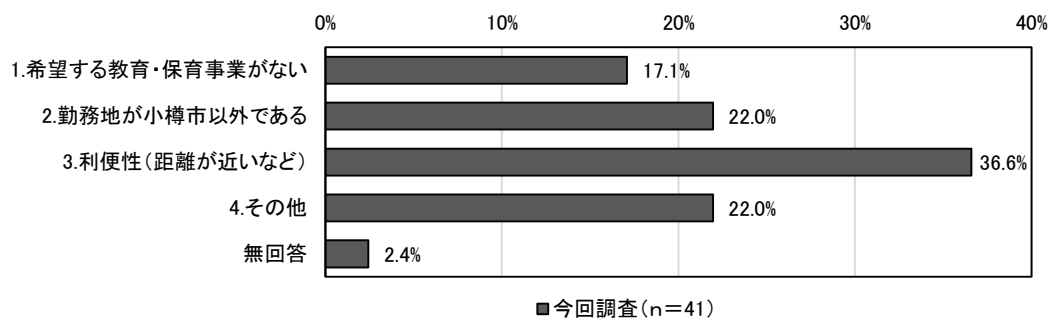
- ・教育・保育事業を利用したい場所は、「小樽市内」が 81.7%、「小樽市外」が 4.8%となった(図表 12-2-1)。
- ・「小樽市外」を希望する理由としては、「利便性(距離が近いなど)」(36.6%)が最も多く、次いで「勤務地が小樽市以外である」(22.0%)となった(図表 12-2-2)。

＜図表 12-2-1 教育・保育事業を利用したい場所＞



H25 調査と比較すると、市外での利用希望が増加した。

＜図表 12-2-2 小樽市外を選んだ理由＞



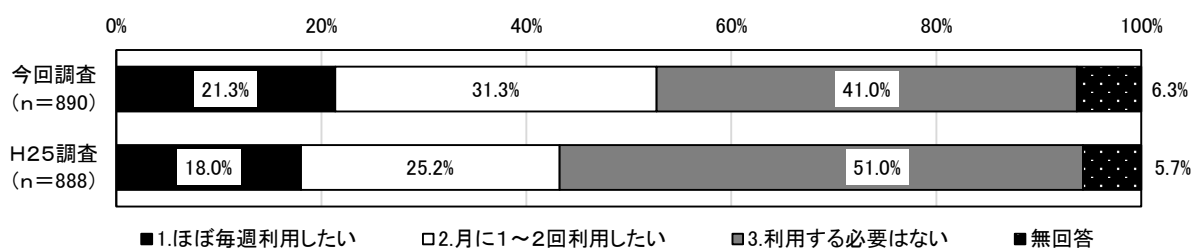
2. 6 お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

問 13 あて名のお子さんについて、土・日・祝日及び春・夏・冬休みなどの長期休暇中における定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか？（一時的な利用は除く）利用希望の有無をお答えください。長期休暇中については、幼稚園利用者のみお答えください。

① 土曜日

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」（41.0％）が最も多く、次いで「月1～2回利用したい」（31.3％）、「ほぼ毎週利用したい」（21.3％）となった（図表 13-1）。

<図表 13-1 定期的な教育・保育事業の利用希望(土曜日)>

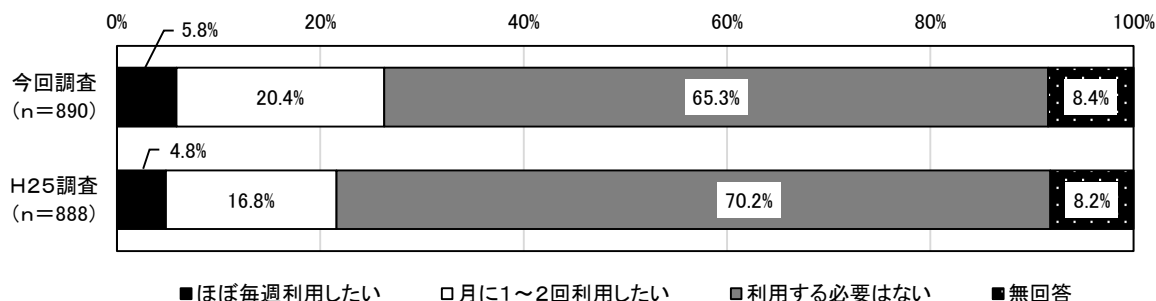


H25 調査と比較すると、利用希望が増加した。

② 日曜日・祝日

- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」（65.3％）が最も多く、次いで「月1～2回利用したい」（20.4％）、「ほぼ毎週利用したい」（5.8％）となった（図表 13-2）。

<図表 13-2 定期的な教育・保育事業の利用希望(日曜日・祝日)>

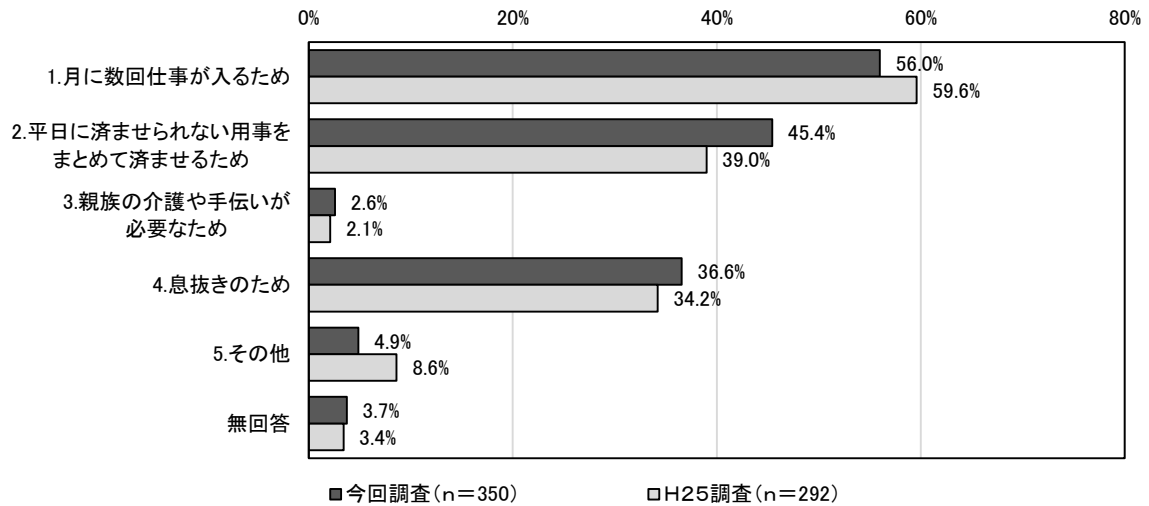


H25 調査と比較すると、利用希望が増加した。

③ 土曜日、日曜日・祝日にたまに利用したい理由

- 土曜日あるいは日曜日・祝日に「月1～2回利用したい」方のたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」(56.0%)が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(45.4%)、「息抜きのため」(36.6%)となった(図表13-3)。

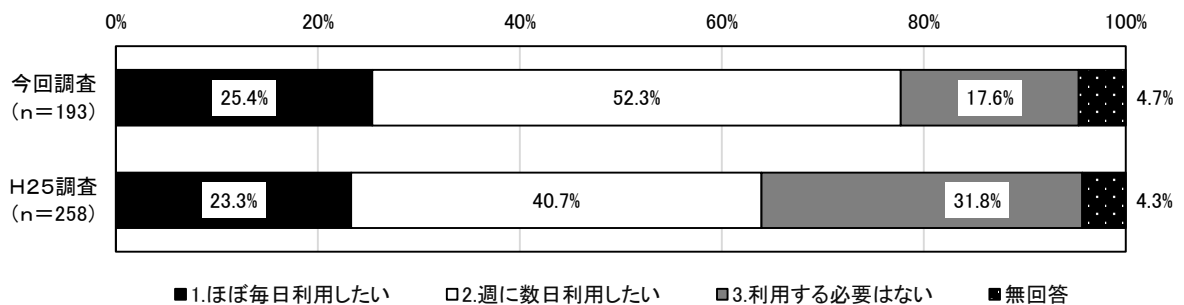
<図表13-3 定期的な教育・保育事業の利用希望(土曜日、日曜日・祝日)>



④ 長期休暇中(幼稚園利用者のみ)

- 長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「週に数日利用したい」(52.3%)が最も多く、次いで「ほぼ毎日利用したい」(25.4%)、「利用する必要はない」(17.6%)となった(図表13-4)。

<図表13-4 定期的な教育・保育事業の利用希望(長期休暇中)>

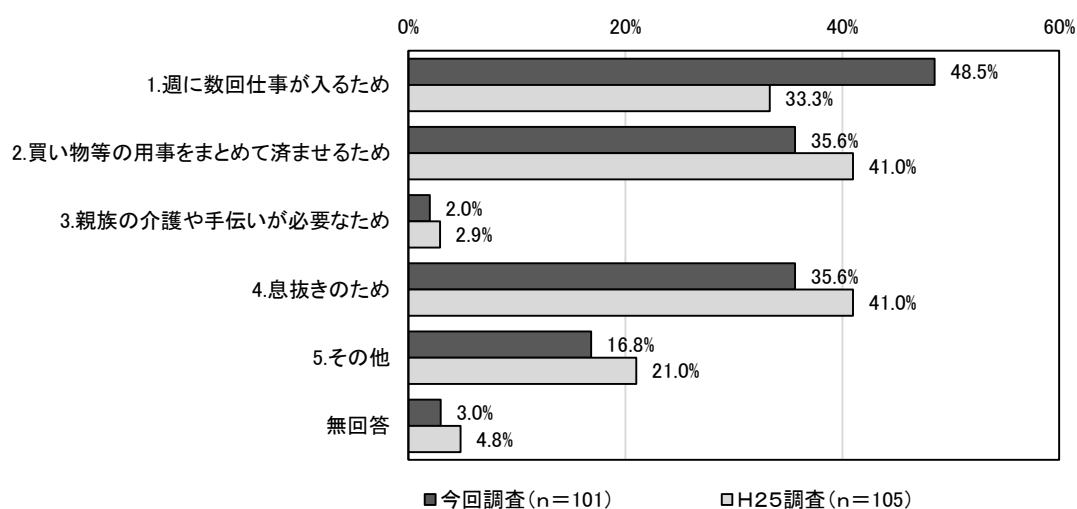


H25調査と比較すると、利用希望が増加した。

⑤ 長期休暇中（幼稚園利用者のみ）にたまに利用したい理由

- ・長期休暇中に「週に数日利用したい」方のたまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」（48.5%）が最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（35.6%）、「息抜きのため」（35.6%）となった（図表 13-5）。

<図表 13-5 定期的な教育・保育事業のたまに利用したい理由(長期休暇中)>



H25 調査と比較すると、利用したい理由に変化が見られた。（「仕事のため」にシフト）

2. 7 お子さんの病気の際の対応

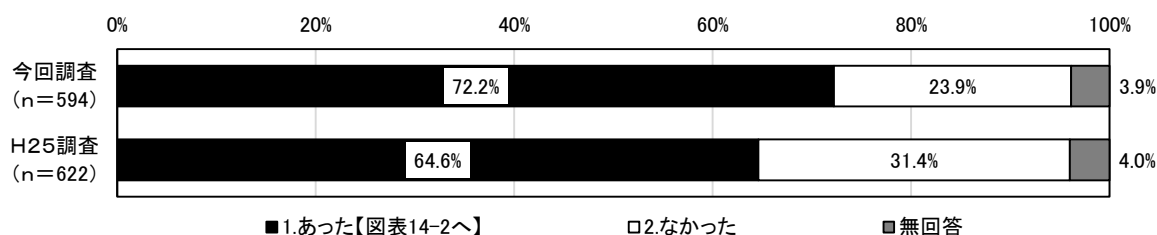
問 14 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 11 で「1.」に○を付けた方）にうかがいます。利用していない方は問 15 にお進みください。

この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できず、特別な対応をとる必要がありましたか（1 つに○）？

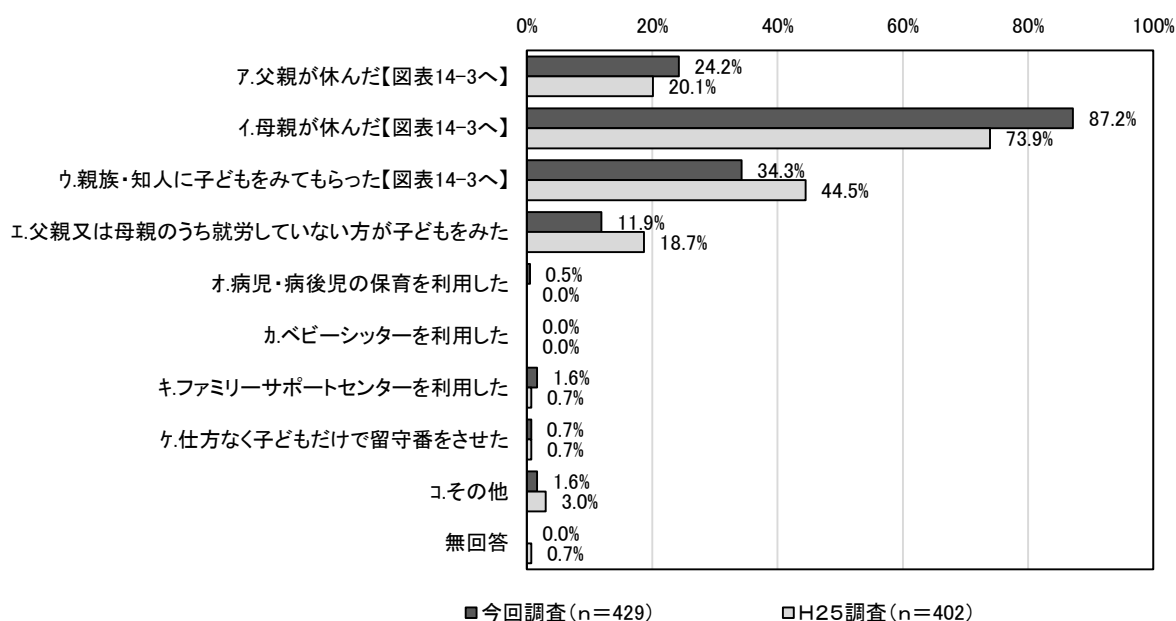
必要があった場合は、この 1 年間に行った対処方法を選択し（当てはまる番号すべてに○）、おおよその日数をお答えください。

- この 1 年間にお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できず特別な対応をとる必要があったかについては、「あった」が 72.2%、「なかった」が 23.9%となった（図表 14-1）。
- 特別な対応をとる必要があった方の対処方法は、「母親が休んだ」（87.2%）が最も多く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（34.3%）となった（図表 14-2）。
- 「父親が休んだ」「母親が休んだ」「親族・知人に子どもをみてもらった」「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」と回答した方の具体的な日数についてみると、いずれも「1～5 日」が最も多く、次いで「6～10 日」となった（図表 14-3）。

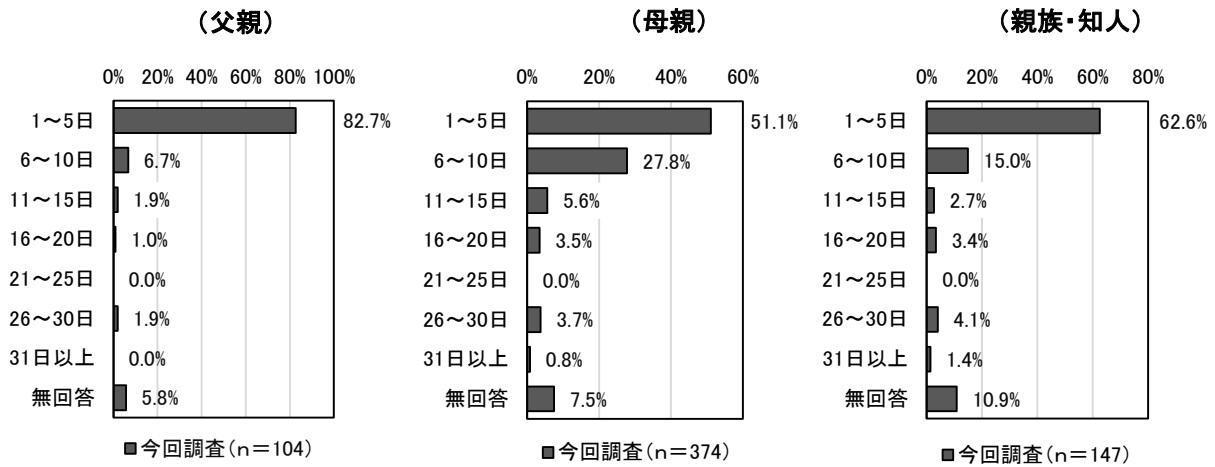
<図表 14-1 特別な対応をとる必要があったか>



<図表 14-2 特別な対応をとる必要があった 1 年間の対処方法>



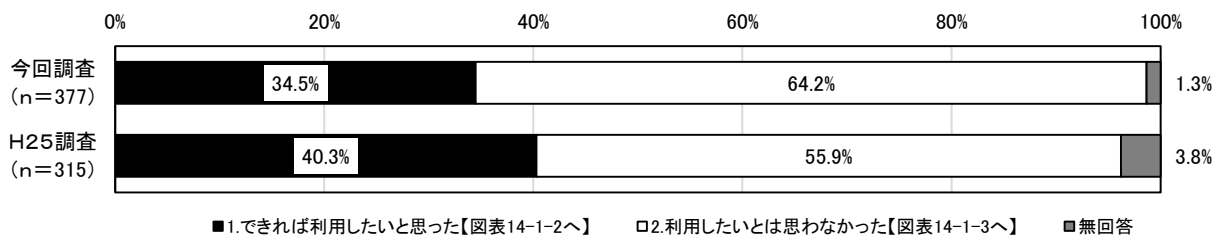
＜図表 14-3 対処した日数＞



問 14-1 問 14 で「ア.」「イ.」のいずれかを回答した方にうかがいます。
 その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか？
 思われた場合は希望日数と利用したい事業形態（当てはまるもの全てに○）を、思わなかった場合はその理由（当てはまる番号すべてに○）をお答えください。

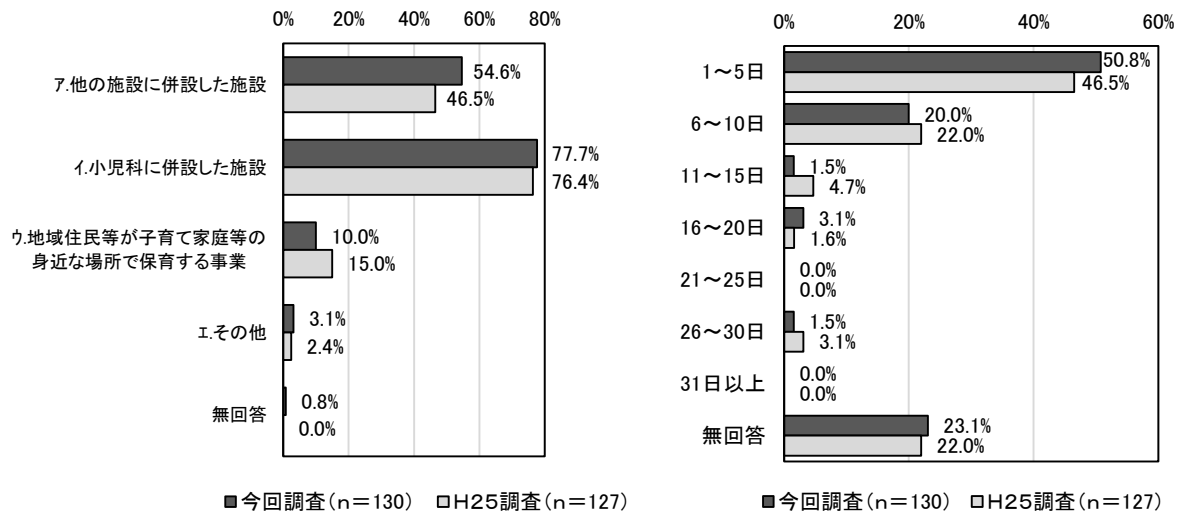
- ・ 対処方法として、「父親あるいは母親が休んだ」方の病児・病後児保育事業の利用意向は、「できれば利用したいと思った」が 34.5%、「利用したいと思わなかった」が 64.2%となった（図表 14-1-1）。
- ・ 病児・病後児保育事業を「できれば利用したいと思った」方の希望日数は、「1～5日」（50.8%）が最も多く、次いで「6～10日」（20.0%）となった。また、希望する事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（77.7%）が最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園、保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（54.6%）となった（図表 14-1-2）。
- ・ 病児・病後児保育事業を「利用したいとは思わなかった」方の理由は、「病児・病後児を他人に看てもらふのは不安」（57.0%）が最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」（55.8%）となった（図表 14-1-3）。

＜図表 14-1-1 病児・病後児保育事業の利用意向＞
 （父親あるいは母親が休んだ方）

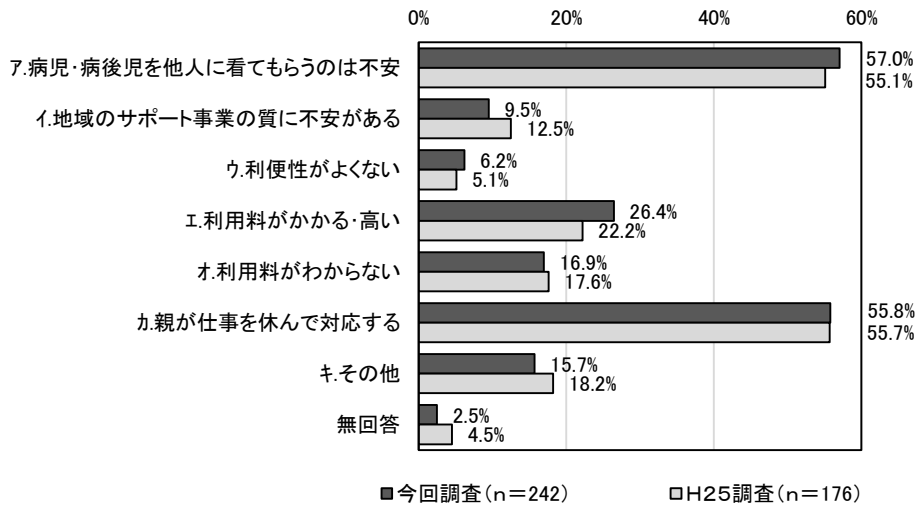


H25 調査と比較し、利用したい割合と理由に変化が見られた。
 （他人に看てもらふことの不安感から「利用したいと思わなかった」の割合が増加）

<図表 14-1-2 利用したいと思った希望する事業形態と日数>



<図表 14-1-3 利用したいと思わなかった理由>

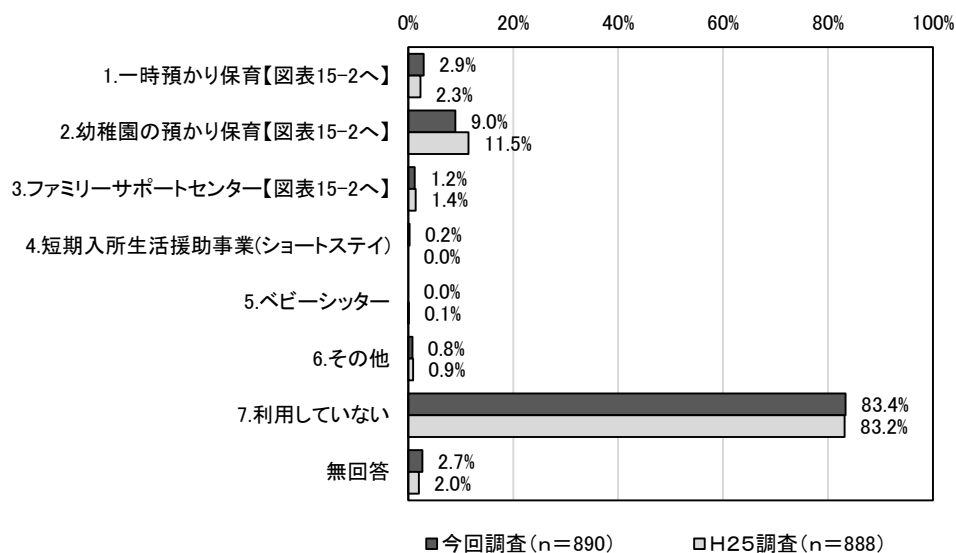


2. 8 お子さんの不定期の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用

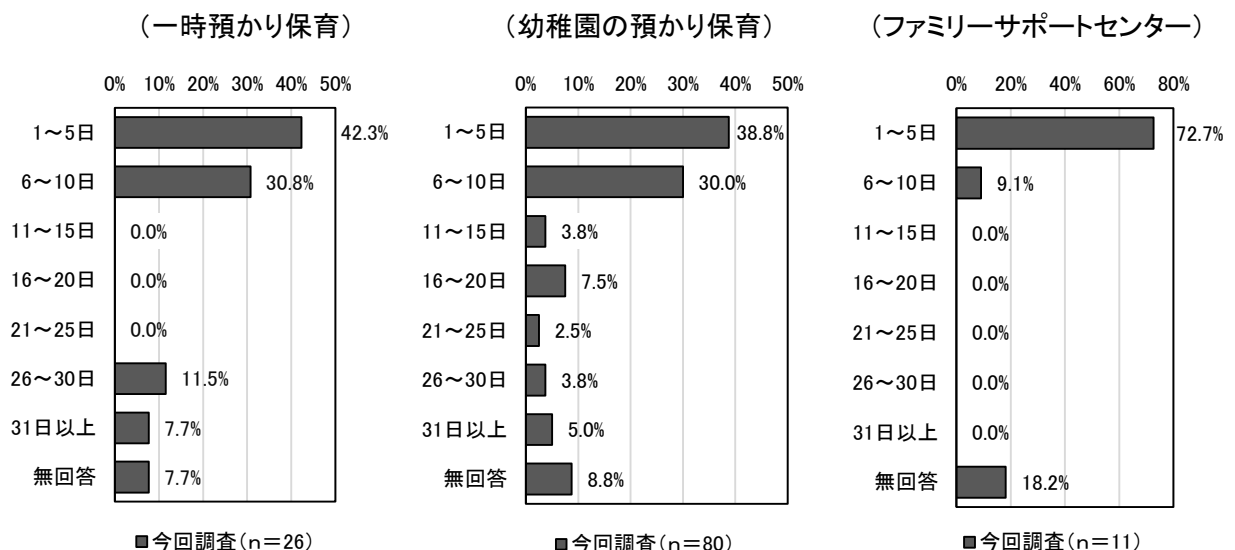
問 15 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか？ ある場合は、当てはまる番号すべてに○を付け、この1年間の利用日数（おおよそ）をお答えください。

- ・不定期に利用している事業については、「利用していない」が83.4%となり、「幼稚園の預かり保育」が9.0%とやや多くなった（図表 15-1）。
- ・「一時預かり保育」「幼稚園の預かり保育」「ファミリーサポートセンター」と回答した方の実際に利用している日数は、いずれも「1～5日」が多くなった（図表 15-2）。

<図表 15-1 不定期に利用している事業>



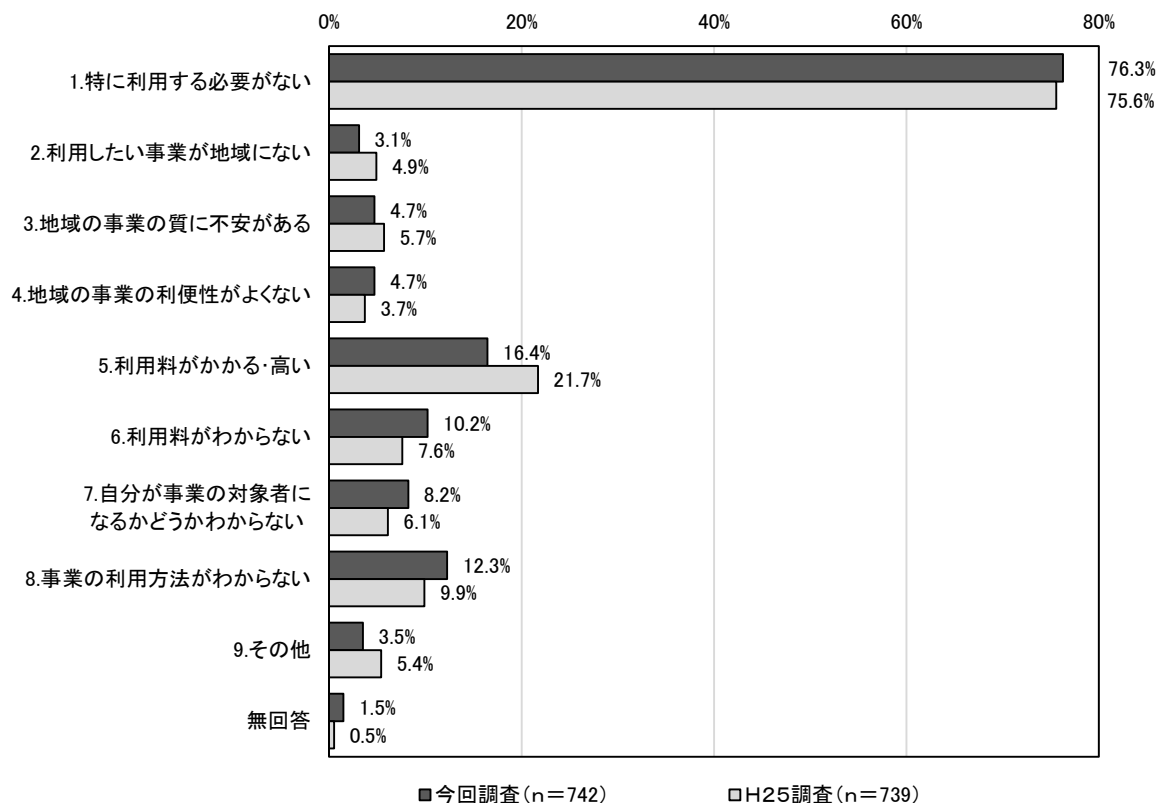
<図表 15-2 利用日数>



問 15-1 問 15 で「7. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます。
 現在利用していない理由は何ですか？（当てはまる番号すべてに○）

・「利用していない」方の理由は、「特に利用する必要がない」が 76.3%と多くなり、「利用料がかかる・高い」が 16.4%とやや多くなった（図表 15-1）。

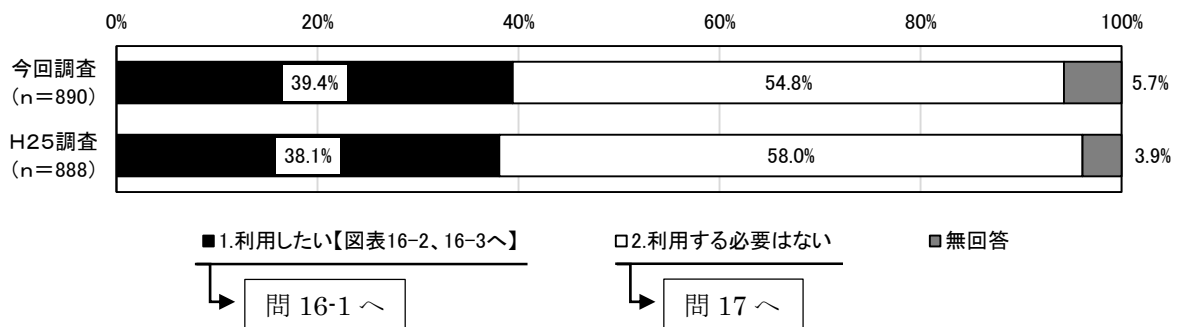
＜図表 15-1 利用していない理由＞



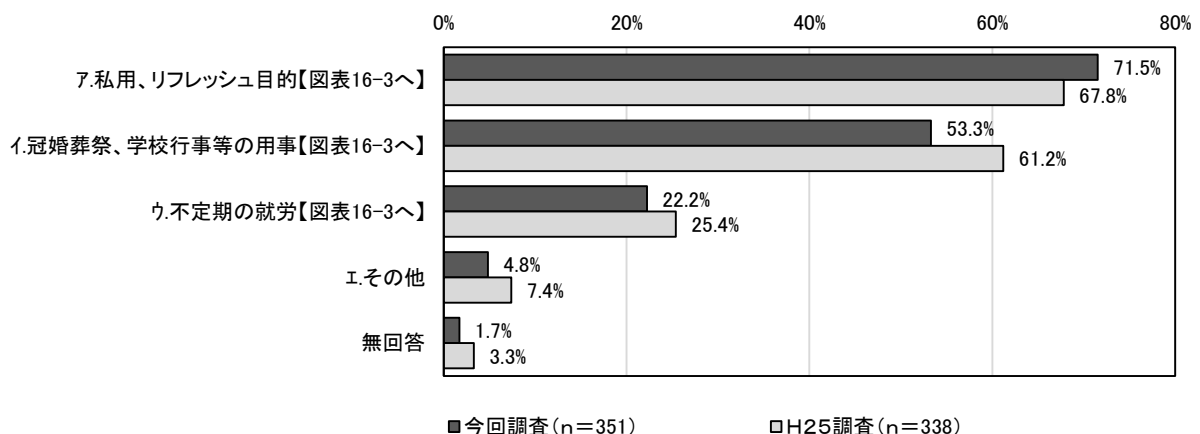
問 16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問 15 で挙げた事業を利用したいと思いますか？利用したい場合は、どのような場合に利用したいか、また1年間の利用希望日数（おおよそ）をお答えください。

- ・ 不定期な事業の利用希望は、「利用したい」が 39.4%、「利用する必要はない」が 54.8%となった（図表 16-1）。
- ・ 「利用したい」方の理由は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（71.5%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（53.3%）となった（図表 16-2）。
- ・ 利用したい理由別の希望利用日数は、「私用・リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」「不定期の就労」では、「1～5日」が最も多かった（図表 16-3）。

＜図表 16-1 不定期な事業の利用希望＞

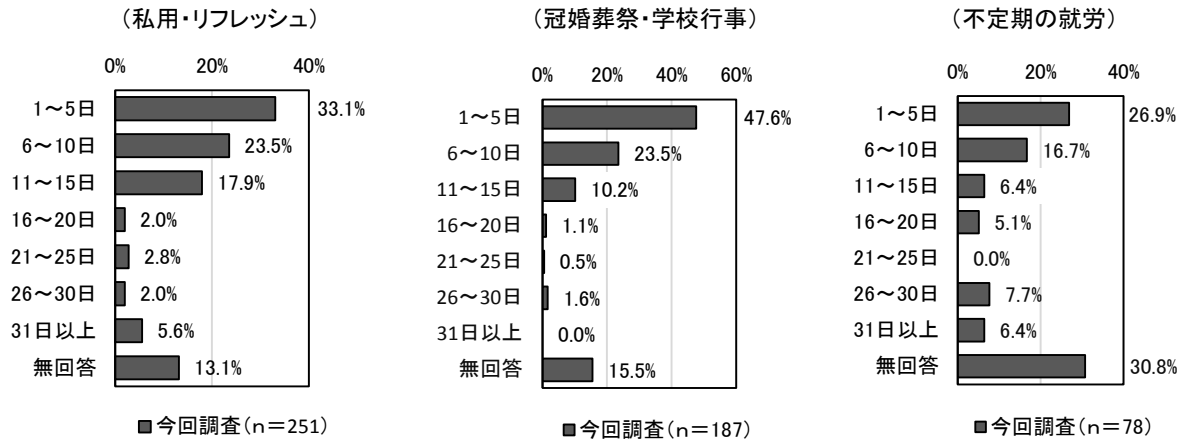


＜図表 16-2 利用したい理由＞



H25 調査と比較すると、利用した理由の割合に変化が見られた。（「私用、リフレッシュ」へよりシフト）

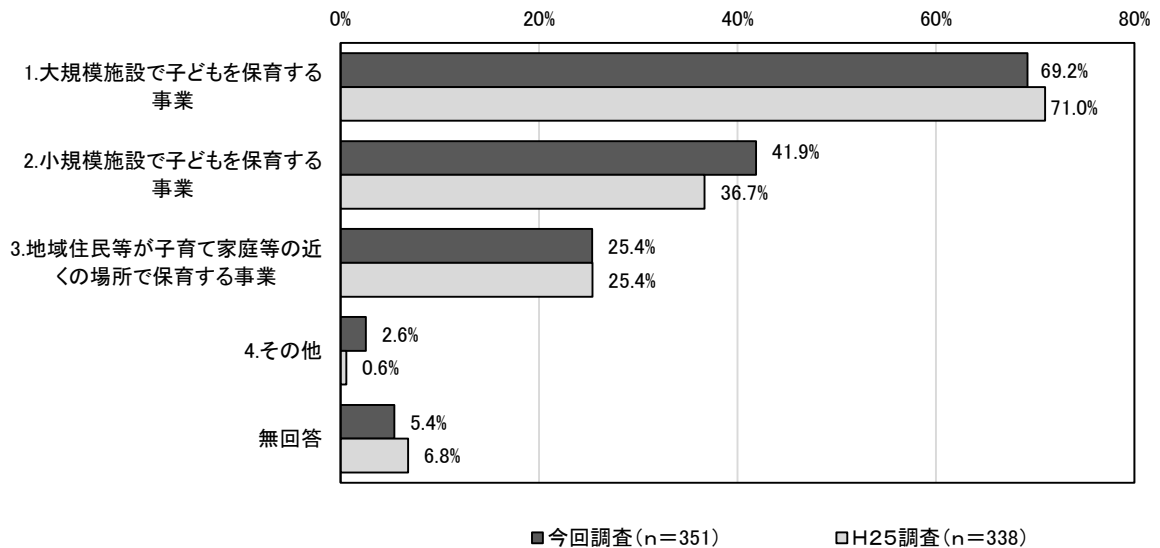
<図表 16-3 利用日数>



問 16-1 問 16 で「1. 利用したい」に○を付けた方にうかがいます。
 問 16 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれかの事業形態が望ましいと思われ
 れますか？（当てはまる番号すべてに○）

・「利用したい」方が望む事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」（69.2%）が最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」（41.9%）となった（図表 16-1-1）。

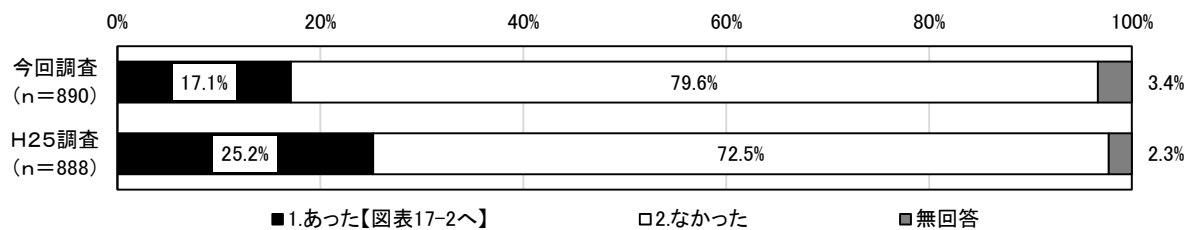
<図表 16-1-1 望ましい事業形態>



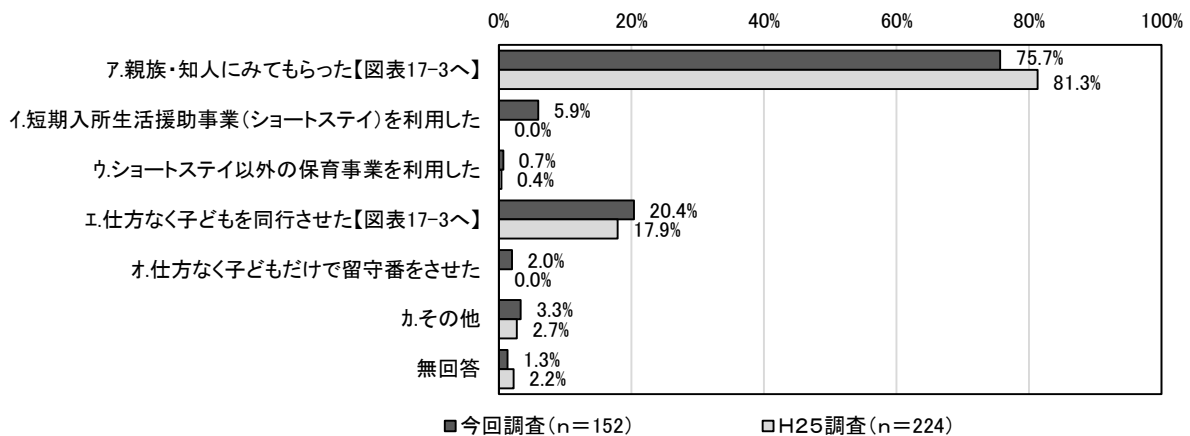
問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらう必要がありましたか？（預け先が見つからなかった場合も含む）必要があった場合は、この1年間の対処方法に○を付け、おおよその日数もお答えください。（当てはまる番号すべてに○）

- 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）でお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことについては、「あった」が17.1%、「なかった」が79.6%となった（図表 17-1）。
- 家族以外にみてもらわなければならなかったことが「あった」方の対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が75.7%と多くなり、「仕方なく子どもを同行させた」が20.4%とやや多くなった。また、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」「仕方なく子どもを同行させた」と回答した方の日数はいずれも「1～5泊」が多かった（図表 17-2、図表 17-3）。

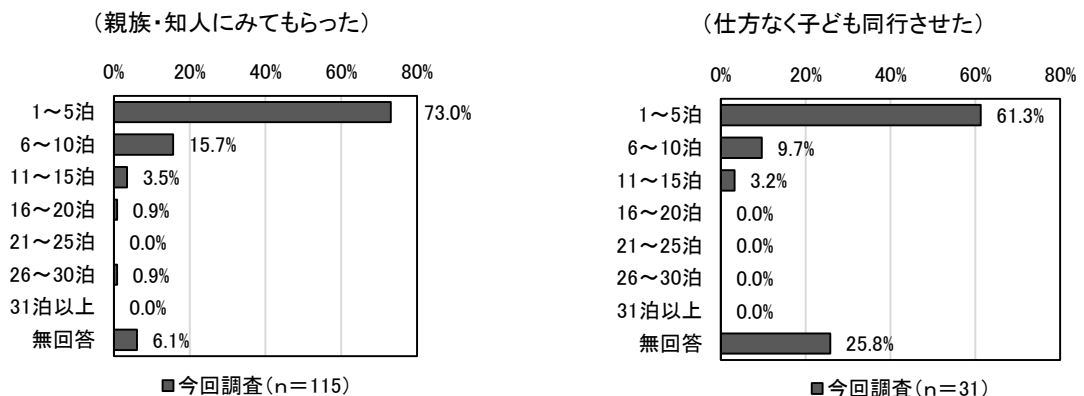
<図表 17-1 泊りがけで家族以外にみてもらったこと>



<図表 17-2 対処方法>



<図表 17-3 対処日数>

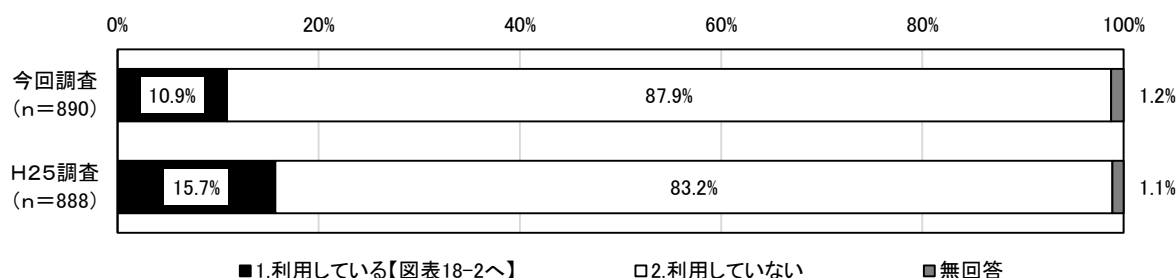


2. 9 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況

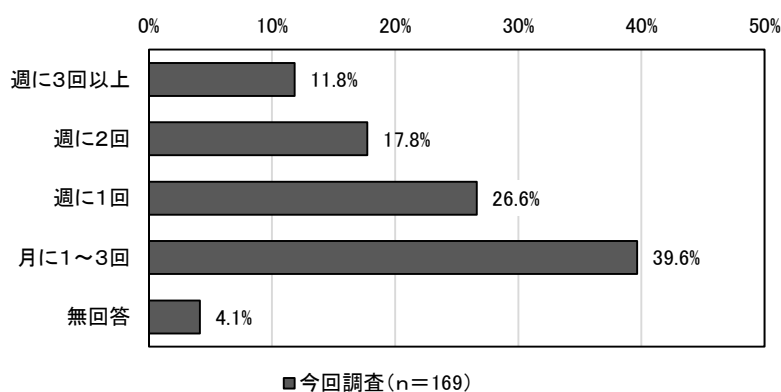
問 18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業※を利用していますか？
 利用している場合は、おおよその利用回数をお答えください。
 ※本市では、地域子育て支援センターげんき（奥沢保育所）、風の子（赤岩保育所）、
 あそぼ（銭函保育所）のほか、わくわく広場（朝里幼稚園）で実施しています。

- ・地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用している」が 10.9%、「利用していない」が 87.9%となった（図表 18-1）。
- ・地域子育て支援拠点事業の利用回数は「月に1～3回」が最も多い（図表 18-2）。

＜図表 18-1 地域子育て支援拠点事業の利用状況＞



＜図表 18-2 利用回数＞

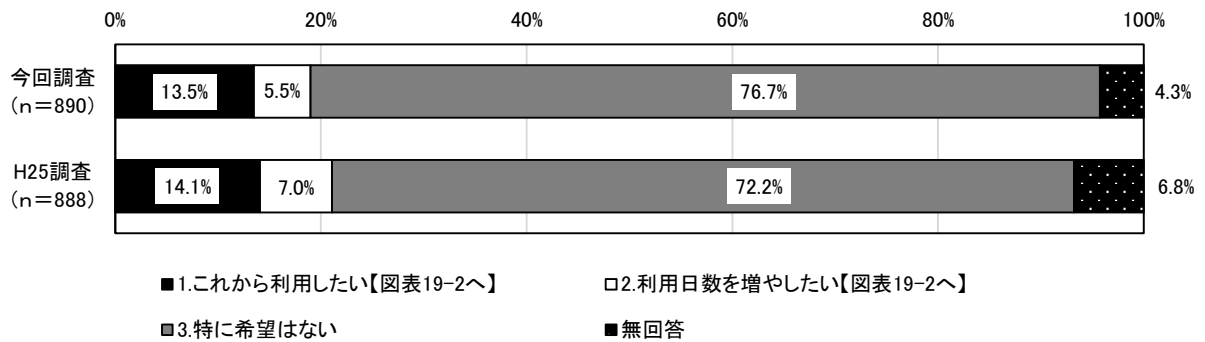


H25 調査と比較すると、利用している割合が減少した。
 また、利用頻度は「月1～3回」が最も多かった。

問 19 地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望や利用回数（おおよそ）をお答えください。

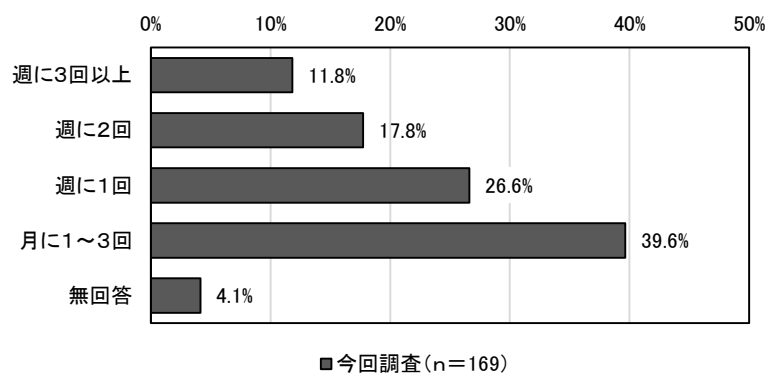
- ・地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望は、「これから利用したい」が13.5%、「利用日数を増やしたい」が5.5%、「特に希望はない」が76.7%となった（図表 19-1）。
- ・「これから利用したい」「利用日数を増やしたい」と回答した方の利用希望回数は、「月に1～3回」（39.6%）が多い（図表 19-2）。

<図表 19-1 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望>



H25 調査と比較すると、今後の利用について「特に希望はない」とする割合が増加した。

<図表 19-2 今後の利用希望回数(これから利用したい、利用日数を増やしたい)>

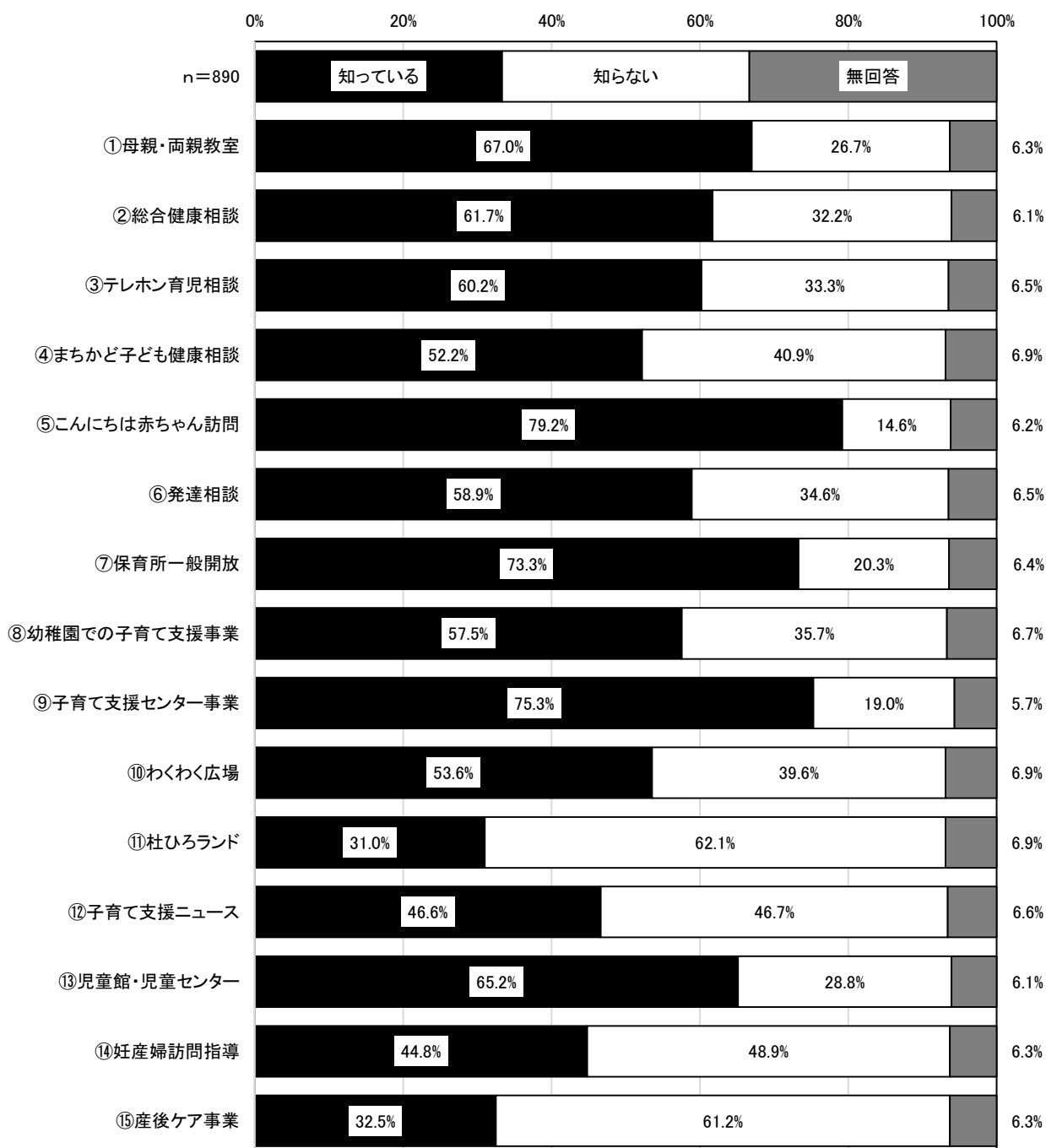


問 20 下記①～⑮の事業について、知っているものやこれまで利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものは何ですか？ A～Cについてお答えください。

A 認知度

・「知っている」は、「母親・両親教室」(67.0%)、「こんにちは赤ちゃん訪問」(79.2%)、「保育所一般開放」(73.3%)、「子育て支援センター事業」(75.3%)で多い。
 一方で、「知らない」は「杜ひろランド」(62.1%)で多い(図表 20-1)。

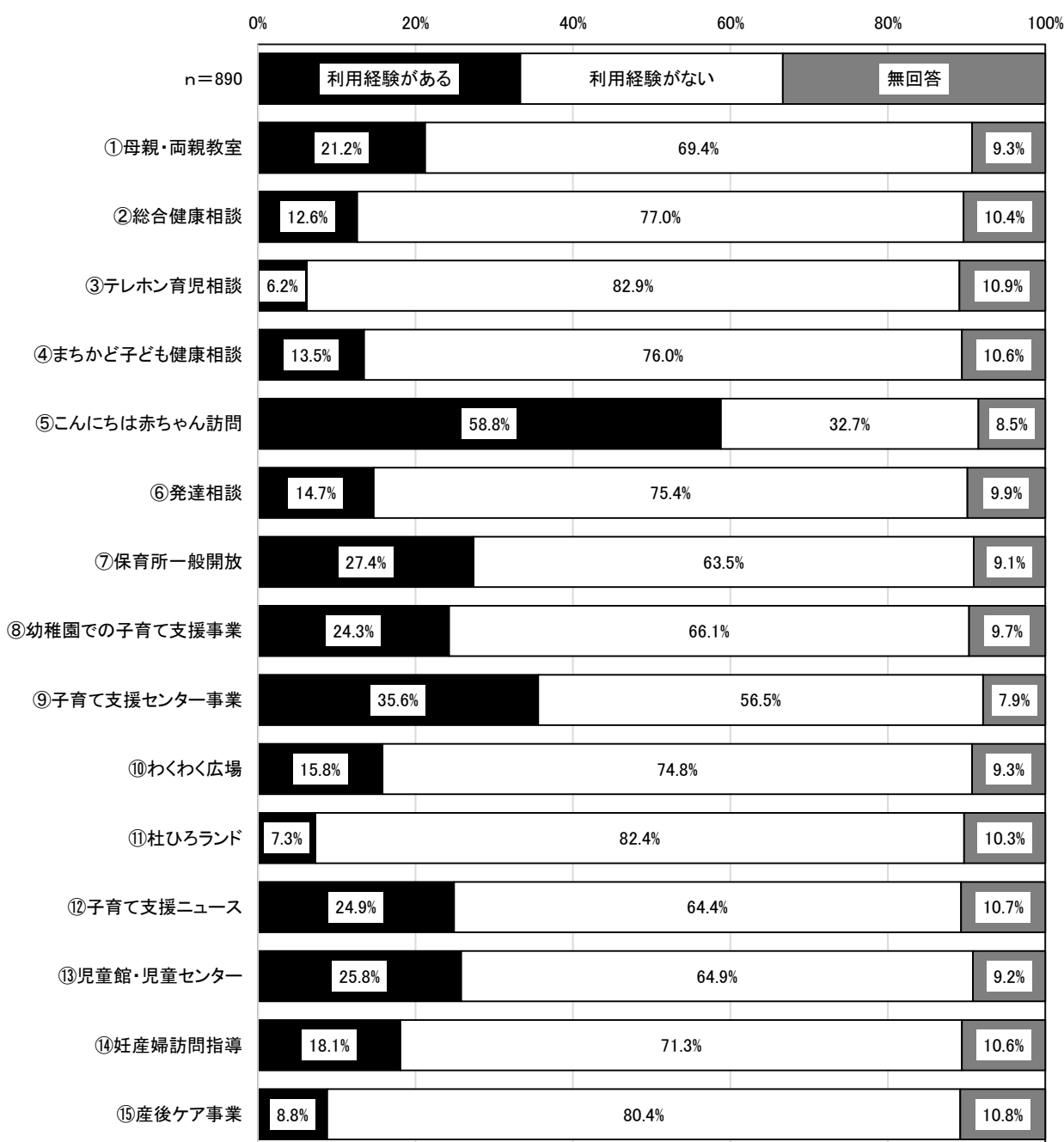
<図表 20-1 認知度>



B これまでの利用経験

- ・これまで「利用経験がある」は、「こんにちは赤ちゃん訪問」(58.8%)、「子育て支援センター事業」(35.6%)が多い。
- 一方で「利用経験がない」は、「テレホン育児相談」(82.9%)、「杜ひろランド」(82.4%)、「産後ケア事業」(80.4%)が多い(図表 20-2)。

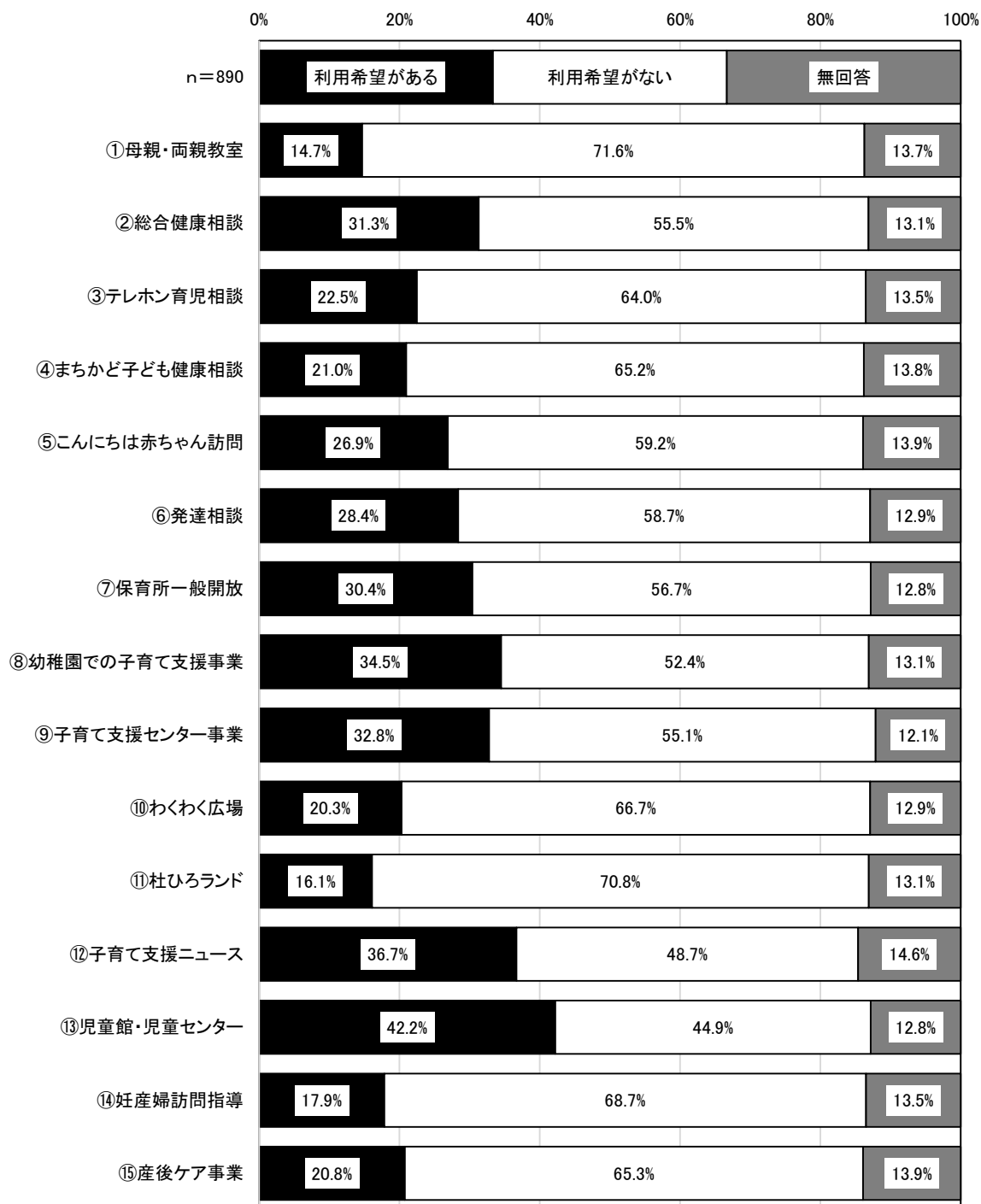
<図表 20-2 利用経験>



C 今後の利用希望

- ・今後の「利用希望がある」は、「児童館・児童センター」(42.2%)が多い。
- 一方で「利用希望がない」は、「母親・両親教室」(71.6%)が多い(図表 20-3)。

<図表 20-3 今後の利用希望>

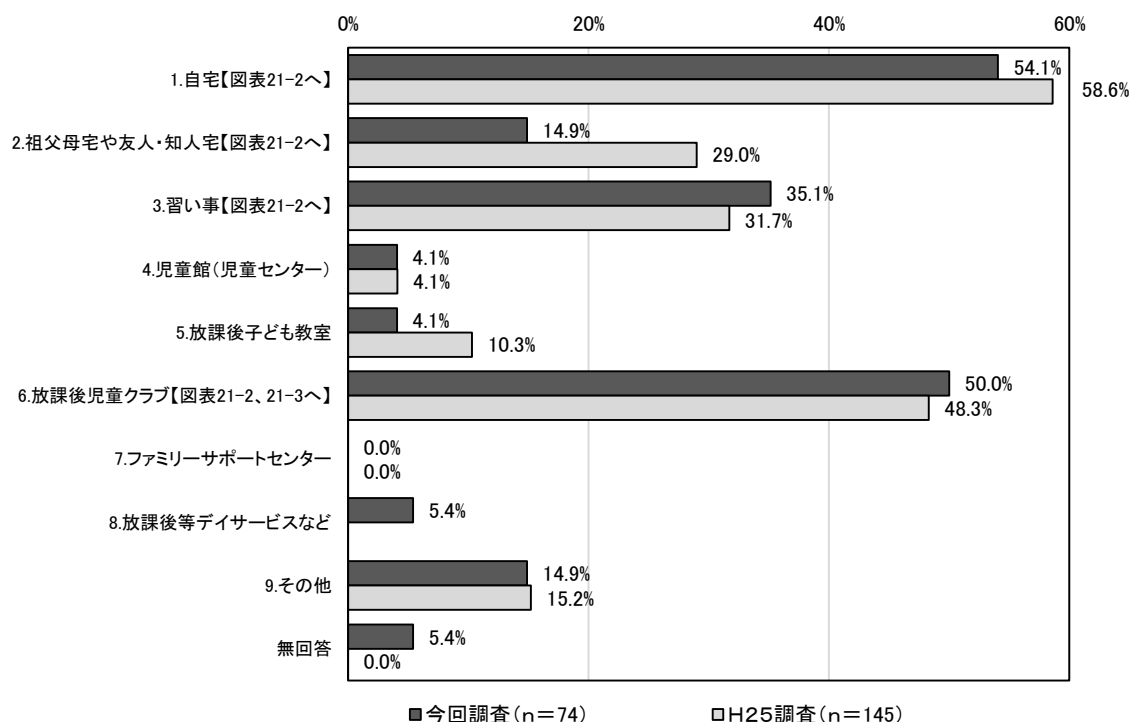


2. 10 お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方

問 21 あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか？場所と日数について、それぞれお答えください。
また、「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したかお答えください。

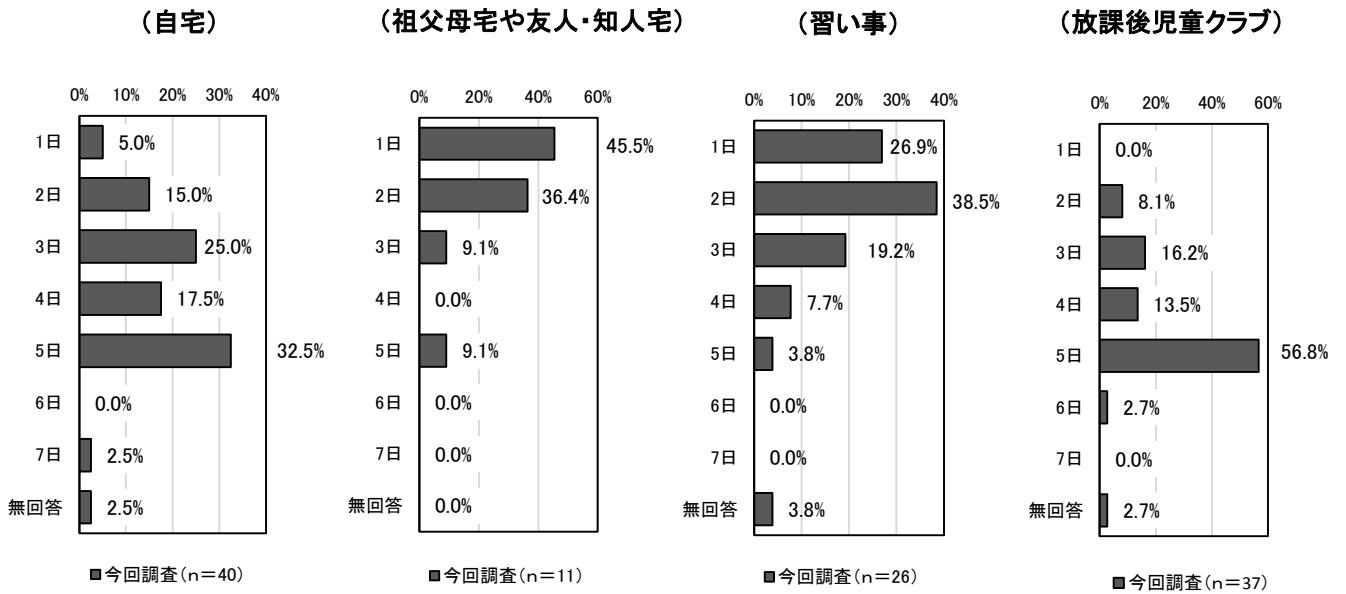
- ・小学校低学年のうち放課後過ごさせたい場所は、「自宅」（54.1%）が最も多く、次いで「放課後児童クラブ」（50.0%）、習い事（35.1%）となった（図表 21-1）。
- ・「自宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週当たりの利用希望日数は、「自宅」では「5日」（32.5%）、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」（45.5%）、「習い事」では「2日」（38.5%）、「放課後児童クラブ」では「5日」（56.8%）が最も多かった（図表 21-2）。
- ・また、「放課後児童クラブ」と回答した方の利用希望時間は、下校時から「17時まで」（48.6%）が最も多く、次いで「18時まで」（18.9%）となった（図表 21-3）。

＜図表 21-1 放課後を過ごさせたい場所＞

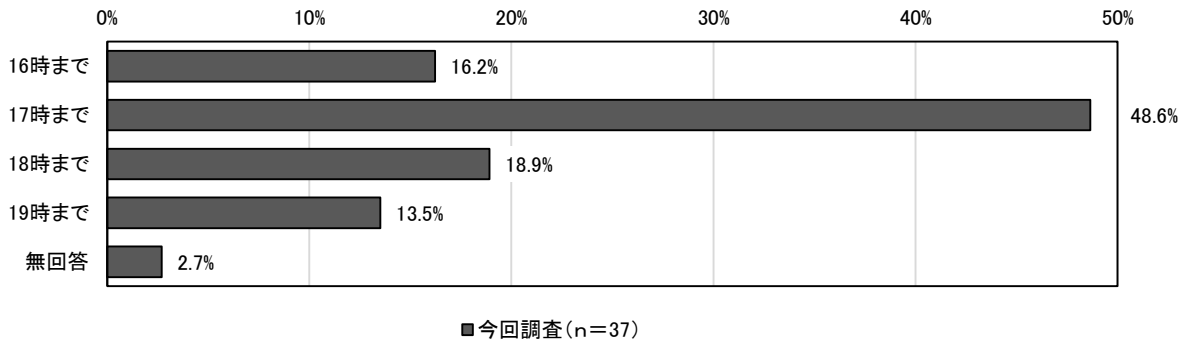


H25 調査と比較すると、「自宅」が最多で変わらないが、「放課後児童クラブ」や「習い事」など“自宅外”の割合が増加した。

<図表 21-2 放課後を過ごさせたい場所の利用希望日数>



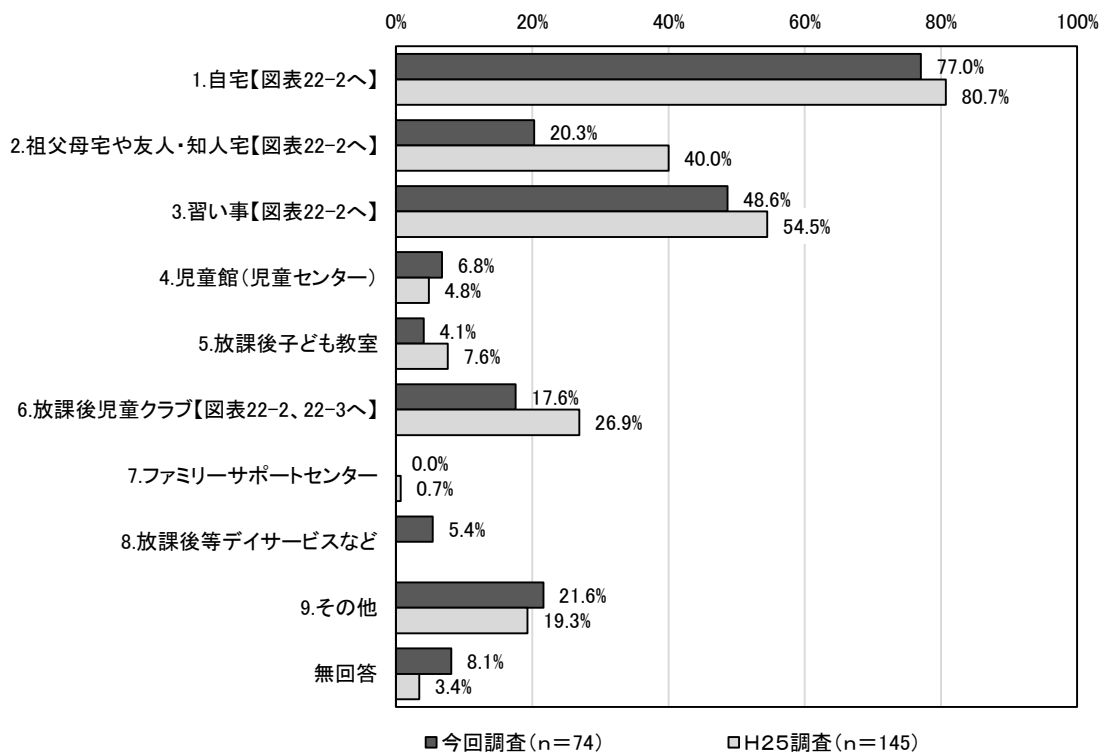
<図表 21-3 放課後児童クラブの利用希望時間(下校時から何時まで)>



問 22 あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか？場所と日数について、それぞれお答えください。
また、「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したかお答えください。

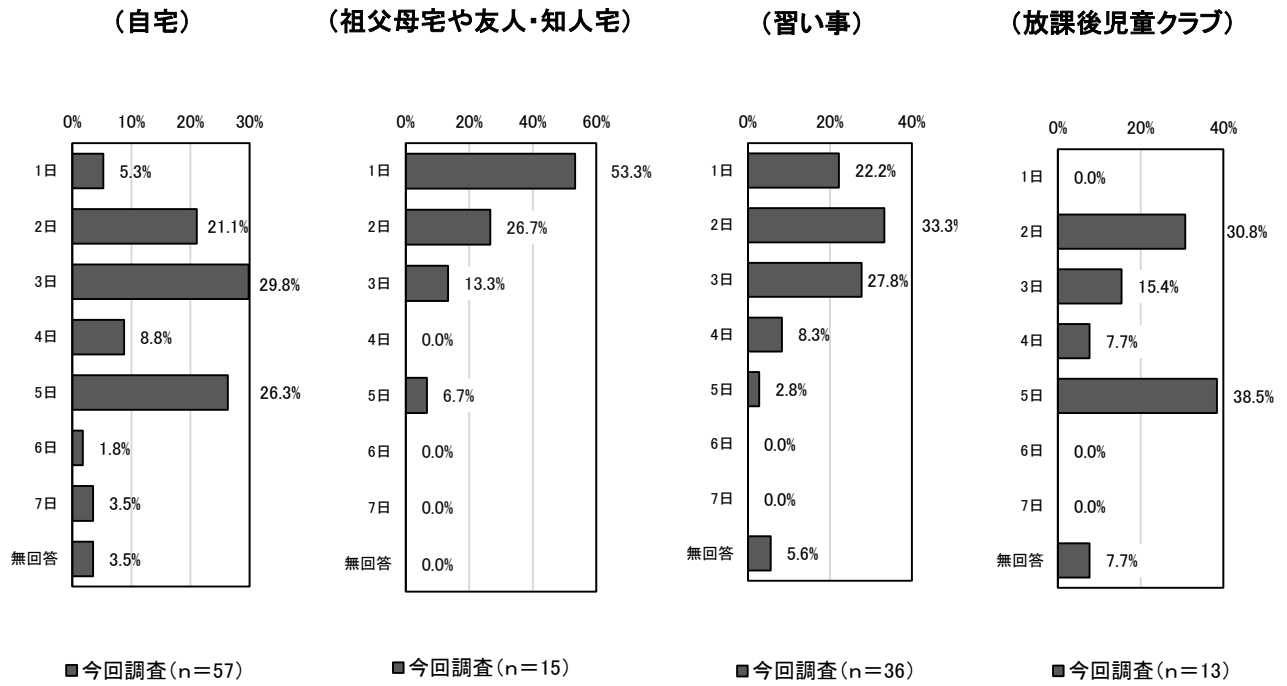
- ・小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所は、「自宅」（77.0%）が最も多く、次いで「習い事」（48.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（20.3%）、「その他（図書館、公園など）」（21.6%）、「放課後児童クラブ」（17.6%）となった（図表 22-1）。
- ・「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週当たりの利用希望日数は、「自宅」では「3日」（29.8%）、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」（53.3%）、「習い事」では「2日」（33.3%）、「放課後児童クラブ」では「5日」（38.5%）が最も多かった（図表 22-2）。
- ・また、「放課後児童クラブ」と回答した方の利用希望時間は、下校時から「17時まで」（46.2%）が最も多く、次いで「16時まで」（15.4%）、「18時まで」（15.4%）となった（図表 22-3）。

＜図表 22-1 放課後を過ごさせたい場所＞

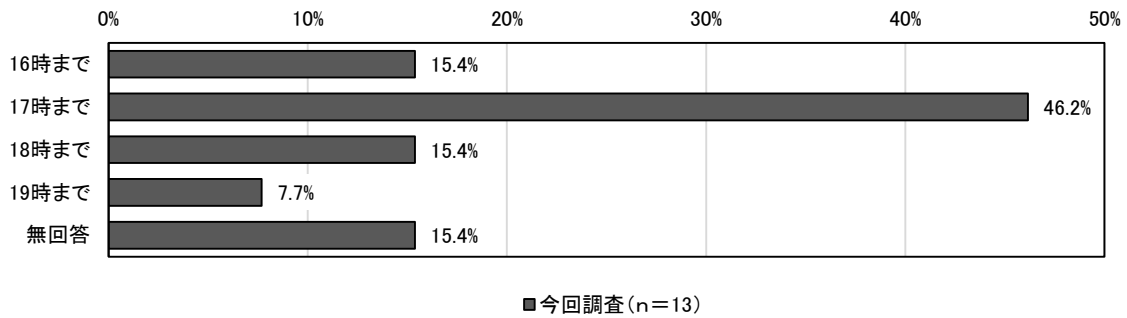


H25 調査と比較すると、「その他（図書館、公園など）」が増加し、「放課後児童クラブ」を逆転した。

<図表 22-2 放課後を過ごさせたい場所の1週当たりの利用希望日数>



<図表 22-3 放課後児童クラブの利用希望時間(下校時から何時まで)>

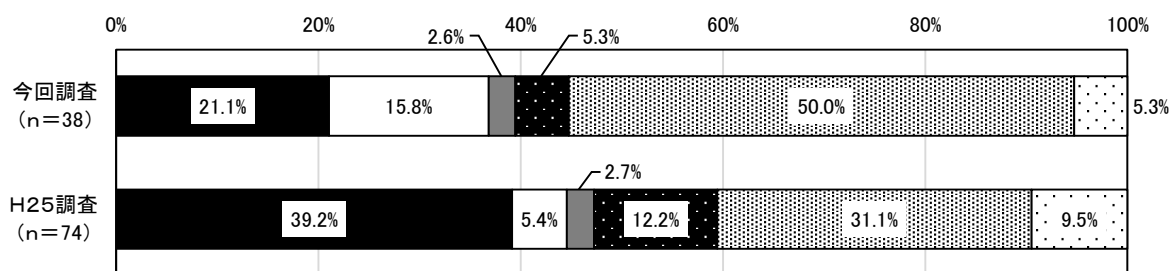


問 23 問 21 または問 22 で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬
 休み）中の放課後児童クラブの利用希望はありますか？（それぞれ1つに○）
 利用希望の有無と利用したい時間帯について、それぞれお答えください。

①土曜日

- ・土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」（50.0%）が最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（21.1%）となった。（図表 23-1）。
- ・利用したい時間帯は、1～3年生では開始時間「8時～8時59分」（4名）、終了時間「17時～17時59分」（3名）が最も多い（図表 23-2）。

<図表 23-1 土曜日の放課後児童クラブの利用希望>



■ 1.低学年(1～3年生)の間は利用したい【図表23-2へ】 □ 2.高学年(4年生)まで利用したい【図表23-2へ】
 ■ 3.高学年(5年生)まで利用したい【図表23-2へ】 □ 4.高学年(6年生)まで利用したい【図表23-2へ】
 ■ 5.利用する必要はない □ 無回答

H25 調査から比較すると、「利用する必要はない」が増加し、「低学年から利用したい」を逆転した。

<図表 23-2 利用したい時間帯（開始時間と終了時間）>

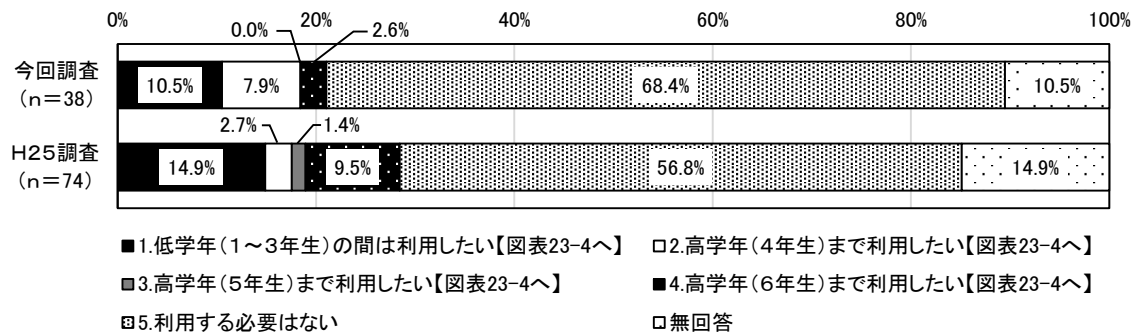
開始時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
8時前	0	0	0	0
8時～8時59分	4	2	1	1
9時～9時59分	3	1	0	1
10時以降	1	1	0	0
無回答	0	2	0	0
総計	8	6	1	2

終了時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
15時前	1	0	0	0
15時～15時59分	1	0	0	0
16時～16時59分	1	1	0	0
17時～17時59分	3	2	1	2
18時～18時59分	2	0	0	0
19時以降	0	1	0	0
無回答	0	2	0	0
総計	8	6	1	2

②日曜日・祝日

- ・日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」(68.4%)が最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が10.5%となった。(図表 23-3)。
- ・利用したい時間帯は、1～3年生では開始時間「8時～8時59分」(3名)、終了時間「17時～17時59分」(2名)が最も多い(図表 23-4)。

<図表 23-3 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望>



H25 調査と比較し、「利用する必要はない」が増加した。

<図表 23-4 利用したい時間帯 (開始時間と終了時間)>

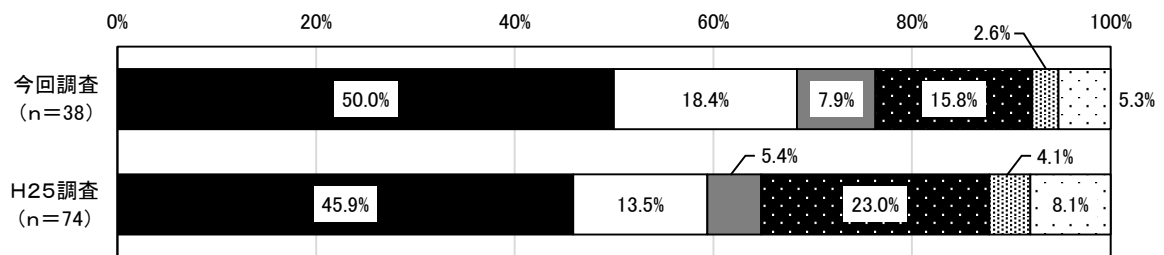
開始時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
8時前	0	0	0	0
8時～8時59分	3	1	0	0
9時～9時59分	0	1	0	1
10時以降	1	0	0	0
無回答	0	1	0	0
総計	4	3	0	1

終了時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
15時前	0	0	0	0
15時～15時59分	1	0	0	0
16時～16時59分	0	0	0	0
17時～17時59分	2	1	0	1
18時～18時59分	1	0	0	0
19時以降	0	1	0	0
無回答	0	1	0	0
総計	4	3	0	1

③ 長期休業期間

- ・長期休業期間の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（50.0%）が最も多く、次いで「高学年（4年生）まで利用したい」（18.4%）、「高学年（6年生）まで利用したい」（15.8%）となった（図表 23-5）。
- ・利用したい時間帯については、開始時間が1～3年生では「9時～9時59分」（9名）、4年生では「8時～8時59分」（4名）、6年生では「8時～8時59分」（4名）が最も多く、終了時間が1～3年生では「17時～17時59分」（12名）、4年生では「17時～17時59分」（4名）、6年生では「17時～17時59分」（3名）が最も多い（図表 23-6）。

＜図表 23-5 長期休業期間の放課後児童クラブの利用希望＞



- 1.低学年（1～3年生）の間は利用したい【図表23-6へ】
- 2.高学年（4年生）まで利用したい【図表23-6へ】
- 3.高学年（5年生）まで利用したい【図表23-6へ】
- 4.高学年（6年生）まで利用したい【図表23-6へ】
- 5.利用する必要はない
- 無回答

H25 調査と比較すると、「高学年（6年生）まで利用したい」が減少した。

＜図表 23-6 利用したい時間帯（開始時間と終了時間）＞

開始時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
8時前	0	0	0	0
8時～8時59分	7	4	3	4
9時～9時59分	9	1	0	2
10時以降	1	1	0	0
無回答	2	1	0	0
総計	19	7	3	6

終了時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
15時前	1	0	0	0
15時～15時59分	2	0	0	0
16時～16時59分	1	0	0	1
17時～17時59分	12	4	2	3
18時～18時59分	2	1	1	1
19時以降	0	1	0	1
無回答	1	1	0	0
総計	19	7	3	6

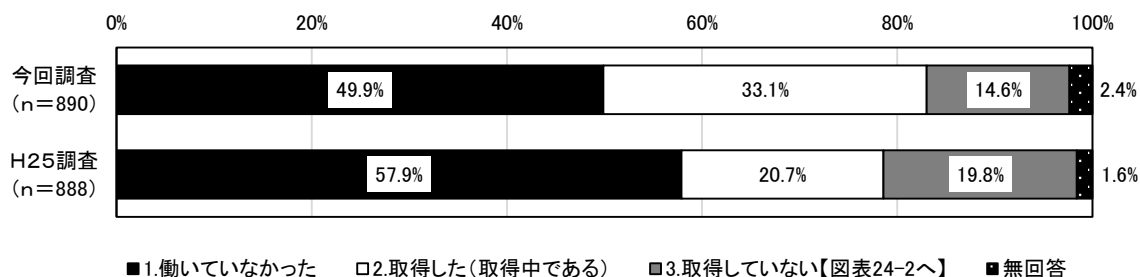
2. 11 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問 24 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか？（母親、父親それぞれについて、1つに○）
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

① 母親

- ・ 育児休業の取得状況は、「働いていなかった」（49.9%）が最も多く、次いで「取得した（取得中である）」（33.1%）となった（図表 24-1）。
- ・ 「取得していない」方の取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」（39.2%）が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（17.7%）、
「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（16.2%）となった（図表 24-2）。

<図表 24-1 育児休業の取得状況（母親）>

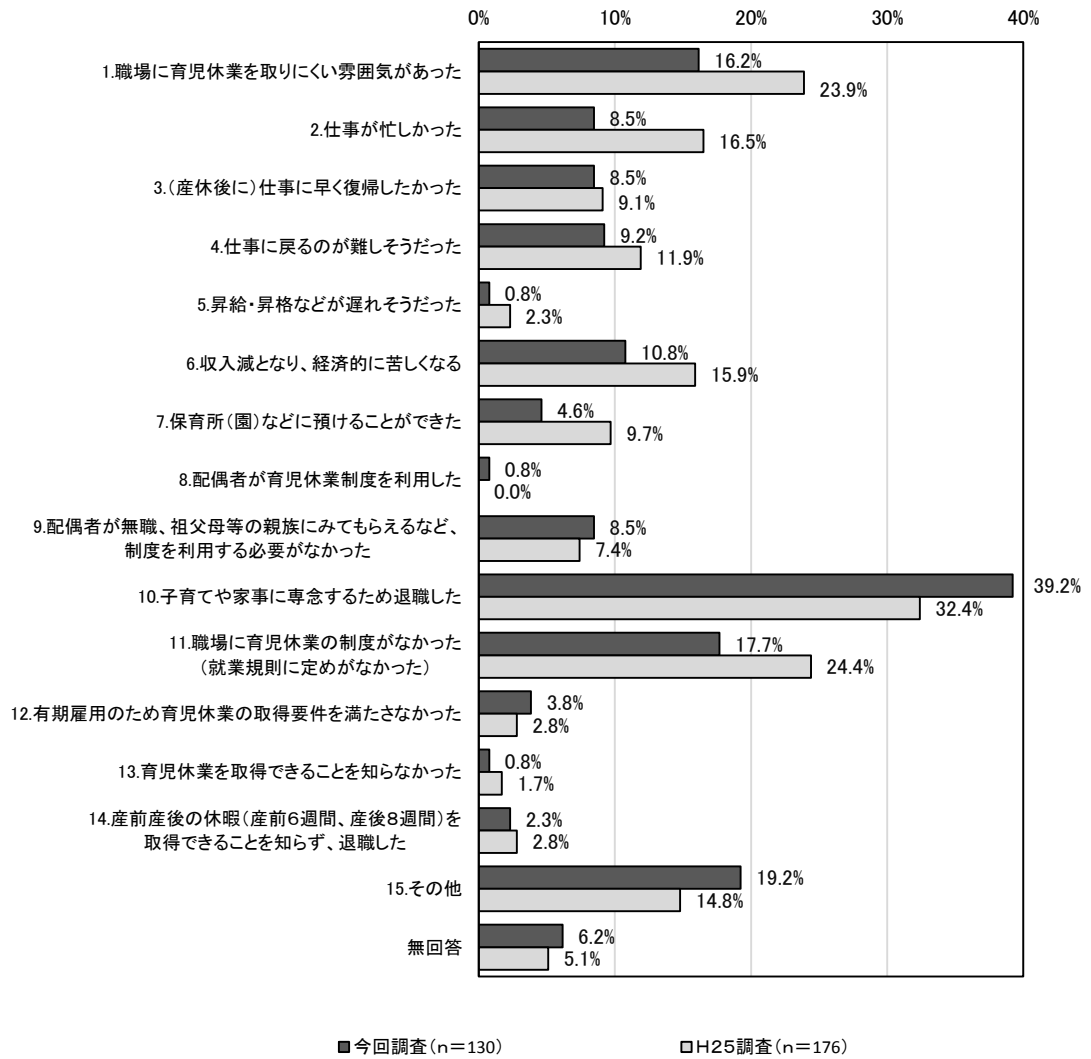


■ 1.働いていなかった □ 2.取得した(取得中である) □ 3.取得していない【図表24-2へ】 ■ 無回答

問 25 へ

H25 調査と比較すると、「取得した」の割合が増加した。

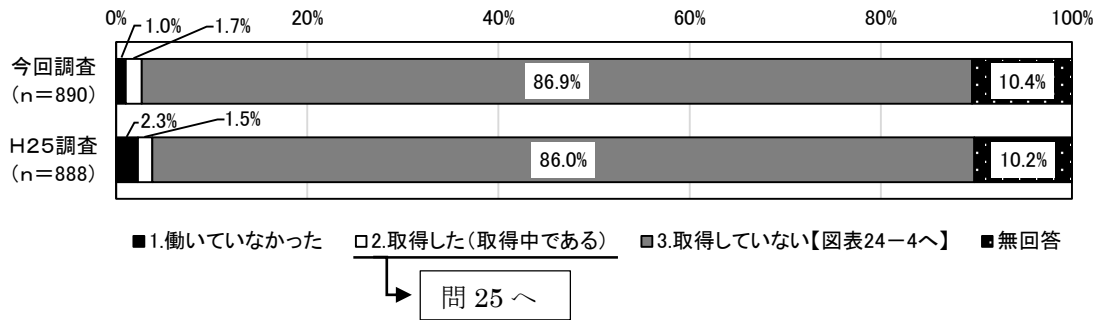
<図表 24-2 育児休業を取得していない理由>



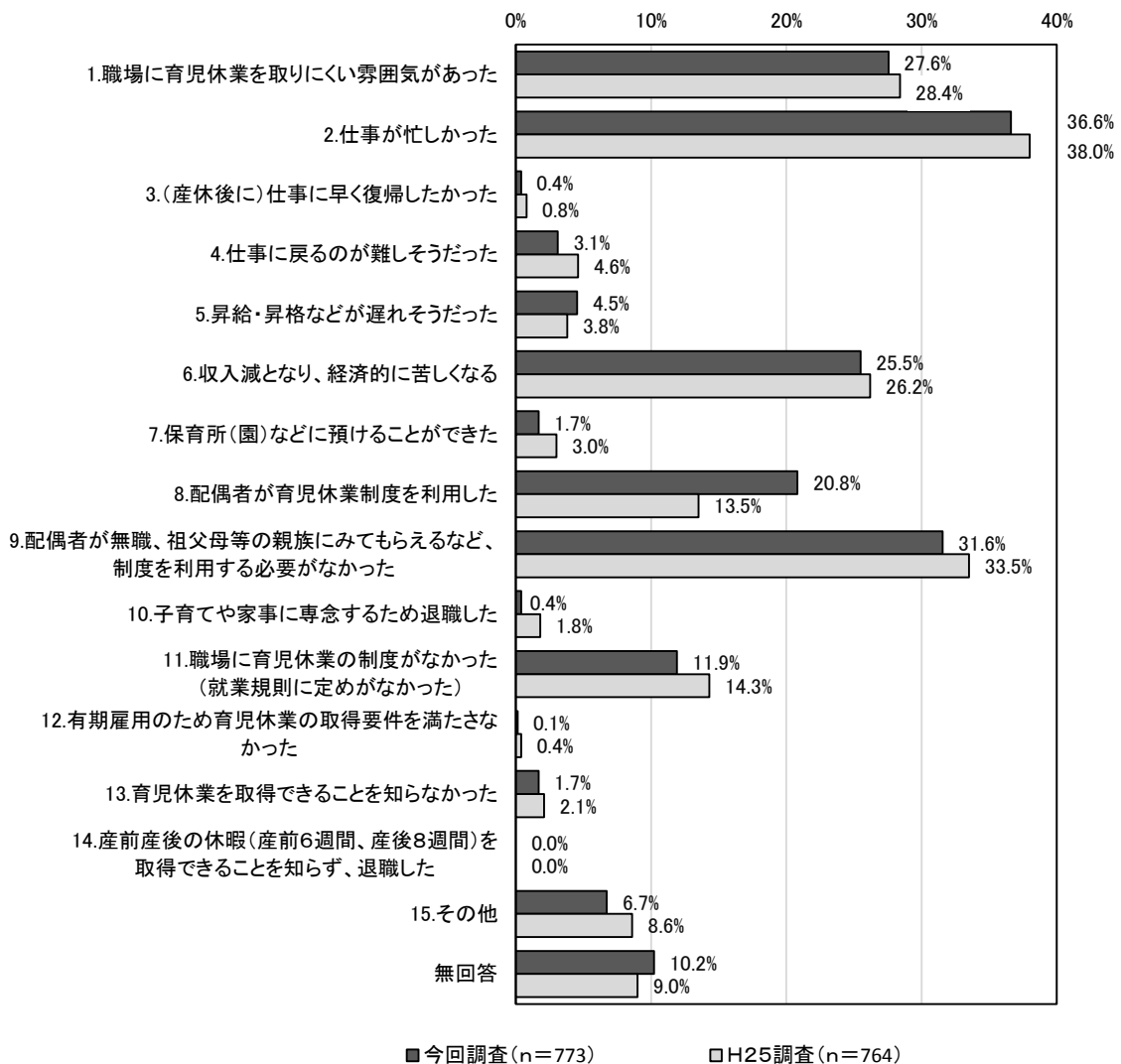
② 父親

- ・育児休業の取得状況は、「取得していない」が86.9%と圧倒的に多かった（図表 24-3）。
- ・「取得していない」方の取得していない理由は、「仕事が忙しかった」（36.6%）が最も多く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（31.6%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（27.6%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（25.5%）となった（図表 24-4）。

＜図表 24-3 育児休業の取得状況（父親）＞



＜図表 24-4 育児休業を取得していない理由＞

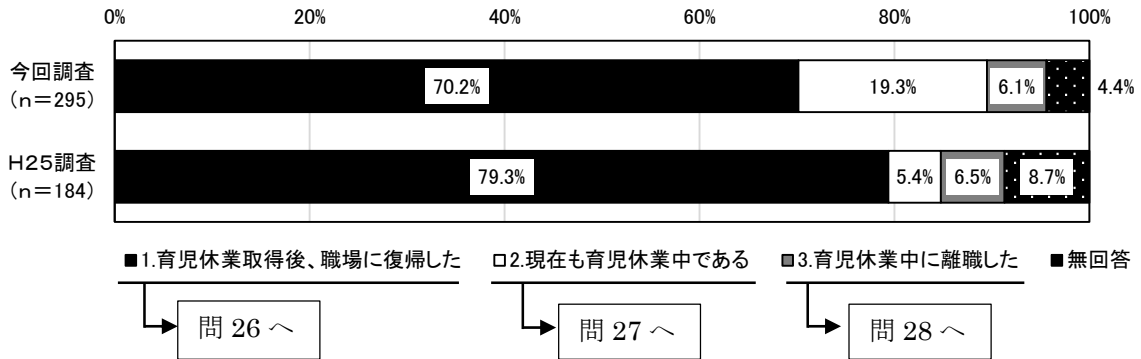


問 25 問 24 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。（該当しない方は問 28 へ）育児休業後、職場に復帰しましたか？（1つに○）

① 母親

- ・ 育児休業を「取得した（取得中である）」方の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 70.2%と圧倒的に多い（図表 25-1）。

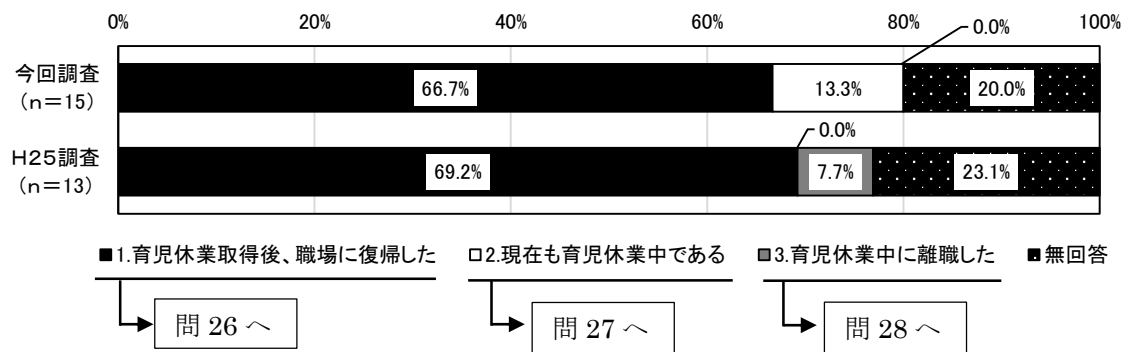
<図表 25-1 育児休業後の職場復帰について(母親)>



② 父親

- ・ 育児休業を「取得した（取得中である）」方の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 66.7%となった（図表 25-2）。

<図表 25-2 育児休業後の職場復帰について(父親)>



問 26 問 26-1～問 26-6 までは、問 25 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○を付けた方にうかがいます。

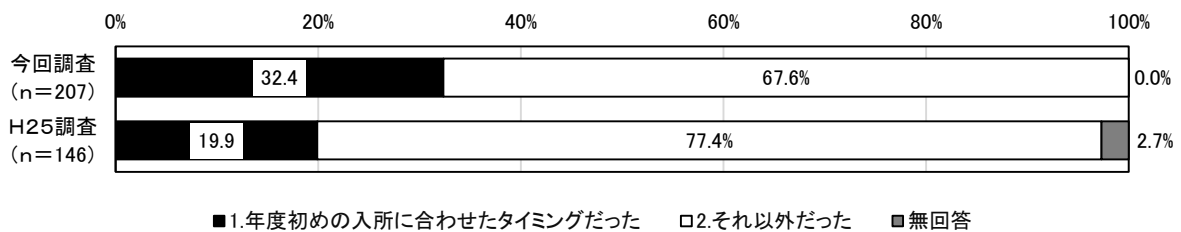
問 26-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか？（1つに○）

年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

① 母親

- ・「育児休業取得後、職場に復帰した」方の職場復帰のタイミングは、「年度初めの保育所入所のタイミングだった」が 32.4%、「それ以外だった」が 67.6%となった（図表 26-1-1）。

<図表 26-1-1 育児休業後の職場復帰のタイミング（母親）>

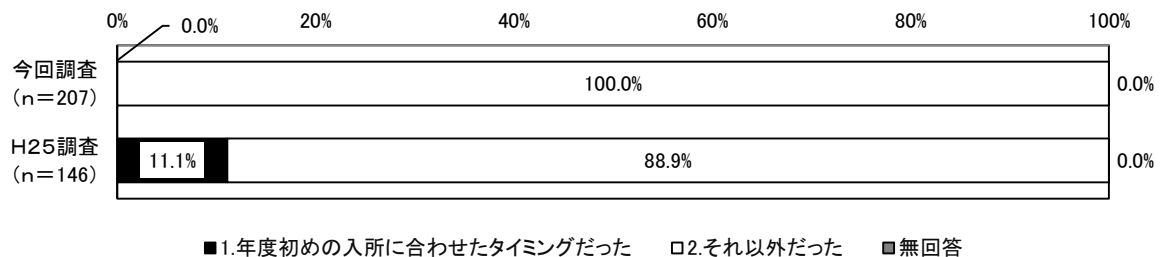


H25 調査時と比較すると、「年度初めの保育所入所のタイミング」が増加した。

② 父親

- ・「育児休業取得後、職場に復帰した」方の職場復帰のタイミングは、「それ以外だった（年度初めの保育所入所のタイミング以外）」が 100%となった（図表 26-1-2）。

<図表 26-1-2 育児休業後の職場復帰のタイミング（父親）>



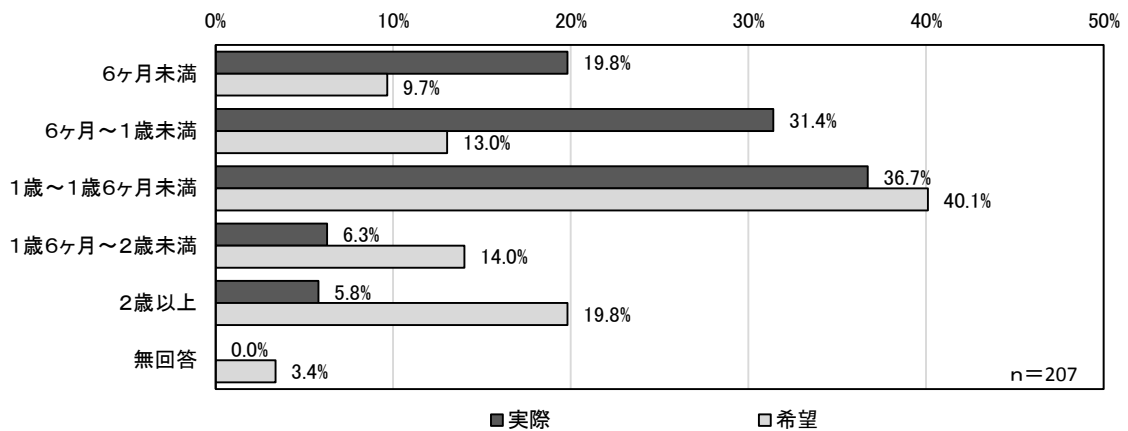
問 26-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか？また、お勤め先の育児休業の制度の範囲内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか？（1つに○）

① 母親

- ・職場復帰した時期は、子どもが「1歳～1歳6ヶ月未満」(36.7%)が最も多く、次いで「6ヶ月～1歳未満」(31.4%)となった。

希望する育児休業の取得期間は、「1歳～1歳6ヶ月未満」(40.1%)が最も多く、次いで「2歳以上」(19.8%)となった(図表 26-2-1)。

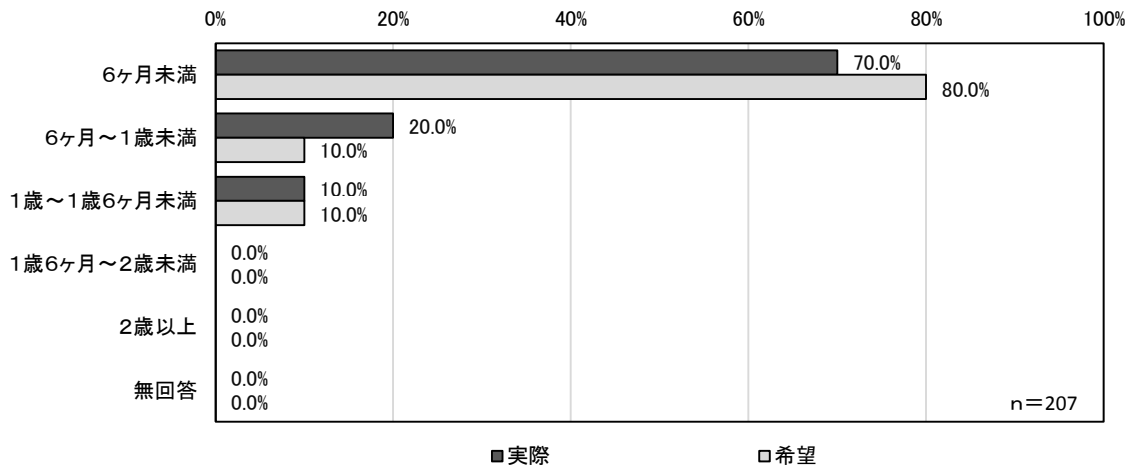
<図表 26-2-1 育児休業取得後の職場復帰時期（母親）>



② 父親

- ・職場復帰した時期は、子どもが「6ヶ月未満」が7名、希望する育児休業の取得期間は、子どもが「6ヶ月未満」が8名となった(図表 26-2-2)。

<図表 26-2-2 育児休業取得後の職場復帰時期（父親）>

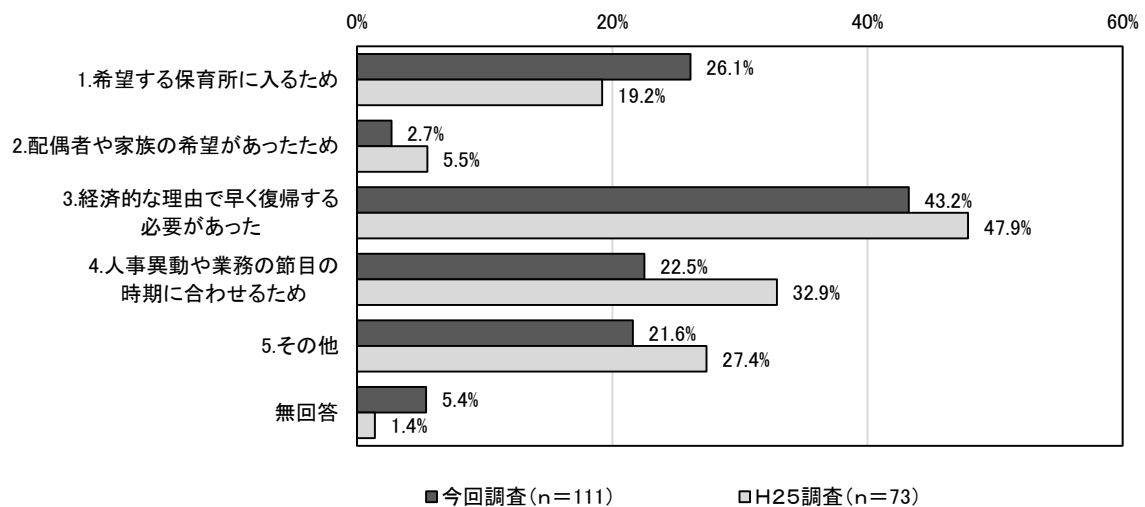


問 26-3 問 26-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
 希望の時期に職場復帰しなかった理由について、お答えください。
 (当てはまるものすべてに○)

①-1 【希望より早く復帰した方】(母親)

- ・希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(43.2%)が最も多く、次いで「希望する保育所に入るため」(26.1%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(22.5%)となった(図表 26-3-1)。

<図表 26-3-1 希望時期に職場復帰しなかった理由(母親)>



H25 調査と比較すると、早期復帰の理由として、「希望する保育所に入るため」の割合が増加した。

①-2 【希望より早く復帰した方】(父親)

- ・該当者なし。

②-1 【希望より遅く復帰した方】(母親)

- ・希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が5名、「職場の受入態勢が整っていなかったため」が1名、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が1名となった。

②-2 【希望より遅く復帰した方】(父親)

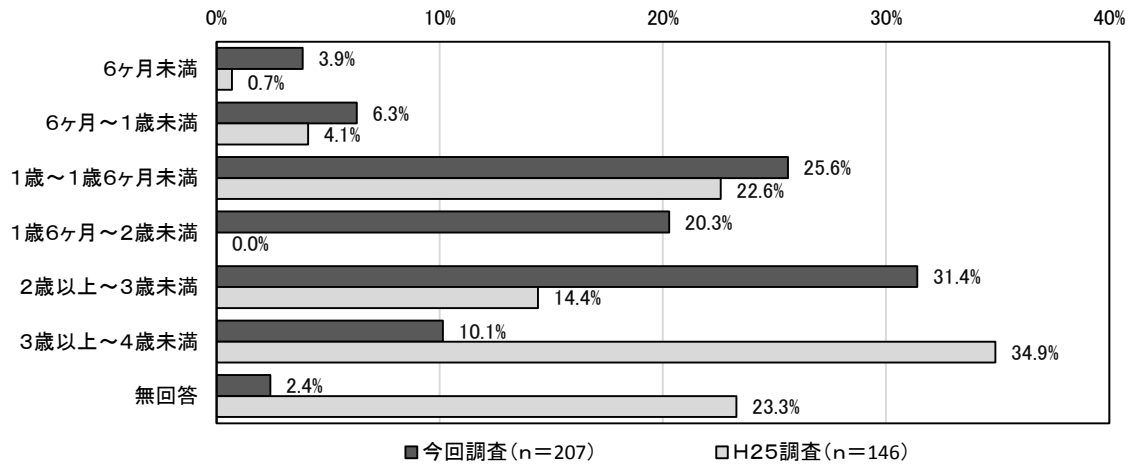
- ・該当者なし

問 26-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか？（1つに〇）

① 母親

・「2歳以上～3歳未満」（31.4%）が最も多く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」（25.6%）となった（図表 26-4-1）。

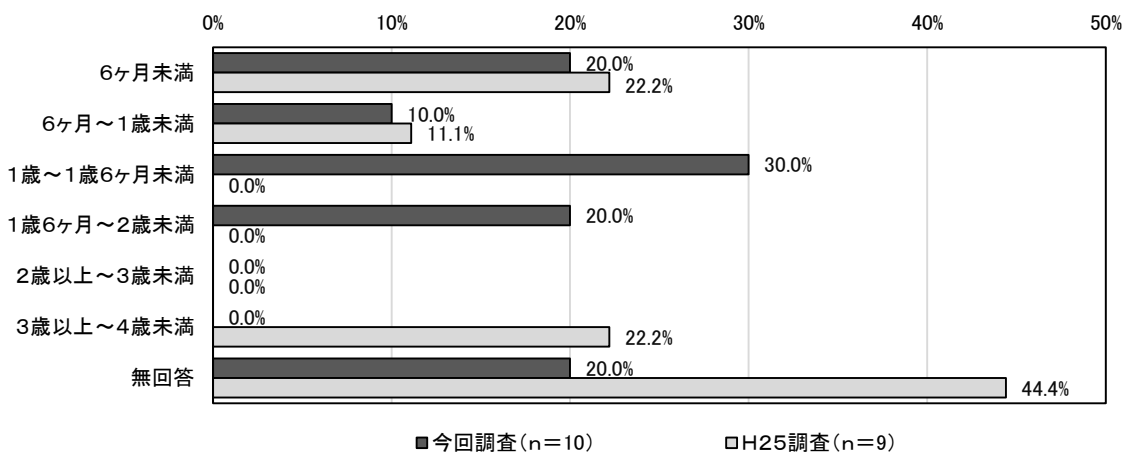
<図表 26-4-1 希望する育児休業期間（母親）>



② 父親

・「1歳～1歳6ヶ月未満」が3名、「6ヶ月未満」、「1歳6ヶ月～2歳未満」が2名となった（図表 26-4-2）。

<図表 26-4-2 希望する育児休業期間（父親）>

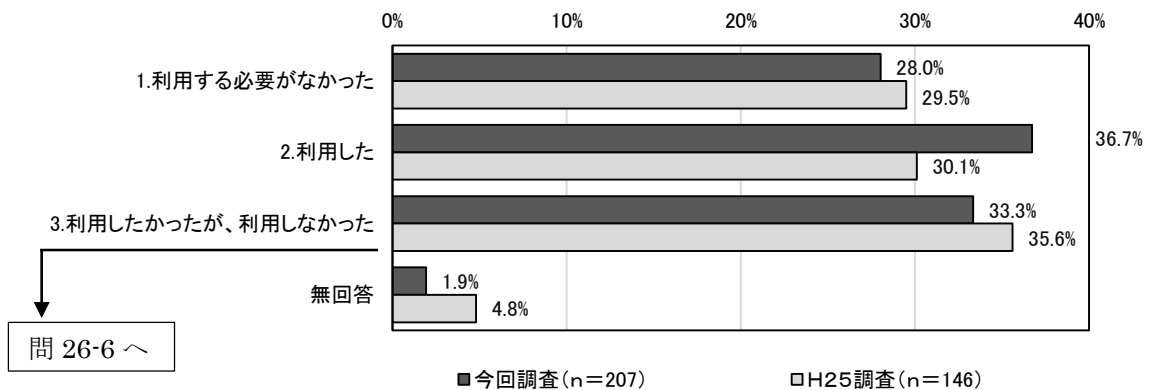


問 26-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務を利用しましたか？（1つに○）

① 母親

- 短時間勤務制度の利用状況は「利用した」（36.7%）が最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」（33.3%）、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった）」（28.0%）となった（図表 26-5-1）。

<図表 26-5-1 短時間勤務制度の利用状況（母親）>

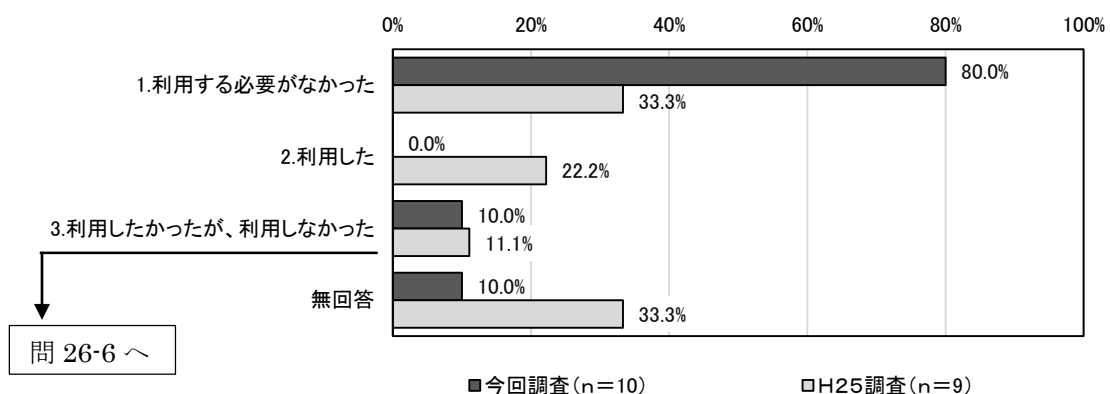


H25 調査と比較すると、「利用した」の割合が増加した。

② 父親

- 短時間勤務制度の利用状況は「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった）」が8名、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が1名となった（図表 26-5-2）。

<図表 26-5-2 短時間勤務制度の利用状況（父親）>



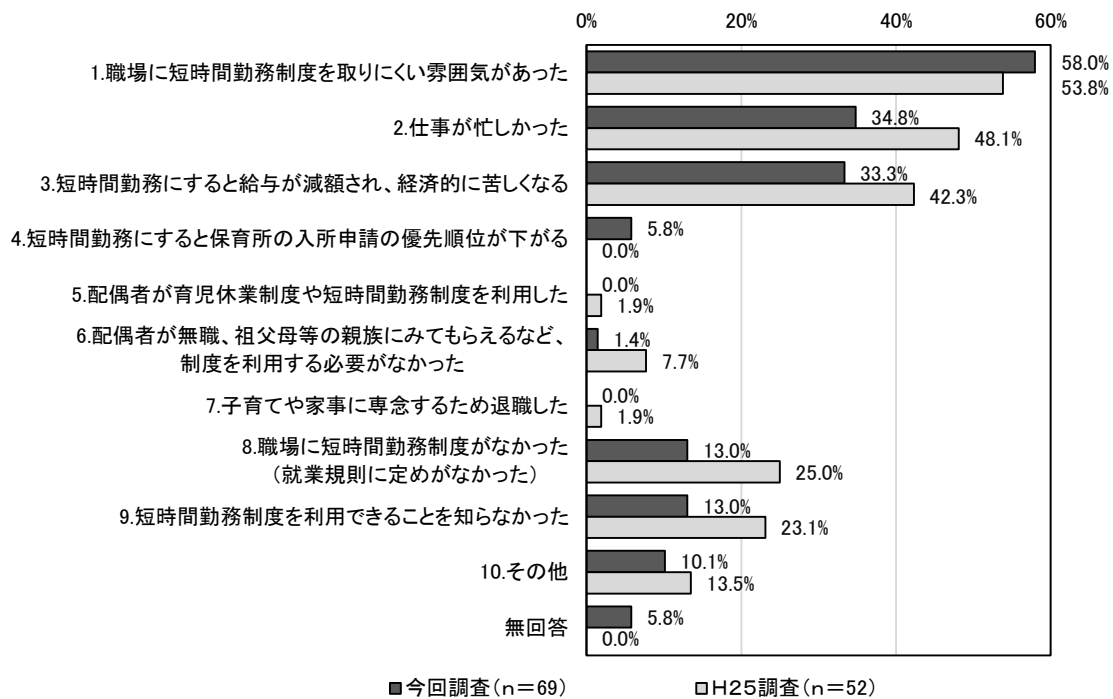
問 26-6 問 26-5 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○を付けた方にかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか？（当てはまるもの全てに○）

① 母親

- ・短時間勤務制度の利用状況は「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」方の理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（58.0%）が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」（34.8%）、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」（33.3%）となった（図表 26-6）。

<図表 26-6 短時間勤務制度を利用しなかった理由（母親）>



② 父親

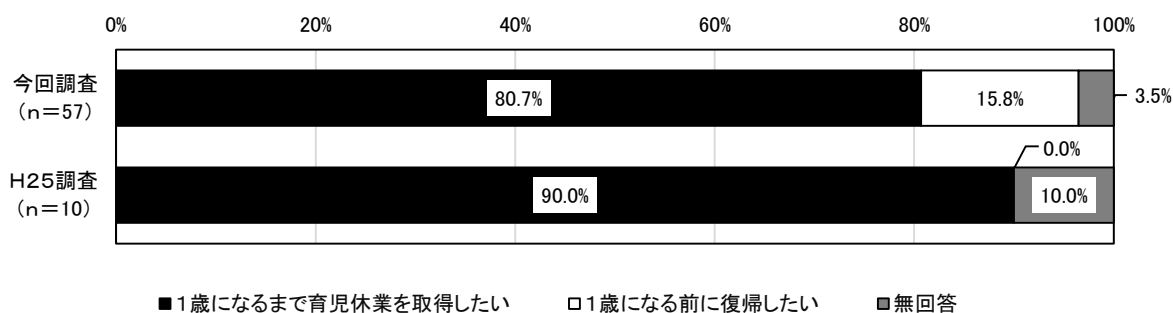
- ・短時間勤務制度の利用状況は「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」方の理由は、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が1名となった。

問 27 問 25 で「2. 現在も育児休業中である」に○を付けた方にうかがいます。
 あて名のお子さんが1歳になったときに預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか？または、このような事業があっても1歳になる前に復帰しますか？（1つに○）

① 母親

- ・「1歳になるまで育児休業を取得したい」が80.7%、「1歳になる前に復帰したい」が15.8%となった（図表 27）。

＜図表 27 子どもが1歳になるまでの育児休業の取得希望（母親）＞



② 父親

- ・「1歳になるまで育児休業を取得したい」が1名となった。

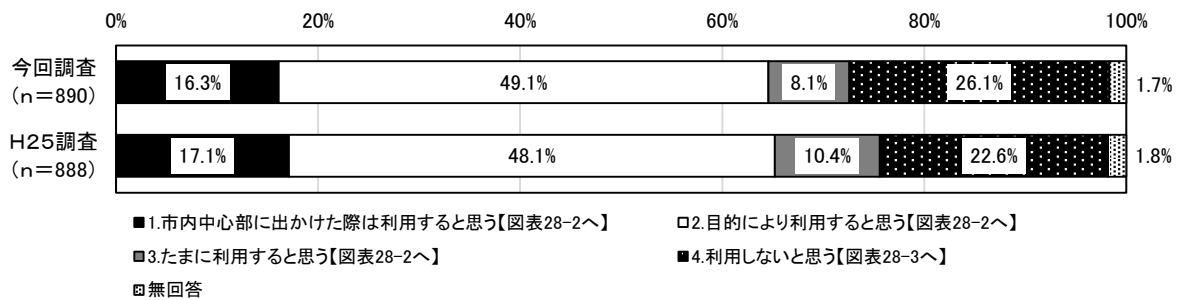
2. 12 市内中心部における「子育てまちなか拠点スペース」について

問 28 本市においてもこうした施設・スペースが整備された場合、あなたは利用しますか？利用希望の有無とその理由をお答えください。（利用意向は1つに○、理由は当てはまるものすべてに○）

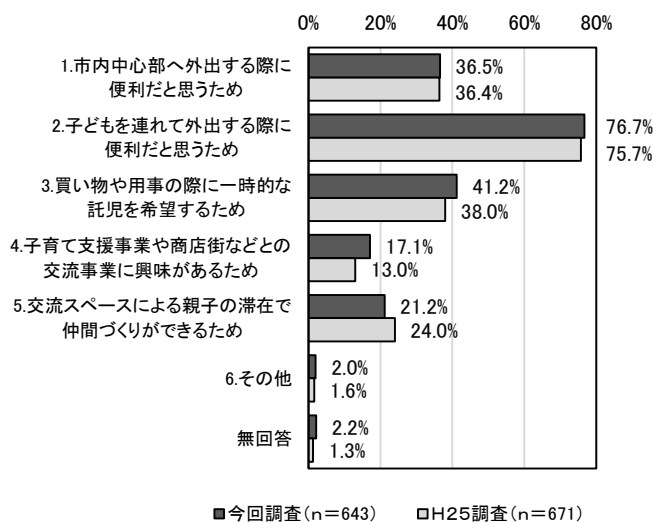
（なお、子どもの一時預かりなどは託児料金を伴う場合があります。）

- ・「子育てまちなか拠点スペース」が整備された場合の利用意向は、「目的により利用すると思う」（49.1%）が最も多く、次いで「利用しないと思う」（26.1%）となった（図表 28-1）。
- ・利用する理由は「子どもを連れて外出する際に便利だと思うため」（76.7%）が最も多く、次いで「買い物や用事の際に一時的な託児を希望するため」（41.2%）、「市内中心部へ外出する際に便利だと思うため」（36.5%）となった（図表 28-2）。
- ・利用しない理由は、「あまり興味を引かれないため」（50.4%）が最も多く、次いで「市内中心部には、あまり出かけないため」（28.4%）となった（図表 28-3）。

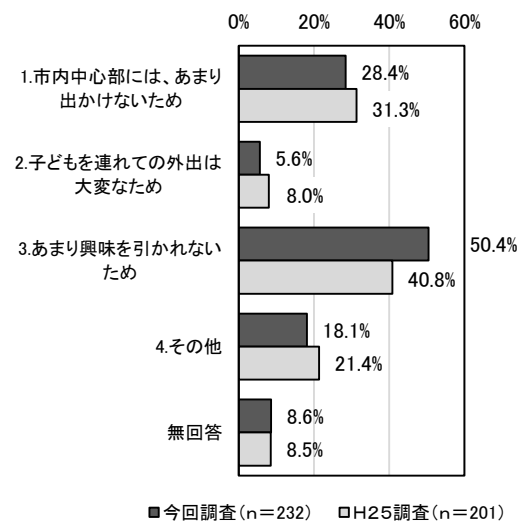
＜図表 28-1 子育てまちなか拠点スペースの利用意向＞



＜図表 28-2 利用したい理由＞



＜図表 28-3 利用しない理由＞

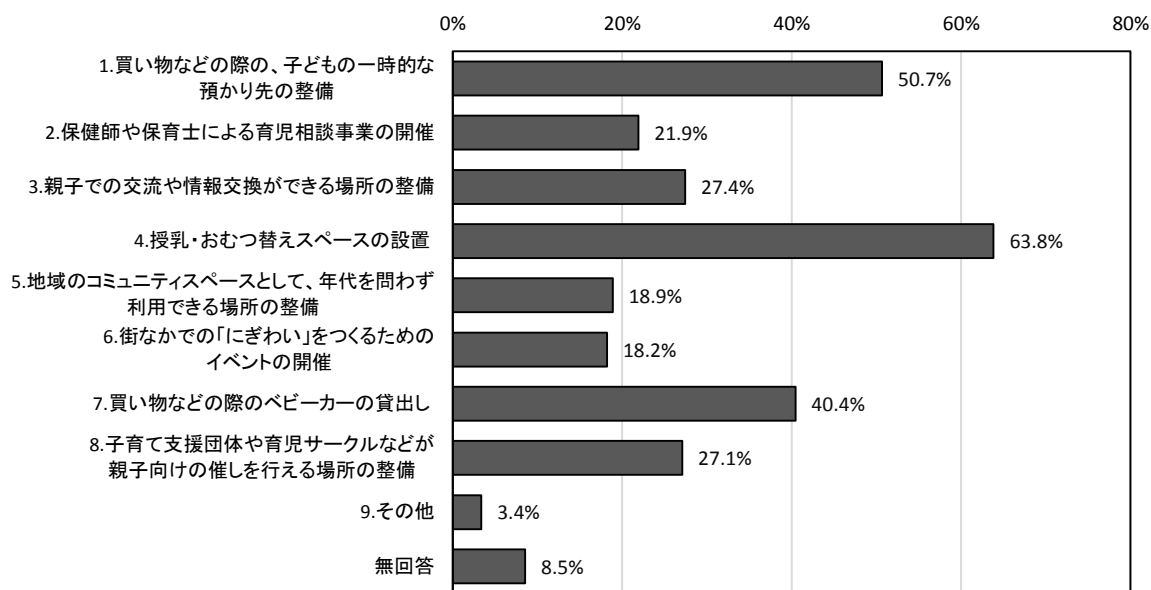


H25 調査と比較して、「利用しないと思う」が増加した。理由は、「あまり興味を引かれないため」となった。

問 29 本市において、市内中心部に「子育てまちなか拠点スペース」を設ける場合、具体的な事業について、どのような内容を希望しますか？（当てはまる番号すべてに○）

・期待する内容は、「授乳・おむつ替えのスペースの設置」(63.8%)が最も多く、次いで「買い物などの際の、子どもの一時的な預かり先の整備」(50.7%)、「買い物などの際のベビーカーの貸出し」(40.4%)、「親子での交流や情報交換が出来る場所の整備」(27.4%)となった(図表 29)。

＜図表 29 子育てまちなか拠点スペースでの希望事業＞



■ 今回調査 (n=890)

	今回調査	H25 年度調査
1	授乳・おむつ替えスペースの設置 (63.8)	授乳・おむつ替えスペースの設置 (56.4)
2	子どもの一時的な預かり先の整備 (50.7)	街なかでの「にぎわい」をつくるためのイベントの開催 (42.9)
3	ベビーカーの貸出し (40.4)	子どもの一時的な預かり先の整備 (41.2)
4	親子での交流・情報交換ができる場所の整備 (27.4)	ベビーカーなどの備え付け・貸出し (39.6)
5	子育て支援団体等が親子向けの催しを行える場所の整備 (27.1)	地域のコミュニティスペースとして、年代を問わず利用できる場所の整備 (34.8)
6	保健師や保育士による育児相談事業の開催 (21.9)	保健師や保育士による子育て相談の実施 (30.2)
7	地域のコミュニティスペースとして、年代を問わず利用できる場所の整備 (18.9)	子育て支援団体等が親子向けの催しを行える場所の整備 (28.9)
8	街なかでの「にぎわい」をつくるためのイベントの開催 (18.2)	交流スペースによる親子の一時滞在 (24.4)

クロス集計

「子育てまちなか拠点スペース」での希望事業と子どもの「年齢別」で見ると、子どもの年齢が低いうちは「授乳・おむつ替えスペースの設置」の希望が多いが、年齢が高くなるにつれ「買い物などの際の、子どもの一時的な預かり先の整備」の希望の割合が高くなっている。

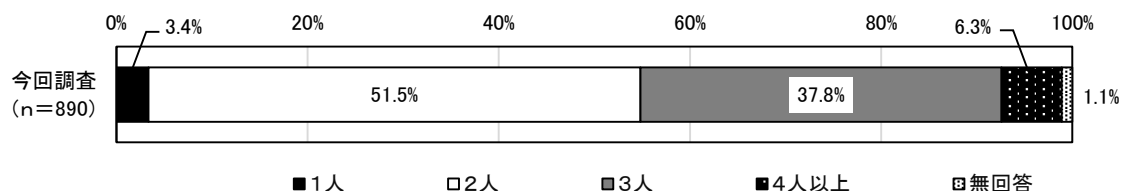
		問29.「子育てまちなか拠点スペース」での希望事業										
合計		1: 買い物などの際の、子どもの一時的な預かり先の整備	2: 保健師や保育士による育児相談事業の開催	3: 親子での交流や情報交換ができる場所の整備	4: 授乳・おむつ替えスペースの設置	5: 地域のコミュニティスペースとして、年代を問わず利用できる場所の整備	6: 街なかでの「にぎわい」をつくるためのイベントの開催	7: 買い物などの際のベビーカートの貸出し	8: 子育て支援団体や育児サークルなどが親子向けの催しを行える場所の整備	9: その他	無回答	
	全体	890	451	195	244	568	168	162	360	241	30	76
		100.0%	50.7%	21.9%	27.4%	63.8%	18.9%	18.2%	40.4%	27.1%	3.4%	8.5%
年齢	0歳	165	74	56	61	151	27	27	89	57	3	5
		100.0%	44.8%	33.9%	37.0%	91.5%	16.4%	16.4%	53.9%	34.5%	1.8%	3.0%
	1歳	138	66	33	43	110	20	26	76	47	3	6
		100.0%	47.8%	23.9%	31.2%	79.7%	14.5%	18.8%	55.1%	34.1%	2.2%	4.3%
	2歳	137	71	36	42	102	29	29	66	45	4	6
		100.0%	51.8%	26.3%	30.7%	74.5%	21.2%	21.2%	48.2%	32.8%	2.9%	4.4%
	3歳	131	70	24	33	70	24	27	52	26	7	12
		100.0%	53.4%	18.3%	25.2%	53.4%	18.3%	20.6%	39.7%	19.8%	5.3%	9.2%
	4歳	151	77	20	29	59	32	29	40	34	6	28
		100.0%	51.0%	13.2%	19.2%	39.1%	21.2%	19.2%	26.5%	22.5%	4.0%	18.5%
5歳	159	89	25	34	68	35	22	34	31	6	18	
	100.0%	56.0%	15.7%	21.4%	42.8%	22.0%	13.8%	21.4%	19.5%	3.8%	11.3%	
無回答	9	4	1	2	8	1	2	3	1	1	1	
	100.0%	44.4%	11.1%	22.2%	88.9%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	

2.13 その他

問30 理想と考えるお子さんの人数は何人です？（1つに○）

・理想と考える子どもの人数は、「2人」（51.5%）が最も多く、次いで「3人」（37.8%）、「4人以上」（6.3%）となった（図表30）。

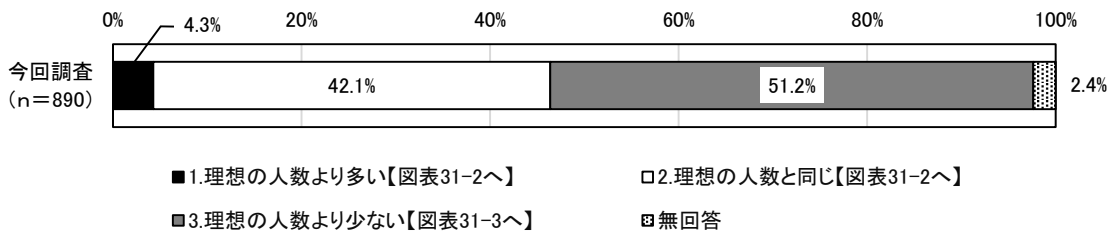
<図表30 理想と考えるお子さんの人数>



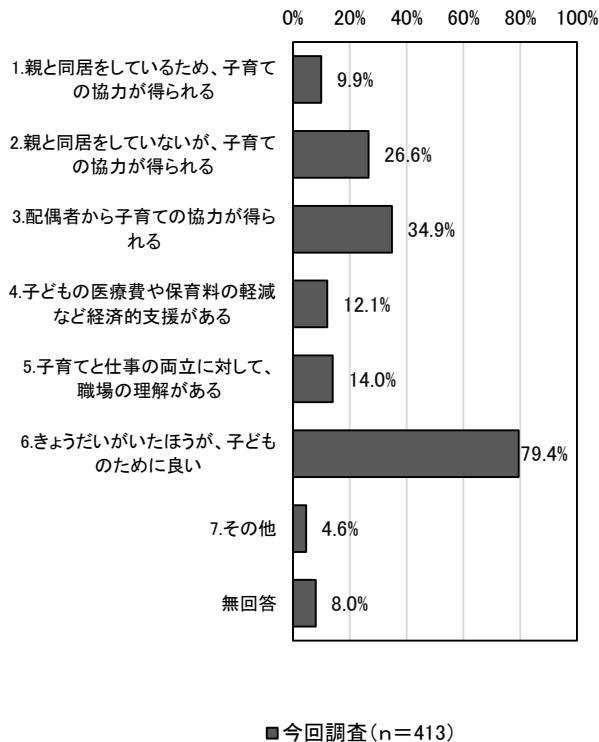
問 31 お子さんの実際の人数（これからの予定がある場合も含む）と上記の理想の人数を比べた場合、いかがですか？（1つに○）その理由についてもお答えください。（主なもの3つまでに○）

- ・ 実際の子どもの人数と理想の人数では、「理想の人数より少ない」（51.2%）が最も多く、次いで「理想の人数と同じ」（42.1%）となった（図表 31-1）。
- ・ 実際の子どもの人数と理想の人数が同じ又は多い理由については、「きょうだい良かったほうが、子どものために良い」（79.4%）が最も多く、次いで「配偶者から子育ての協力が得られる」（34.9%）となった（図表 31-2。）
- ・ 理想の人数より少ない理由は、「子育てや教育にかかる費用が高い」（54.6%）が最も多く、次いで「出産や子育てをする年齢に不安がある」（37.7%）、「子育てと仕事の両立が難しい」（32.5%）となった（図表 31-3）。

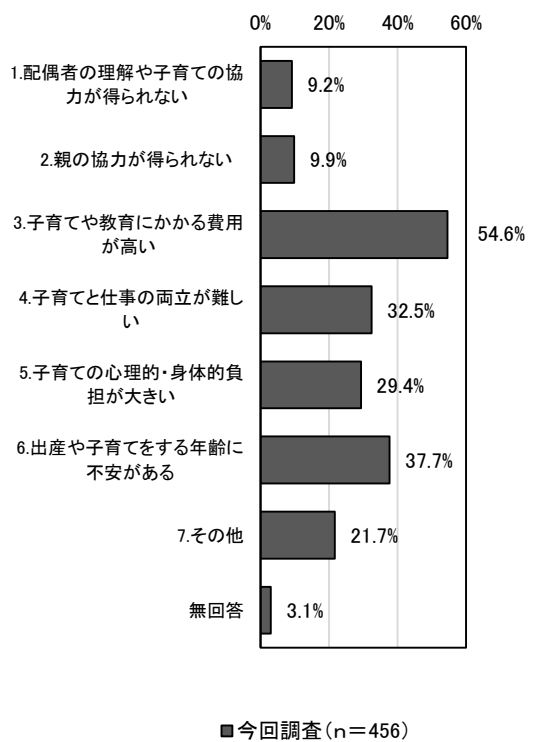
＜図表 31-1 実際の人数と理想の人数との比較＞



＜図表 31-2 理想の人数が同じ又は多い理由＞



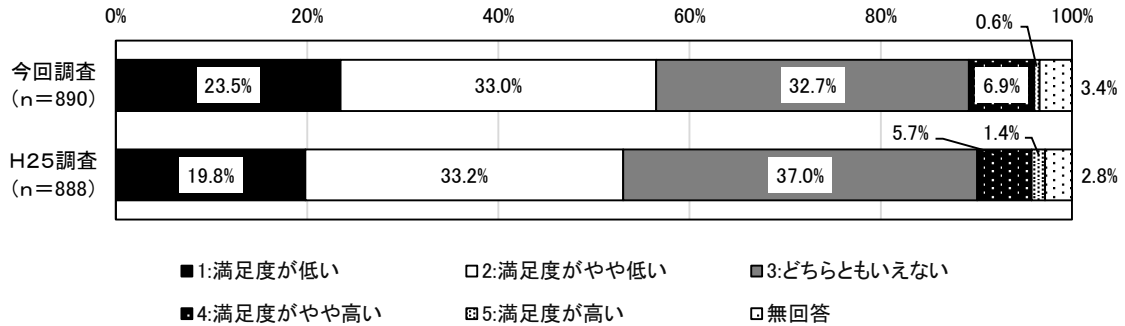
＜図表 31-3 理想の人数よりも少ない理由＞



問 32 本市の子育て環境や支援への満足度について、お答えください。(1つに○)

・本市の子育て環境や支援への満足度は、「満足度が低い」(23.5%)、「満足度がやや低い」(33.0%)となり、半数以上が満足度中間「3」よりも低かった(図表 32)。

＜図表 32 本市の子育て環境や支援への満足度＞



クロス集計

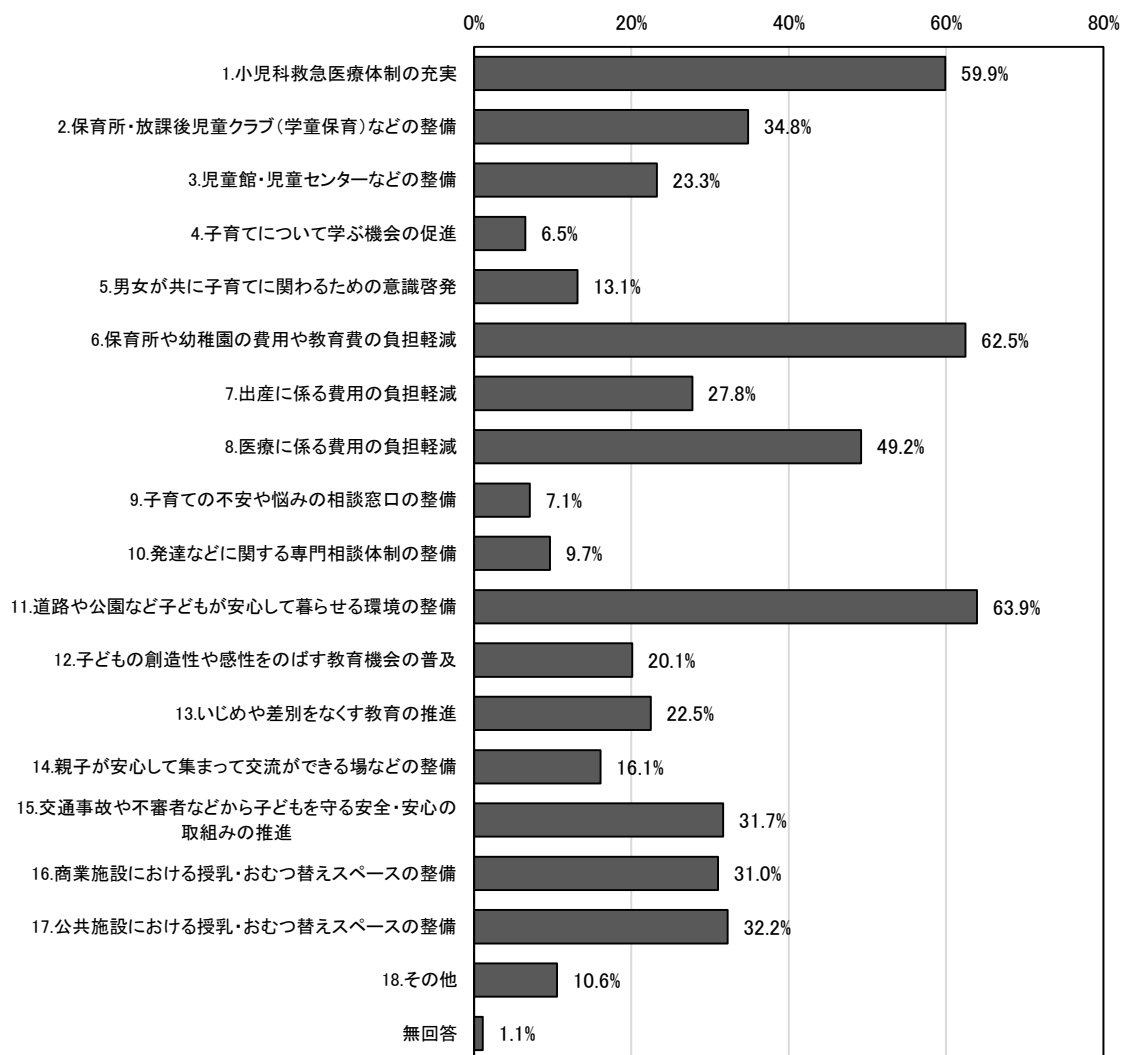
市の「子育て支援の満足度」を子どもの「年齢別」で見ると、子どもが2歳までは「どちらともいえない」が多いが、3歳以上になると満足度が低くなる傾向になっている。

		問32. 市の子育て支援の満足度						
		合計	1:満足度が低い	2:満足度がやや低い	3:どちらともいえない	4:満足度がやや高い	5:満足度が高い	無回答
全体		890	209	294	291	61	5	30
		100.0%	23.5%	33.0%	32.7%	6.9%	0.6%	3.4%
年齢	0歳	165	42	39	63	18	2	1
		100.0%	25.5%	23.6%	38.2%	10.9%	1.2%	0.6%
	1歳	138	29	45	52	6	1	5
		100.0%	21.0%	32.6%	37.7%	4.3%	0.7%	3.6%
	2歳	137	37	41	44	9	1	5
		100.0%	27.0%	29.9%	32.1%	6.6%	0.7%	3.6%
	3歳	131	29	49	43	5	0	5
		100.0%	22.1%	37.4%	32.8%	3.8%	0.0%	3.8%
4歳	151	32	59	42	11	0	7	
	100.0%	21.2%	39.1%	27.8%	7.3%	0.0%	4.6%	
5歳	159	38	57	46	11	1	6	
	100.0%	23.9%	35.8%	28.9%	6.9%	0.6%	3.8%	
無回答	9	2	4	1	1	0	1	
	100.0%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	

問 33 小樽市が、今よりもっと子育てしやすいまちとなるためにはどのようなことが重要だと思いますか？（主なもの5つまでに○）

・子育てしやすいまちになるため重要なことは、「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」(63.9%)が最も多く、次いで「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」(62.5%)、「小児科救急医療体制の充実」(59.9%)、「医療に係る費用の負担軽減」(49.2%)となった(図表 33)。

<図表 33 子育てしやすいまちになるために重要なこと>



■今回調査(n=890)

クロス集計

「市が子育てしやすいまちになるために重要なこと」を子どもの「年齢別」で見ると、子どもが2歳までは「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」の割合が高く、3歳以上になると「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が高くなる傾向にある。

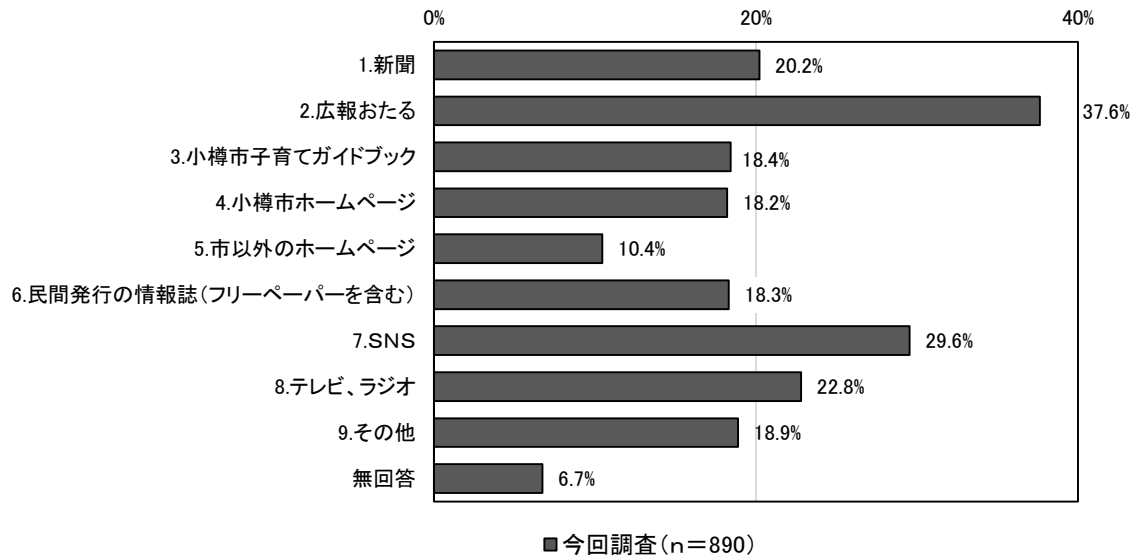
		問33. 市が子育てしやすいまちになるために重要なこと														
		合計	1: 小児科 救急医療体制の充実	2: 保育所・放課後 児童クラブ (学童保育) などの 整備	3: 児童 館・児童セ ンターなど の整備	4: 子育て について学 ぶ機会の促 進	5: 男女が 共に子育て に関わるた めの意識啓 発	6: 保育所 や幼稚園の 費用や教育 費の負担軽 減	7: 出産に 係る費用の 負担軽減	8: 医療に 係る費用の 負担軽減	9: 子育て の不安や個 人の相談窓 口の整備	10: 発達な どに関する 専門相談体 制の整備	11: 道路や 公園など子 どもが安心 して暮らせ る環境の整 備	12: 子ども の創造性や 感性をのば す教育機会 の普及	13: いじめ や差別をな くす教育の 推進	14: 親子が 安心して集 まって交流 ができる場 などの整備
	全体	890	533	310	207	58	117	556	247	430	63	86	569	179	200	143
		100.0%	59.9%	34.8%	23.3%	6.5%	13.1%	62.5%	27.8%	49.2%	7.1%	9.7%	63.9%	20.1%	22.5%	16.1%
年齢	0歳	165	106	50	28	18	21	117	57	71	15	9	88	31	28	32
		100.0%	64.2%	30.3%	17.0%	10.9%	12.7%	70.9%	34.5%	43.0%	9.1%	5.5%	53.3%	18.8%	17.0%	19.4%
	1歳	138	79	38	35	7	22	88	45	57	13	7	88	20	30	26
		100.0%	57.2%	27.5%	25.4%	5.1%	15.9%	63.8%	32.6%	41.3%	9.4%	5.1%	63.8%	14.5%	21.7%	18.8%
	2歳	137	77	50	38	9	24	98	36	68	9	15	92	28	30	26
		100.0%	56.2%	36.5%	27.7%	6.6%	17.5%	71.5%	26.3%	49.6%	6.6%	10.9%	67.2%	20.4%	21.9%	19.0%
	3歳	131	80	54	32	12	21	85	36	76	9	22	87	35	32	22
		100.0%	61.1%	41.2%	24.4%	9.2%	16.0%	64.9%	27.5%	58.0%	6.9%	16.8%	66.4%	26.7%	24.4%	16.8%
	4歳	151	93	59	35	7	13	85	35	80	8	11	109	28	40	20
		100.0%	61.6%	39.1%	23.2%	4.6%	8.6%	56.3%	23.2%	53.0%	5.3%	7.3%	72.2%	18.5%	26.5%	13.2%
5歳	159	92	56	35	5	16	81	37	82	9	21	99	34	38	17	
	100.0%	57.9%	35.2%	22.0%	3.1%	10.1%	50.9%	23.3%	51.6%	5.7%	13.2%	62.3%	21.4%	23.9%	10.7%	
無回答	9	6	3	4	0	0	2	1	4	0	1	6	3	2	0	
	100.0%	66.7%	33.3%	44.4%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	66.7%	33.3%	22.2%	0.0%	

		問33. 市が子育てしやすいまちになるために重要なこと				
		合計	15: 交通事 故や不審者 などから子 どもを守る 安全・安心 の取組みの 推進	16: 商業施 設における 授乳・おむ つ替えス ペースの整 備	17: 公共施 設における 授乳・おむ つ替えス ペースの整 備	18: その他 無回答
	全体	890	282	276	287	94
		100.0%	31.7%	31.0%	32.2%	10.6%
年齢	0歳	165	42	84	84	19
		100.0%	25.5%	50.9%	50.9%	11.5%
	1歳	138	45	59	63	13
		100.0%	32.6%	42.8%	45.7%	9.4%
	2歳	137	34	49	48	14
		100.0%	24.8%	35.8%	35.0%	10.2%
	3歳	131	49	33	35	10
		100.0%	37.4%	25.2%	26.7%	7.6%
	4歳	151	64	30	34	13
		100.0%	42.4%	19.9%	22.5%	8.6%
5歳	159	45	20	21	23	
	100.0%	28.3%	12.6%	13.2%	14.5%	
無回答	9	3	1	2	2	
	100.0%	33.3%	11.1%	22.2%	22.2%	

問 34 普段、子育てに関する情報をどこから入手していますか？（当てはまる番号すべてに○）

・子育てに関する情報の入手先については、「広報おたる」（37.6%）が最も多く、次いで「SNS」（29.6%）、「テレビ・ラジオ」（22.8%）、「新聞」（20.2%）となった（図表 34）。

＜図表 34 子育てに関する情報の入手手段＞



最後に、本市の子育て支援の取組について、ご意見がございましたらご記入ください。

・子育て支援の取組について 432 件の意見が得られ、「行政の子育て支援サービス」239 件、「生活環境（住宅、道路、公園、公共交通機関、公的建築物など）」137 件、「保育所・幼稚園などの保育環境等の整備」37 件、「労働環境（働きやすい環境づくり、育児休業等の制度の充実など）」5 件、「その他」14 件となった。

各項目の詳細については、次頁以降に示すとおり。

項 目	今回調査	H25 調査
	件数	件数
①行政の子育て支援サービス	239	195
②生活環境（住宅、道路、公園、公共交通機関、公的建築物など）	137	85
③保育所・幼稚園などの保育環境等の整備	37	97
④労働環境（働きやすい環境づくり、育児休業等の制度の充実など）	5	10
⑤その他	14	15
合計	432	402

① 行政の子育て支援サービスに関する意見

- ・行政の子育て支援サービスに関する意見についてみると、「乳幼児医療等の医療費助成の拡大」が 27 件、「子育て情報の提供・周知方法の工夫充実」が 19 件と特に多くなった。

①行政の子育て支援サービスに関する意見	今回調査	H25 調査
乳幼児医療等の医療費助成の拡大	27	16
子育て支援情報の提供・周知方法の工夫充実	19	24
金銭的支援	15	2
放課後児童クラブの拡充	15	1
冬期間（雨の日）の屋内遊戯施設の整備・充実	14	13
行政の対応について	14	3
地区小児科病院の充実	13	0
夜間・休日小児科医療の充実支援	12	5
子ども・子育て世帯に優しい環境づくりについて	11	10
イベントについて	9	10
施設の充実について	9	3
地区児童館・コミュニティセンターの整備・充実	8	4
子育て支援センターの整備・充実	8	11
ひとり親世帯への支援	8	2
保育料について	7	2
同年齢児の親子の集う交流の場の提供	5	3
通学環境について	5	4
語学・スポーツ等の能力向上に向けた支援	5	2
地域との交流の場の充実	5	2
放課後児童クラブの充実	4	6
障がい児支援について	4	4
預かりについて	4	4
就学児童に対する支援の拡大	3	2
緊急の場合などの託児サービスの充実	2	4
ファミリーサポートセンター事業	2	3
教育機関について	2	3
保健師・保育士等の資質について	2	3
子育てサークルなどの活動場所の提供	1	0
相談窓口の充実	1	3
多子世帯に対する支援	1	3
保育士等の資質の向上	1	2
児童手当の拡充	0	7
遊び場について	0	15
サークルについて	0	4
各種審査・実態調査の強化について	0	2
その他	3	13
合計	239	195

② 生活環境（住宅、道路、公園、公共交通機関、公的建築物など）に関する意見

- ・生活環境（住宅、道路、公園、公共交通機関、公的建築物など）に関する意見についてみると、「安心して遊べる公園の整備、遊具の整備・充実」が73件、「遊べる施設」が25件となった。

②生活環境に関する意見	今回調査	H25 調査
安心して遊べる公園の整備、遊具の整備・充実	73	38
遊べる施設について	25	2
子連れで利用しやすい施設整備	20	26
公共交通機関の充実	10	3
図書館について	3	4
保育所・幼稚園周辺の環境整備	2	2
不審者・変質者に対する防犯対策の強化	2	0
ベビーカーや車椅子の通りやすい歩道の整備	1	2
その他	1	8
合計	137	85

③ 保育所・幼稚園などの保育環境等の整備に関する意見

- ・保育所・幼稚園などの保育環境等の整備に関する意見についてみると、「保育所、幼稚園の保育料の軽減・助成」が 12 件、「休日保育の充実」が 6 件となった。

③保育所・幼稚園などの環境整備に関する意見	今回調査	H25 調査
保育所、幼稚園の保育料の軽減・助成	12	38
休日保育の充実	6	6
病気や病後時の際の保育の充実	4	3
保育士・幼稚園教諭などの増員	3	0
一時保育の充実	3	1
保育所・幼稚園などの保育施設の改善・充実	2	2
就職活動時の保育所の受入れ	2	0
入園・入所に関して	1	4
延長保育（開始・終了）の充実	0	12
保育士の資質向上、保育内容の充実、保育士間の保育内容の均一化	0	7
保育所待機児童の解消	0	3
幼稚園長期休業時（夏・冬・春休み）の預かり保育の実施	0	1
休日等の保育所への預かりについて	0	3
送迎について	0	3
夜間保育等について	0	3
認定こども園について	0	2
保育園・幼稚園の数について	0	2
その他	4	7
合計	37	97

④ 労働環境（働きやすい環境づくり、育児休業等の制度の充実など）に関する意見

・労働環境（働きやすい環境づくり、育児休業等の制度の充実など）に関する意見についてみると「男性の育児休業の取得促進」が2件となった。

④労働環境に関する意見	今回調査	H25 調査
男性の育児休業の取得促進	2	1
民間企業への子育て家庭に対する理解・配慮の啓発促進	1	1
育児休暇制度の充実	1	1
育児休業制度等の民間企業への啓発促進	0	2
子育て家庭に対する雇用先の拡充・求人年齢層の拡大	0	2
その他	1	3
合計	5	10

⑤ その他

・その他の意見についてみると、「アンケート調査」が5件となった。

⑤その他	今回調査	H25 調査
アンケート調査について	5	8
税金の有効な使い方	2	0
全体的な行政サービスの向上	1	0
行政サービスの地域間格差の解消	0	1
その他	6	6
合計	14	15

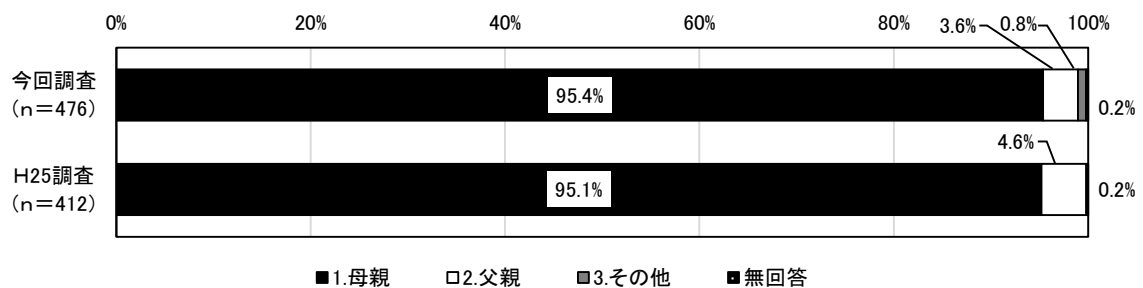
3 放課後児童クラブ利用児童を対象としたニーズ調査の結果

3.1 お子さんと家族の状況

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか？あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

・回答者は「母親」が95.4%、「父親」が3.6%となった(図表1)。

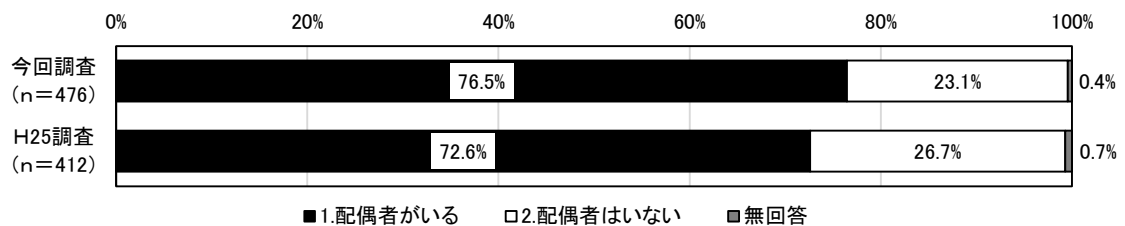
<図表1 回答者>



問2 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

・回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が76.5%、「配偶者はいない」が23.1%となった(図表2)。

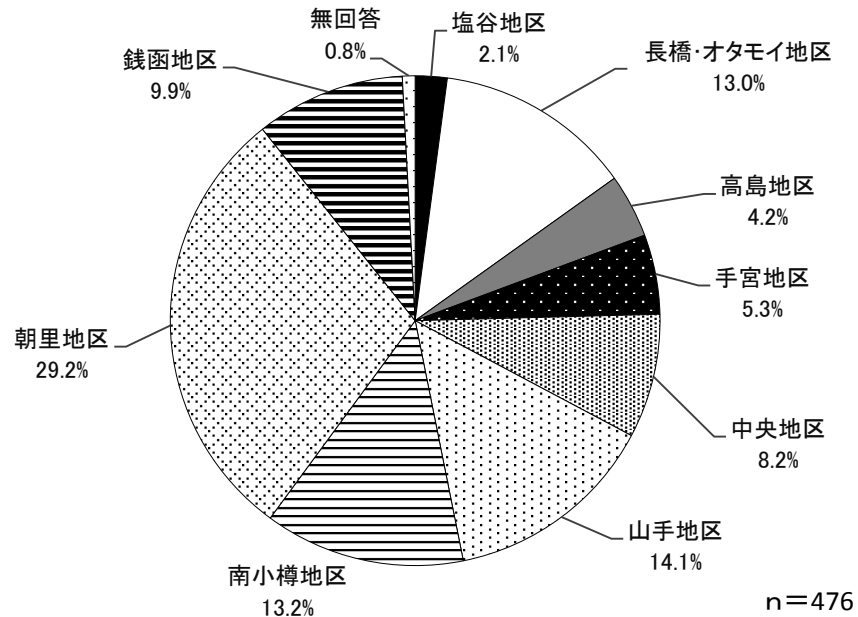
<図表2 回答者の配偶関係>



問3 お住まいの地区はどちらですか？（1つに○）

・お住まいの地区は、「朝里地区」（29.2%）が最も多く、次いで「山手地区」（14.1%）、「南小樽地区」（13.2%）、「長橋・オタモイ地区」（13.0%）となった（図表3）。

<図表3 お住まいの地区>



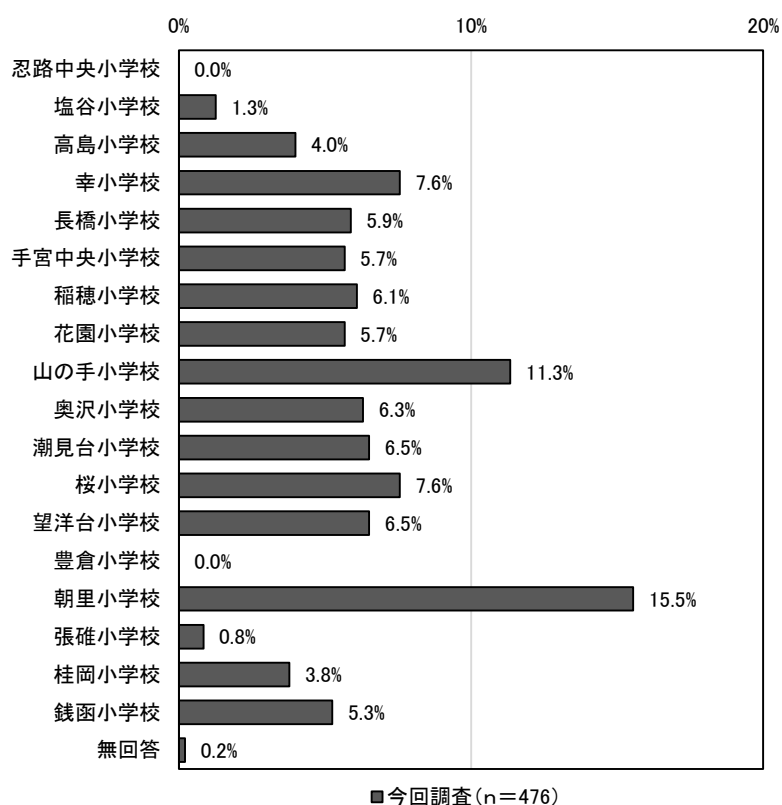
【備考】

塩谷地区	1. 蘭島、2. 忍路、3. 桃内、4. 塩谷
長橋・オタモイ地区	5. オタモイ、6. 幸、7. 長橋、8. 旭町
高島地区	9. 祝津、10. 赤岩、11. 高島
手宮地区	12. 手宮、13. 末広町、14. 梅ヶ枝町、15. 錦町、16. 清水町、17. 豊川町、18. 石山町、19. 色内3丁目
中央地区	20. 稲穂、21. 花園、22. 色内1・2丁目、23. 港町、24. 塚町、25. 東雲町、26. 山田町、27. 相生町、28. 入船1・2丁目
山手地区	29. 富岡、30. 緑、31. 最上、32. 松ヶ枝、33. 入船3～5丁目、34. 天狗山
南小樽地区	35. 住ノ江、36. 住吉町、37. 有幌町、38. 信香町、39. 若松、40. 奥沢、41. 天神、42. 真栄、43. 潮見台、44. 新富町、45. 勝納町、46. 若竹町、47. 築港
朝里地区	48. 桜、49. 船浜町、50. 朝里、51. 新光、52. 望洋台、53. 新光町、54. 朝里川温泉
銭函地区	55. 張碓町、56. 春香町、57. 桂岡町、58. 銭函、59. 見晴町、60. 星野町

問4 あて名のお子さんはどちらの小学校に通っていますか？小学校名をご記入ください。

・お子さんが通っている小学校は、「朝里小学校」(15.5%)が最も多く、次いで「山の手小学校」(11.3%)、「幸小学校」「桜小学校」(7.6%)、「潮見台小学校」「望洋台小学校」(6.5%)、「奥沢小学校」(6.3%)となった(図表4)。

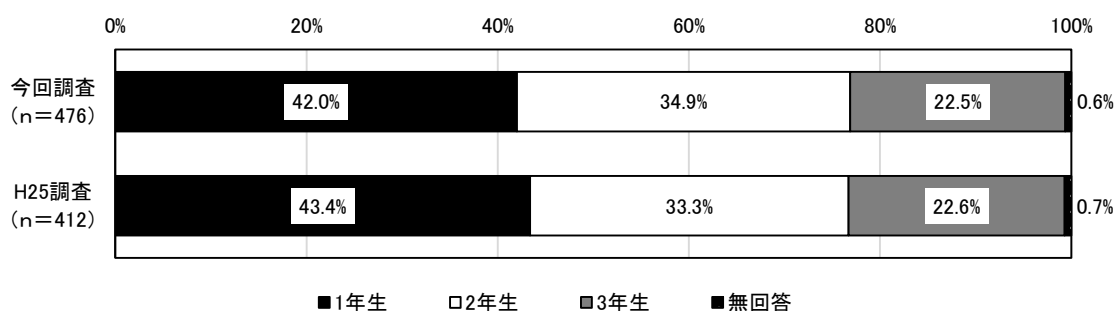
<図表4 お子さんが通っている小学校>



問5 あて名のお子さんの学年をご記入ください。

・お子さんの学年は、「1年生」(42.0%)が最も多く、次いで「2年生」(34.9%)、「3年生」(22.5%)となった(図表5)。

<図表5 お子さんの学年>



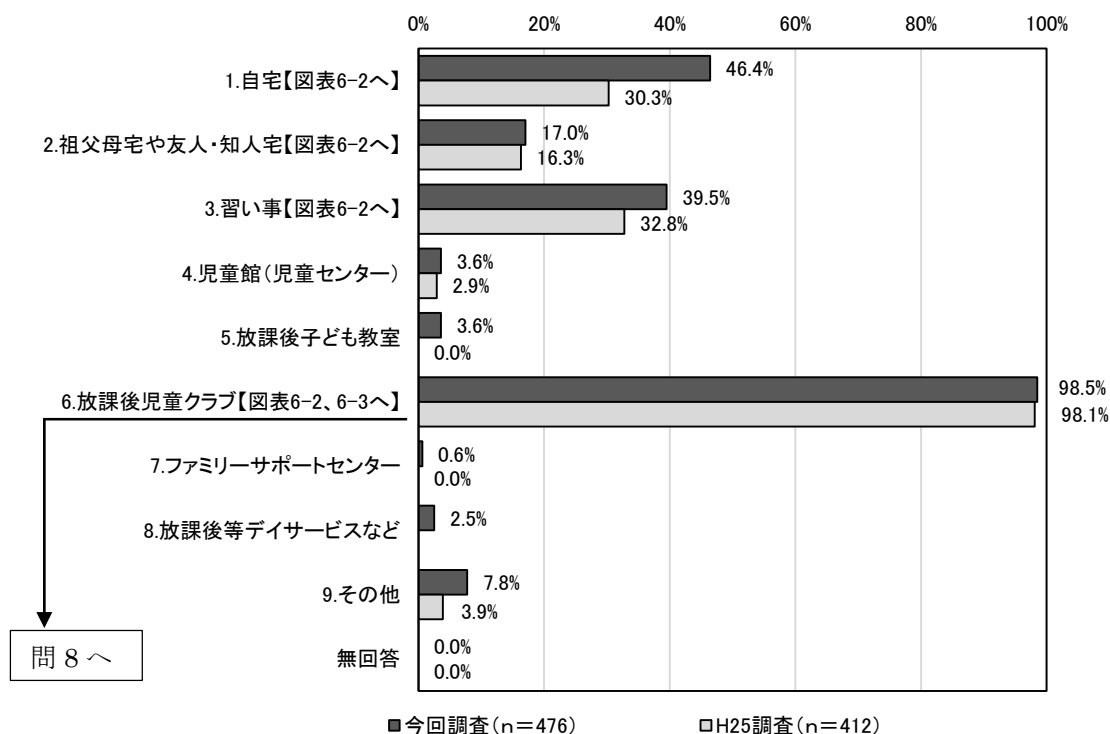
3. 2 お子さんの放課後の過ごし方

問6 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか？（当てはまるものすべてに○）また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいですか？場所と日数について、それぞれ現状と希望をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。

① 現在、放課後の時間を過ごしている場所

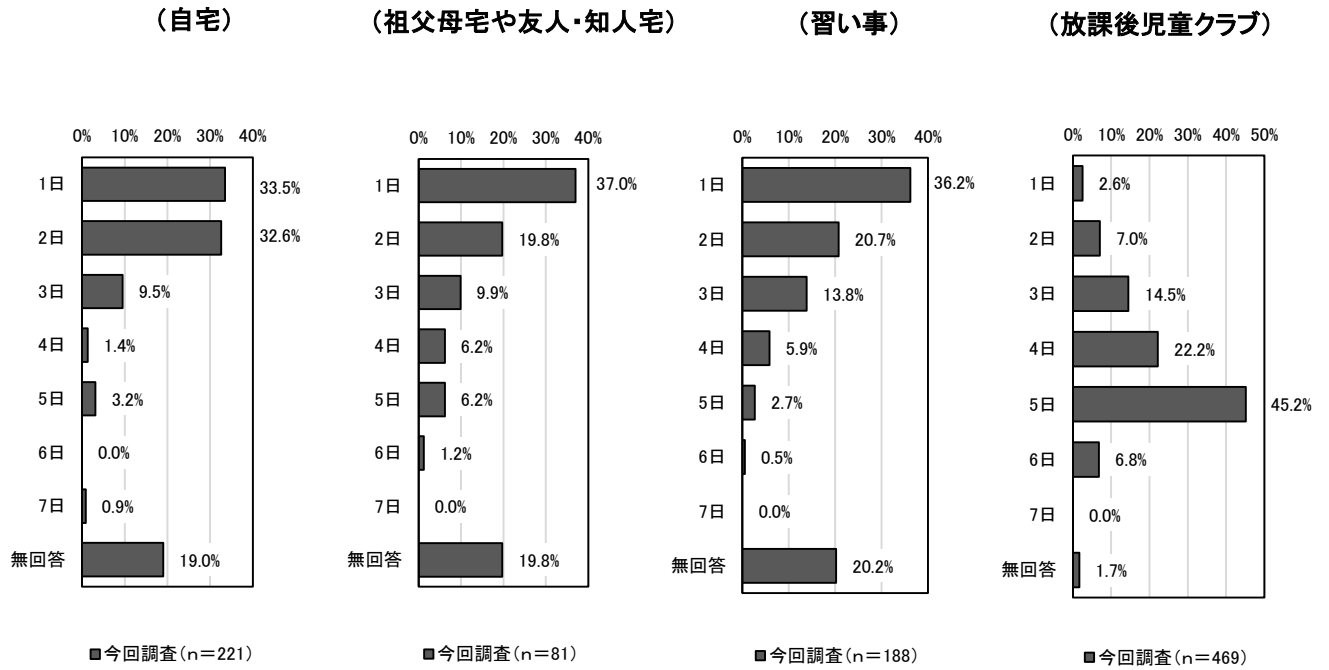
- ・「放課後児童クラブ」（98.5%）が最も多く、次いで「自宅」（46.4%）、「習い事」（39.5%）となった（図表 6-1）。
- ・「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週当たりの利用日数は、「自宅」では「1日」（33.5%）、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」（37.0%）、「習い事」では「1日」（36.2%）、「放課後児童クラブ」では「5日」（45.2%）が最も多かった（図表 6-2）。
- ・「放課後児童クラブ」と回答した方の下校時からの利用時間は、「16時まで」（34.8%）が最も多かった（図表 6-3）。

<図表 6-1 放課後を過ごしている場所>

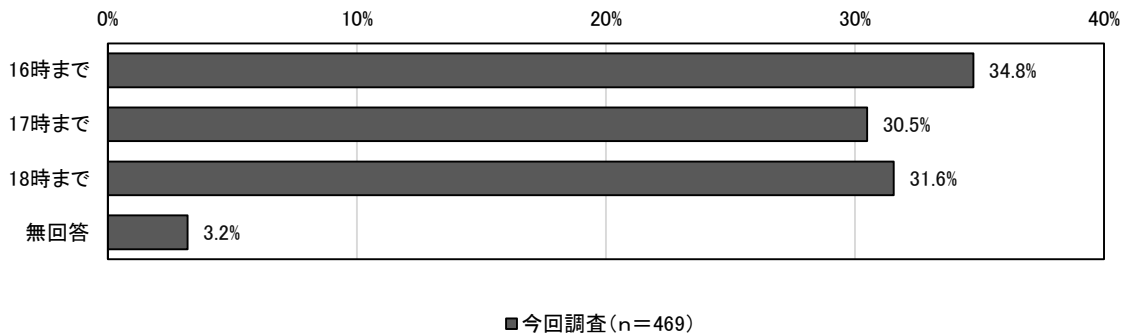


問 8 へ

<図表 6-2 放課後を過ごしている場所の1週当たりの日数>



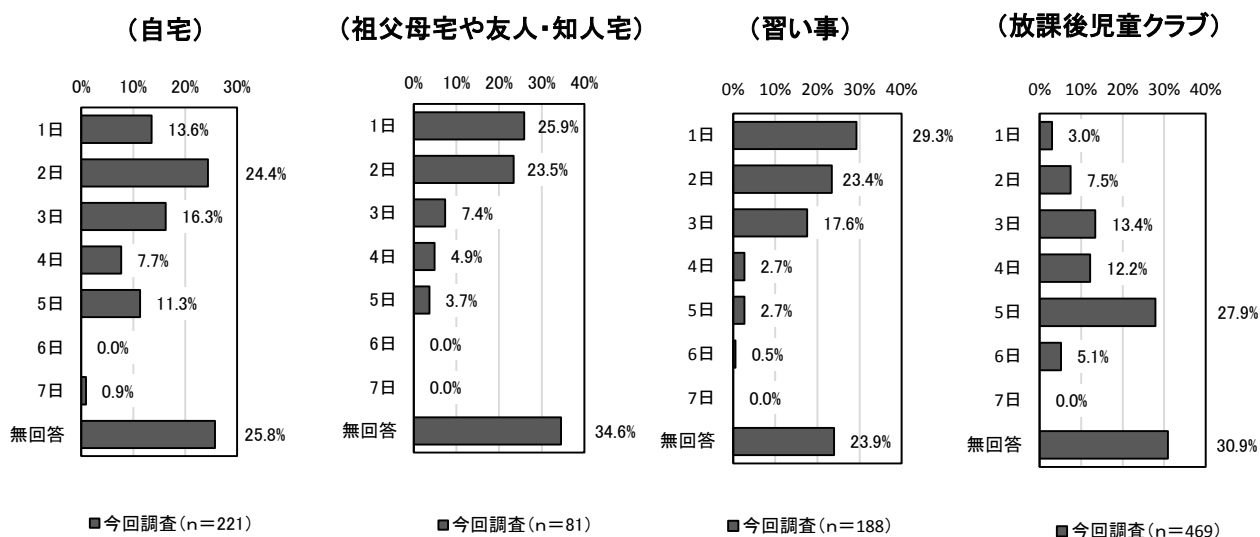
<図表 6-3 放課後児童クラブ利用時間(下校時から何時まで)>



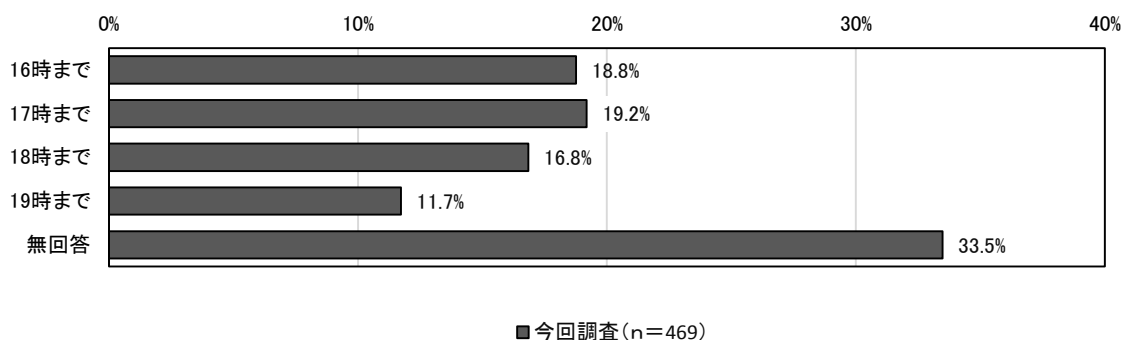
② 希望として過ごさせたい場所の日数

- 希望として過ごさせたい場所として、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週当たりの希望利用日数は、「自宅」では「2日」(24.4%)、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」(25.9%)、「習い事」では「1日」(29.3%)、「放課後児童クラブ」では「5日」(27.9%)が最も多かった(図表 6-4)。
- 「放課後児童クラブ」と回答した方の下校時からの利用希望時間は、「17時まで」(19.2%)、次いで「16時まで」(18.8%)が多かった(図表 6-5)。

<図表 6-4 放課後を過ごさせたい場所の1週当たりの日数>



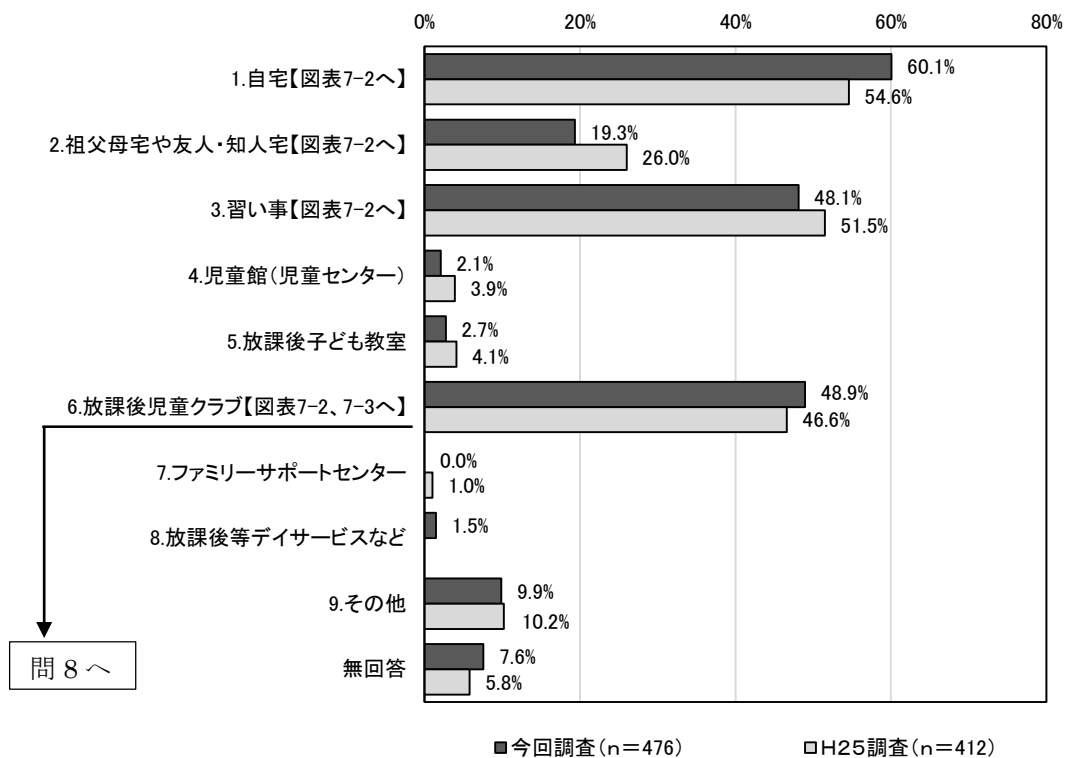
<図表 6-5 放課後児童クラブ利用希望時間(下校時から何時まで)>



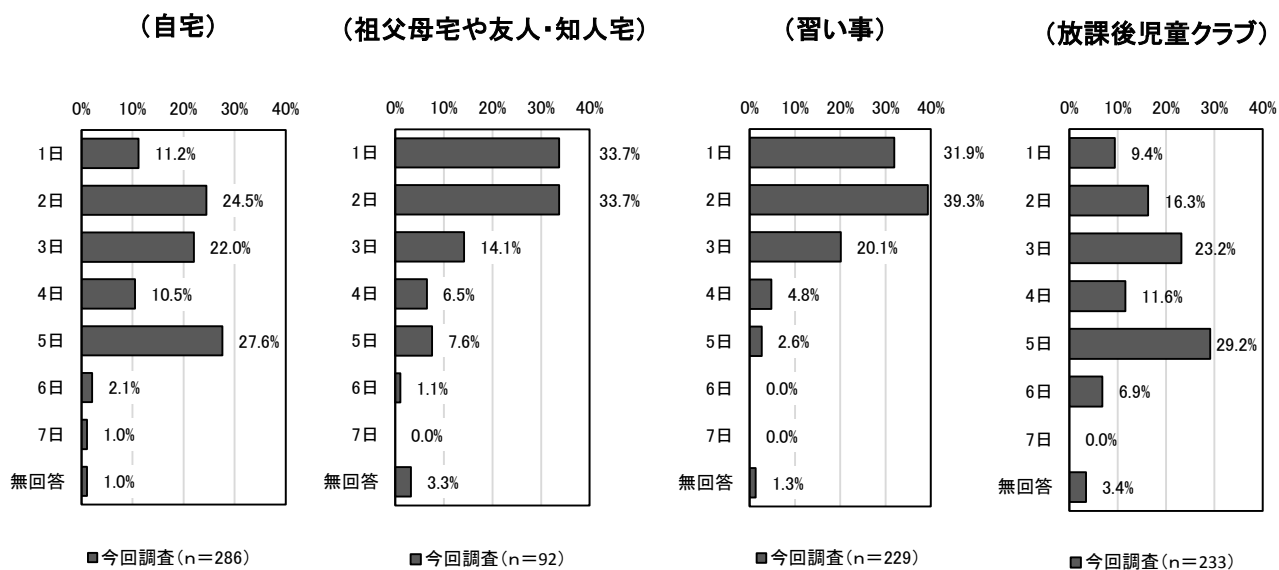
問7 あて名のお子さんが、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか？（当てはまるものすべてに○）場所と日数について、それぞれご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。

- ・小学校高学年時、希望として放課後に過ごさせたい場所は、「自宅」（60.1%）が最も多く、次いで「放課後児童クラブ」（48.9%）、「習い事」（48.1%）となった（図表 7-1）。
- ・「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「放課後児童クラブ」と回答した方の1週当たりの希望利用日数は、「自宅」では「2日」「3日」「5日」がいずれも2割以上、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」「2日」（33.7%）、「習い事」では「2日」（39.3%）、「放課後児童クラブ」では「5日」（29.2%）が最も多かった（図表 7-2）。
- ・「放課後児童クラブ」と回答した方の下校時からの利用希望時間は、「17時まで」（30.0%）が最も多かった（図表 7-3）。

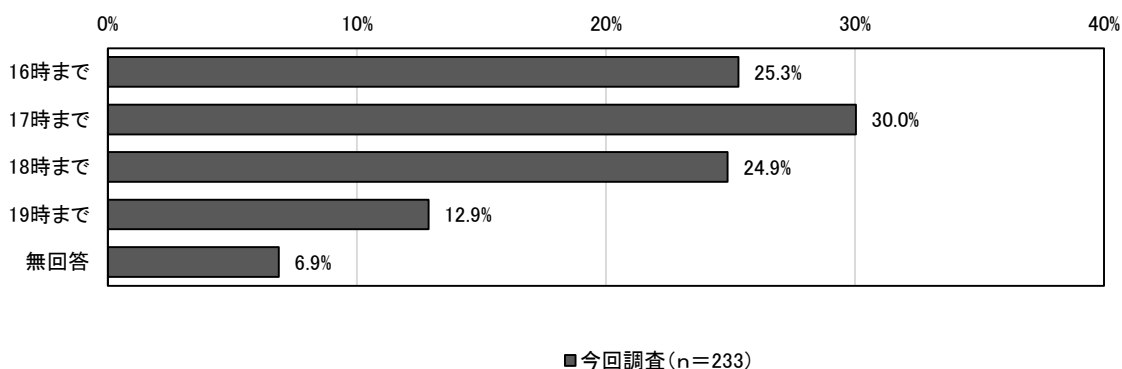
<図表 7-1 放課後を過ごさせたい場所>



＜図表 7-2 放課後を過ごさせたい場所の 1 週当たりの日数＞



＜図表 7-3 放課後児童クラブの利用希望（下校時から何時まで）＞



クロス集計

「放課後を過ごす場所（4～6年生）」及び「希望する放課後児童クラブの日数（4～6年生）」をそれぞれ子どもの学年別に見ると、4～6年生になったら放課後を過ごさせたい場所は、現在、就学前の子どもについても比較的「自宅」が多い結果となった（問22）が、同様に現在放課後児童クラブを利用している1～2年生についても「自宅」が多い結果となった。しかしながら、3年生になると「自宅」より「放課後児童クラブ」で過ごさせたいという結果が多くなっている。

また、放課後児童クラブ利用希望日数ではすべての学年において「5日」が最も多い結果となった。

		問7. 放課後を過ごす場所（4～6年生）										
		合計	1: 自宅	2: 祖父母宅や友人・知人宅	3: 習い事	4: 児童館（児童センター）	5: 放課後子ども教室	6: 放課後児童クラブ	7: ファミリーサポートセンター	8: 放課後等デイサービスなど	9: その他	無回答
	全体	476	286	92	229	10	13	233	0	7	47	36
		100.0%	60.1%	19.3%	48.1%	2.1%	2.7%	48.9%	0.0%	1.5%	9.9%	7.6%
問5. 子どもの学年	1年生	200	120	36	94	3	9	85	0	2	24	20
		100.0%	60.0%	18.0%	47.0%	1.5%	4.5%	42.5%	0.0%	1.0%	12.0%	10.0%
	2年生	166	106	39	84	3	2	86	0	3	10	8
		100.0%	63.9%	23.5%	50.6%	1.8%	1.2%	51.8%	0.0%	1.8%	6.0%	4.8%
	3年生	107	58	17	49	4	2	61	0	2	12	8
		100.0%	54.2%	15.9%	45.8%	3.7%	1.9%	57.0%	0.0%	1.9%	11.2%	7.5%

		問7. 6. [希望]放課後児童クラブの日数（4～6年生）										
		合計	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	非該当	
	全体	233	22	38	54	27	68	16	0	8	243	
		100.0%	9.4%	16.3%	23.2%	11.6%	29.2%	6.9%	0.0%	3.4%		
問5. 子どもの学年	1年生	85	9	11	19	9	24	8	0	5	115	
		100.0%	10.6%	12.9%	22.4%	10.6%	28.2%	9.4%	0.0%	5.9%		
	2年生	86	7	16	21	14	24	3	0	1	80	
		100.0%	8.1%	18.6%	24.4%	16.3%	27.9%	3.5%	0.0%	1.2%		
	3年生	61	6	11	14	4	19	5	0	2	46	
		100.0%	9.8%	18.0%	23.0%	6.6%	31.1%	8.2%	0.0%	3.3%		

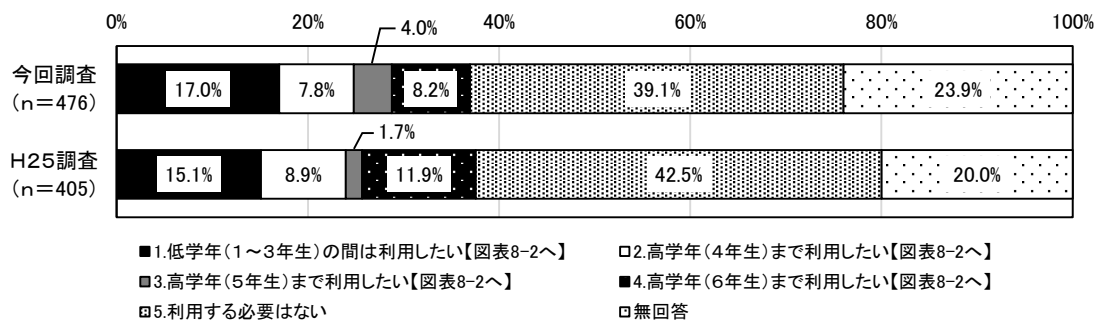
問8 問6または問7で「6. 放課後児童クラブ」に○を付けた方にうかがいます。
 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬休み）中の放課後児童クラブの利用希望はありますか？（事業の利用には、前記のとおり一定の手数料がかかります）利用希望の有無と利用したい時間帯をご記入ください。

・小学校1～3年生の期間及び小学校4～6年生の期間に放課後を「放課後児童クラブ」で過ごしている（過ごさせたい）と回答した方の土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬休み）中の放課後児童クラブの利用希望は次頁のとおり。

① 土曜日

・土曜日は「利用する必要はない」（39.1%）が最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（17.0%）となった。また、利用したい時間帯は「1～3年生」では、利用開始時間は、「8時～8時59分」「9時～9時59分」が多く、終了時間は「17時～17時59分」「18時～18時59分」が多かった（図表8-1、図表8-2）。

<図表8-1 土曜日の放課後児童クラブの利用希望>



<図表8-2 利用希望時間（開始時間・終了時間）>

開始時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
8時前	0	0	0	0
8時～8時59分	41	20	8	20
9時～9時59分	33	16	8	15
10時以降	0	0	1	2
無回答	7	1	2	2
総計	81	37	19	39

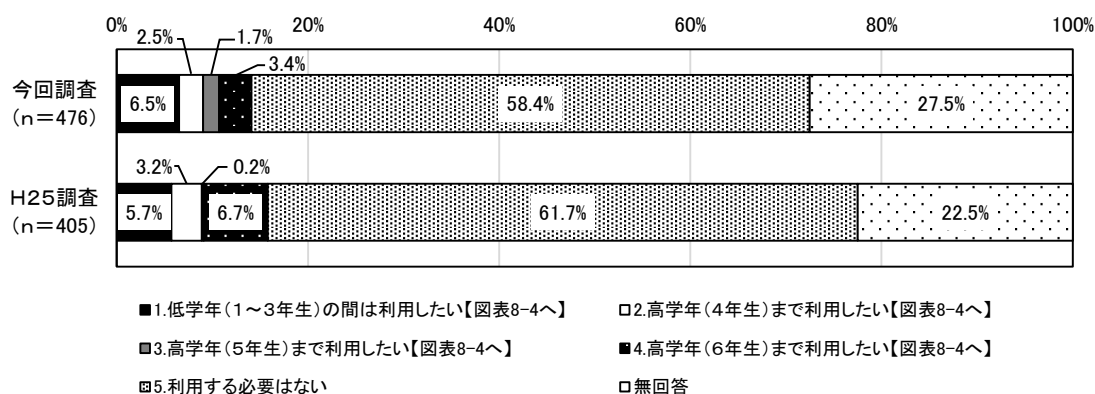
終了時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
15時前	7	5	2	3
15時～15時59分	4	1	0	1
16時～16時59分	16	4	4	4
17時～17時59分	24	13	4	8
18時～18時59分	21	11	6	15
19時以降	3	2	1	6
無回答	6	1	2	2
総計	81	37	19	39

② 日曜日・祝日

・日曜日・祝日は「利用する必要はない」(58.4%)が最も多く、次いで「低学年(1～3年生)まで利用したい」(6.5%)、「高学年(6年生)まで利用したい」(3.4%)となった。

また、利用したい時間帯は「1～3年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」「9時～9時59分」が多く、終了時間は「17時～17時59分」「16時～16時59分」が多かった。「6年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」が多く、終了時間は「18時～18時59分」が多かった(図表8-3、図表8-4)。

＜図表 8-3 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望＞



＜図表 8-4 利用希望時間（開始時間・終了時間）＞

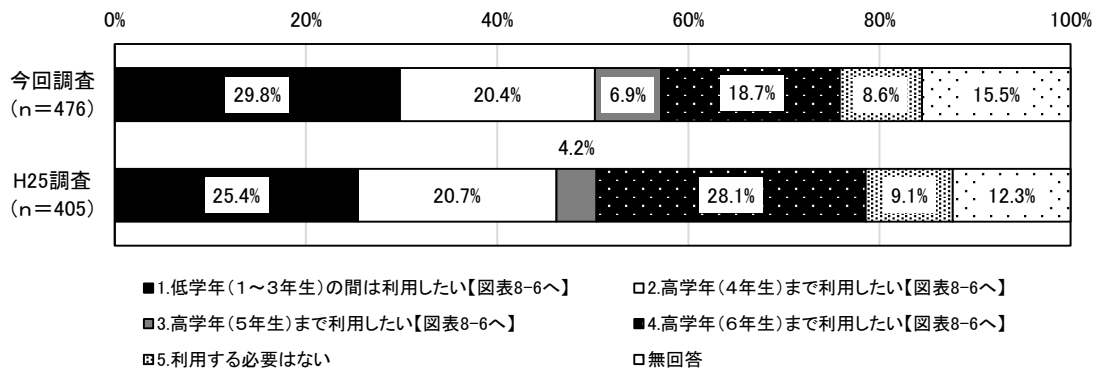
開始時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
8時前	0	0	0	0
8時～8時59分	14	6	4	9
9時～9時59分	11	6	3	6
10時以降	1	0	1	0
無回答	5	0	0	1
総計	31	12	8	16

終了時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
15時前	0	0	0	0
15時～15時59分	2	0	1	1
16時～16時59分	6	1	0	3
17時～17時59分	12	4	2	3
18時～18時59分	4	6	4	6
19時以降	2	1	1	2
無回答	5	0	0	1
総計	31	12	8	16

③ 長期休業期間

- ・長期休業期間は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（29.8%）が最も多く、次いで「高学年（4年生）まで利用したい」（20.4%）、「高学年（6年生）まで利用したい」（18.7%）となった。また、利用したい時間帯は「1～3年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」「9時～9時59分」が多く、終了時間は「17時～17時59分」「16時～16時59分」が多かった。「4年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」「9時～9時59分」が多く、終了時間は「17時～17時59分」「18時～18時59分」が多かった。「6年生」では、利用開始時間は「8時～8時59分」が多く、終了時間は「18時～18時59分」「17時～17時59分」が多かった（図表 8-5、図表 8-6）。

<図表 8-5 長期休業期間の放課後児童クラブの利用希望>



<図表 8-6 利用希望時間（開始時間・終了時間）>

開始時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
8時前	0	1	0	0
8時～8時59分	74	45	20	54
9時～9時59分	58	43	10	31
10時以降	1	1	1	1
無回答	9	7	2	3
総計	142	97	33	89

終了時間	1～3年生	4年生	5年生	6年生
15時前	1	5	0	3
15時～15時59分	11	6	2	2
16時～16時59分	35	18	4	21
17時～17時59分	45	33	13	22
18時～18時59分	34	24	11	31
19時以降	7	5	1	7
無回答	9	6	2	3
総計	142	97	33	89

クロス集計

「土曜日」、「日曜・祝日」、「長期休業期間」のそれぞれの利用希望について学年別に見ると、土曜日、日曜・祝日については全ての学年において「利用する必要はない」が多いが、長期休業期間については、1～2年生では「低学年（1～3年）の間は利用したい」、3年生では「4年生まで利用したい」という結果となった。

		問8. 放課後児童クラブの利用希望（土曜）						
		合計	1：低学年 （1～3年 生）の間は 利用したい	2：高学年 （4年生） まで利用し たい	3：高学年 （5年生） まで利用し たい	4：高学年 （6年生） まで利用し たい	5：利用す る必要はな い	無回答
全体		476	81	37	19	39	186	114
		100.0%	17.0%	7.8%	4.0%	8.2%	39.1%	23.9%
問5. 子どもの 学年	1年生	200	49	13	5	12	76	45
		100.0%	24.5%	6.5%	2.5%	6.0%	38.0%	22.5%
	2年生	166	27	12	9	19	62	37
		100.0%	16.3%	7.2%	5.4%	11.4%	37.3%	22.3%
	3年生	107	5	12	5	8	48	29
		100.0%	4.7%	11.2%	4.7%	7.5%	44.9%	27.1%

		問8. 放課後児童クラブの利用希望（日曜・祝日）						
		合計	1：低学年 （1～3年 生）の間は 利用したい	2：高学年 （4年生） まで利用し たい	3：高学年 （5年生） まで利用し たい	4：高学年 （6年生） まで利用し たい	5：利用す る必要はな い	無回答
全体		476	31	12	8	16	278	131
		100.0%	6.5%	2.5%	1.7%	3.4%	58.4%	27.5%
問5. 子どもの 学年	1年生	200	20	3	3	5	119	50
		100.0%	10.0%	1.5%	1.5%	2.5%	59.5%	25.0%
	2年生	166	10	5	2	6	100	43
		100.0%	6.0%	3.0%	1.2%	3.6%	60.2%	25.9%
	3年生	107	1	4	3	5	59	35
		100.0%	0.9%	3.7%	2.8%	4.7%	55.1%	32.7%

		問8. 放課後児童クラブの利用希望（長期休業期間）						
		合計	1：低学年 （1～3年 生）の間は 利用したい	2：高学年 （4年生） まで利用し たい	3：高学年 （5年生） まで利用し たい	4：高学年 （6年生） まで利用し たい	5：利用す る必要はな い	無回答
全体		476	142	97	33	89	41	74
		100.0%	29.8%	20.4%	6.9%	18.7%	8.6%	15.5%
問5. 子どもの 学年	1年生	200	84	26	13	32	17	28
		100.0%	42.0%	13.0%	6.5%	16.0%	8.5%	14.0%
	2年生	166	51	30	12	37	12	24
		100.0%	30.7%	18.1%	7.2%	22.3%	7.2%	14.5%
	3年生	107	7	39	8	19	12	22
		100.0%	6.5%	36.4%	7.5%	17.8%	11.2%	20.6%

最後に、放課後児童クラブに関してご意見がございましたら、ご記入ください。

- ・放課後児童クラブに関して、「放課後児童クラブについて」が 180 件、その他（児童館について）が 3 件となった。

各項目の詳細については、下記に示すとおり。

項 目	今回調査	H25 調査
	件数	件数
①放課後児童クラブについて	180	214
②その他（児童館等について）	3	9
合計	183	223

- ・放課後児童クラブについての意見を見ても「活動内容について」が 44 件、「開設時間・日数について」が 38 件、「施設・設備・体制について」が 29 件と多くなった。

①放課後児童クラブについて	今回調査	H25 調査
活動内容について	44	44
開設時間・日数について	38	70
施設・設備・体制について	29	15
おやつの代金・内容について	18	0
利用料金について	6	15
高学年の利用について	0	45
その他（放課後児童クラブについて）	45	25
② その他（児童館等について）	3	9
合計	183	223

子ども・子育て会議からの提言

今回のニーズ調査結果をもとに、ワーキング・グループにおいて、以下の事項に関して「さらに取組を強化・推進するべき」との意見がまとめられましたので、これらの意見を今後の小樽市の子育て支援策の検討に向けた、子ども・子育て会議としての提言といたします。

子育て情報の発信をもっと分かりやすく、豊富に、タイムリーに！

- 市のホームページは見づらく、知りたい情報を探しにくい。見せ方を工夫すべき。
- 老若男女を問わず、スマホで情報を入手する時代。SNSをもっと活用すべき。
- 子育て世帯が足を運ぶ、小児科の病院や、スーパーなどにも、子育て情報に関するチラシ、パンフレット類を置くほか、チラシ等にはQRコードを印刷し、スマホでも情報にアクセスできるようにすべき。
- 子育てに直接関係のない、イベントなどのチラシ等にも、子育て情報へアクセスできるQRコードを印刷してはどうか。
- 近隣他都市の子育て情報も容易に知ることができる時代なので、常に他都市と比較されている。子育て世帯にとって有益な情報は、もっとアピールしてはどうか。

(ニーズ調査結果)

子育てに関する情報の入手先〔問 34〕

第1位 広報おたる(37.6%) 第2位 SNS(29.6%) 第3位 テレビ・ラジオ(22.8%)

公園をもっと安全・安心・快適に！

- 「子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと」の回答結果や自由記載の意見でも、「公園の整備」に対するニーズが高く、市内の公園ではなく、市外へ子どもを連れて行き、遊ばせている世帯が多いこともよく耳にする。
子どもを安心して遊ばせることができる公園を増やすべき。また、公園の整備に当たっては、近隣の地域住民の意見も聞いてみるとよいのでは。
- 公園内の死角となるような雑草などを除去したり、小さな子どもでも水遊びができるような公園にすべき。
- 遊具を更新した公園もあるが、地元の人たちしか知らず、情報発信をすれば、もっと子育て世帯が集える場となるのでは。

(ニーズ調査結果)

小樽市が子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと〔問 33〕

第1位 道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備(63.9%)

そのほか、

- 子どもの医療費の負担軽減や子どもに対する医療体制の充実を求める声が多く聞かれることから、これらに向けた取組を強化することによって、小樽市の少子化・人口減少に歯止めをかけることができるのではないか。
- 子どもが、冬期間に室内で遊べる場所が少ない。町内会館を活用してはどうか。
- 「テレホン育児相談」事業は、知っている方は約6割いるが、利用経験がない方が8割以上を占める。電話での相談には抵抗感があるのでは？ パソコンやスマホで相談できる方法を検討してはどうか。
- ホームページの見づらさと同様、保育所の利用申込みの書類が複雑で、押印も複数箇所に必要。札幌市は申込書類が簡素化され、押印も不要。色々比較すると、「子育て支援」に対する力の入れ方の違いが見えるようで、もっと子育て世代に寄り添う姿勢を持つべきではないか。

…など

(上記のほか、放課後児童クラブに関して、おやつ代の負担額や、運営内容に係る相談・苦情に対応する受付担当者・相談員等の周知方法などについての意見があった。)



これから早急に取り組むべきこと

小樽市でも、子育て世代をターゲットとした色々な事業・取組がなされているが、ニーズ調査結果では、子育て支援に係るどの事業においても、利用経験や利用意向を有する割合が低く、平成25年度調査との比較では、ほとんどの事業で認知度も低下している。

子育て支援を求めている方々にタイムリーに情報が届いていないことが考えられ、それでは、やっている意味が失われてしまう。このことは喫緊に解決すべき問題である。

子育て支援に関する事業などの情報発信について、内容や方法・手段、タイミングを見直していく。

保育所等も含め各事業の利用に際し、もっと子育て世代に寄り添った視点で、分かりやすさや利便性の向上を図る。

これらのことをまず第一に取り組んでいくべきである。

小樽市子ども・子育て会議 委員名簿

(順不同・敬称略)

役職	ワーキング・グループ	氏名	所属
会長	WG	片桐 由喜	小樽商科大学
副会長	WG	井村 文俊	小樽市校長会
	WG	池上 ちよ乃	小樽市女性学級
	WG	一鐵 岩希	認定こども園 桂岡幼稚園
		大川 智恵	連合北海道小樽地区連合会
	WG	岡田 光子	NPO 法人北海道子育て支援ワーカーズ
		工藤 美智子	市民公募
		小島 佳子	認定こども園 かもめ保育園
		田口 雅一	いなきた児童館
		新倉 敬子	小樽商工会議所
		林 勝信	小樽地方私立幼稚園連合会
		吹田 友三郎	小樽市民間保育協議会
		松並 るみ	子育て支援ボランティアサークル ホワイトウィング

【ワーキング・グループ（WG）の開催経過】

第1回 平成31年2月25日（月）

第2回 // 3月8日（金）

小樽市子ども・子育て支援アンケート

アンケートにご協力をお願いいたします。

小樽市では、平成27年度に「小樽市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：平成27～31年度）」を策定し、子育て支援施策の推進を図っていますが、この度「第2期小樽市子ども・子育て支援事業計画（平成32年度から5年間）」の策定に向けて、就学前のお子さんの幼稚園や保育所、子育て支援事業などについての「現在の利用状況」と「今後の利用希望」を把握するため、このアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、日々のお仕事や子育てなどで忙しい皆様にとってご負担ではあると思いますが、子育て支援施策に関わる重要な資料となるアンケートですので、ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年11月 小樽市長 迫 俊哉

- 調査は、市内在住の小学校就学前のお子さんを持つご家庭を無作為に抽出し、調査票を送付しています。本計画における中間年の見直しの時（平成29年10月）にも類似した調査を実施していますが、前回の調査時にご回答いただいた方についても、本趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。
- 調査票は、あて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。また、利用希望についての質問がありますが、施設や事業の利用にあたっては、保育料などの料金負担を伴うこともありますので、一定の負担も念頭にご回答されるようお願いいたします。
- ご回答いただいた内容については、上記目的以外に使用することは一切ありません。
- ご記入が済んだ調査票は、**11月20日（火）までに** 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストにご投函ください。
- このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

小樽市福祉部子育て支援室 こども育成課 子育て支援係
電話：0134-32-4111 内線398（月曜日～金曜日 8:50～17:20）



1 あて名のお子さんご家族の状況

問1 お住まいの地区はどちらですか？

地区	当てはまる番号1つに○				
塩谷地区	1. 蘭島	2. 忍路	3. 桃内	4. 塩谷	
長橋・オタモイ地区	5. オタモイ	6. 幸	7. 長橋	8. 旭町	
高島地区	9. 祝津	10. 赤岩	11. 高島		
手宮地区	12. 手宮	13. 末広町	14. 梅ヶ枝町	15. 錦町	
	16. 清水町	17. 豊川町	18. 石山町	19. 色内3丁目	
中央地区	20. 稲穂	21. 花園	22. 色内1・2丁目	23. 港町	
	24. 堺町	25. 東雲町	26. 山田町	27. 相生町	
	28. 入船1・2丁目				
山手地区	29. 富岡	30. 緑	31. 最上	32. 松ヶ枝	
	33. 入船3～5丁目		34. 天狗山		
南小樽地区	35. 住ノ江	36. 住吉町	37. 有幌町	38. 信香町	39. 若松
	40. 奥沢	41. 天神	42. 真栄	43. 潮見台	44. 新富町
	45. 勝納町	46. 若竹町	47. 築港		
朝里地区	48. 桜	49. 船浜町	50. 朝里	51. 新光	52. 望洋台
	53. 新光町		54. 朝里川温泉		
銭函地区	55. 張碓町	56. 春香町	57. 桂岡町	58. 銭函	59. 見晴町
	60. 星野町				

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成()年()月 生まれ

問3 あて名のお子さんは何人きょうだいですか？ あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

(1つに○)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか？ あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか？(お子さんからみた関係で1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

2 子どもの育ちをめぐる環境

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか？ 預かってもらうことに関する状況とあわせてお答えください。

預かってもらえる人の有無 【複数選択可】	預かってもらうことに関する状況 【複数選択可】
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1. 祖父母等の負担を心配することなく、安心して預けられる 2. 祖父母等の身体的負担がとても心配である 3. 祖父母等の時間的制約や精神的負担が大きく心配である 4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境か、少し不安がある 6. その他（ ）
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	1. 友人・知人の負担を心配することなく、安心して預けられる 2. 友人・知人の身体的負担がとても心配である 3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である 4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境か、少し不安がある 6. その他（ ）
5. いずれもない	

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）？ また、その相談先についてお答えください。

相談先の有無 【1つ選択】	相談相手（場所） 【複数選択可】
1. いる（ある）	1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人 3. 近所の人 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点※1、児童館等） 5. 保健所 6. 保育士 7. 幼稚園教諭 8. 民生委員・児童委員 9. かかりつけの医師 10. 自治体の子育て関連担当窓口 11. こども発達支援センター等※2 12. その他（例：ベビーシッター）
2. いない（ない）	

※1 地域子育て支援拠点…本市では、地域子育て支援センターげんき（奥沢保育所）、風の子（赤岩保育所）、あそぼ（銭函保育所）、わくわく広場（朝里幼稚園）の各施設で、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の事業を行っています。

※2 こども発達支援センター等…お子さんの発達などに不安のある方が利用する施設です。

3 母親の就労状況

問9 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（父子家庭などで、母親がいない場合は回答不要です）

問9-1 就労状況と就労時間【母親】

母親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。

また、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。

※ フルタイムとは1週5日程度、1日8時間程度の就労を、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

母親の就労状況 【1つ選択】	就労時間 【数字を記入】
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1週当たり () 日
	1日当たり () 時間
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	

問9-2 フルタイムへの転換希望【母親】

問9-1で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○を付けた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか？（1つに○）

- | |
|---|
| 1. フルタイムへの転換希望があり、1年以内実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい |
|---|

問9-3 就労希望【母親】

問9-1で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○を付けた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか？（1つに○）

- | |
|--|
| 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年以上先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
↑（カッコ内に年齢をご記入ください）
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい |
|--|

上記で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○を付けた方にうかがいます。

希望する就労形態についてお答えください。

希望する就労形態 【1つ選択】	1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） 2. パート、アルバイト等（フルタイム以外） ⇒1週当たり()日 1日当たり()時間
--------------------	---

4 父親の就労状況

問10 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（母子家庭などで、父親がいない場合は回答不要です）

問10-1 就労状況と就労時間【父親】

父親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。

また、育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況でお答えください。

※ フルタイムとは1週5日程度、1日8時間程度の就労を、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

父親の就労状況 【1つ選択】	就労時間 【数字を記入】
1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	1週当たり () 日
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	1日当たり () 時間
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

問10-2 フルタイムへの転換希望【父親】

問10-1で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○を付けた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか？（1つに○）

1. フルタイムへの転換希望があり、1年以内の実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、1年以内の実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問10-3 就労希望【父親】

問10-1で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○を付けた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか？（1つに○）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年以上先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
↑（カッコ内に年齢をご記入ください）
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

上記で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○を付けた方にうかがいます。

希望する就労形態についてお答えください。

希望する就労形態 【1つ選択】	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） 2. パート、アルバイト等（フルタイム以外） ⇒ 1週当たり () 日 1日当たり () 時間
--------------------	---

5 あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には幼稚園や保育所など、問11-1に示した事業が含まれます。

問11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか？
(1つに○)

1. 利用している ⇒問11-1～11-4へ 2. 利用していない ⇒問11-5へ

問11-1 問11-1～問11-4は、問11で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか？ 年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(利用しているものすべてに○)

- | | |
|--------------|---|
| 1. 幼稚園 | (通常の就園時間の利用) |
| 2. 幼稚園の預かり保育 | (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所 | (法令で定める基準に適合し北海道知事の認可を受けた施設) |
| 4. 認定こども園 | (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
市内には、あかつき保育園・小樽オーリーブ幼稚園・小樽杉の子幼稚園・桂岡幼稚園・かもめ保育園・さくら保育園・手宮幼稚園 があります。) |
| 5. 事業所内保育施設 | (病院や企業が従業員用に運営する施設) |
| 6. 認可外の保育施設 | (認可は受けていないが、北海道知事へ届け出た施設) |
| 7. その他 (|) |

※ 上記のほか、「教育・保育事業」には、「小規模な保育施設」「家庭の保育事業」「自治体の認証・認定保育施設」「居宅訪問型保育」がありますが、平成30年11月現在、本市ではいずれも実施していません。(各事業の概要については、次ページの問12をご参照ください)

問11-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在の利用時間と希望する利用時間をお答えください。

	現在 【1つ選択】	希望 【1つ選択】
開始時間	1. 7時29分まで 2. 7時30分～8時29分 3. 8時30分以降	1. 7時29分まで 2. 7時30分～8時29分 3. 8時30分以降
終了時間	1. 16時30分まで 2. 16時31分～17時59分 3. 18時00分以降	1. 16時30分まで 2. 16時31分～17時59分 3. 18時00分以降

問11-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか？ (1つに○)

1. 小樽市内 2. 小樽市外

問11-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか？ (当てはまる番号すべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 子どもの教育や発達のため |
| 2. 子育てをしている方が現在就労している |
| 3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である |
| 4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している |
| 5. 子育てをしている方が病気や障がいがある |
| 6. 子育てをしている方が学生である |
| 7. その他 (|

問11-5 問11で「2. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか？（当てはまる番号すべてに○）

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚がみている 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 4. 利用したいが、保育・教育事業に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため、() 歳くらいになったら利用しようと考えている ↑ (カッコ内に年齢をご記入ください) 9. その他 ()

問12 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないに関わらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業で、「定期的に」利用したい事業は何ですか？（当てはまる番号すべてに○）

1. 幼稚園	(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育	(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所	(法令で定める基準に適合し、北海道知事の認可を受けた施設)
4. 認定こども園	(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設 市内には、あかつき保育園・小樽オーリーブ幼稚園・小樽杉の子幼稚園・ 桂岡幼稚園・かもめ保育園・さくら保育園・手宮幼稚園 があります。)
5. 事業所内保育施設	(病院や企業が従業員用に運営する施設)
6. 認可外の保育施設	(認可は受けていないが、北海道知事へ届け出た施設)
7. 小規模な保育施設	(国が定める最低基準に適合し、市町村の認可を受けた定員概ね6～19名の施設)
8. 家庭的保育事業	(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
9. 自治体の認証・認定保育施設	(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
10. 居宅訪問型保育	(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. その他	()

問12-1 問12で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○を付け、かつ「3. 」～「11. 」にも○を付けた方にうかがいます。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか？
(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

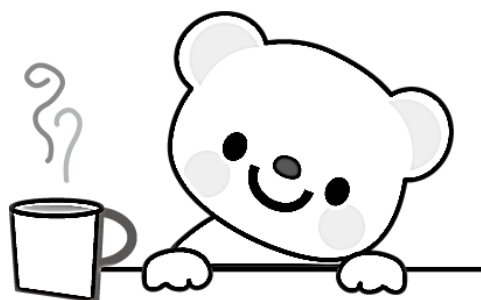
問12-2 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか？ また、「2. 小樽市外」に○を付けた方はその理由をお答えください。

希望場所 【1つ選択】		市外を選択した理由 【1つ選択】
1. 小樽市内		1. 希望する教育・保育事業がない 2. 勤務地が小樽市以外である
2. 小樽市外	➡	3. 利便性(距離が近いなど) 4. その他 ()

6 あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

問13 あて名のお子さんについて、土・日・祝日及び春・夏・冬休みなどの長期休暇中における定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか？（一時的な利用は除く） 利用希望の有無をお答えください。 長期休暇中については、幼稚園利用者のみお答えください。

	土曜日 【1つ選択】	日曜日・祝日 【1つ選択】	長期休暇中（幼稚園利用者のみ） 【1つ選択】
あて名のお子さんの定期的な教育・保育事業の利用希望	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回利用したい 3. 利用する必要はない	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回利用したい 3. 利用する必要はない	1. ほぼ毎日利用したい 2. 週に数日利用したい 3. 利用する必要はない
	土曜日、日曜日・祝日で「2.」を選択した方 たまに利用したい理由は何ですか？ （当てはまる番号すべてに○）		長期休暇中で「2.」を選択した方 たまに利用したい理由は何ですか？ （当てはまる番号すべてに○）
たまに利用したい理由	1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため 4. 息抜きのため 5. その他	1. 週に数回仕事が入るため 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため 4. 息抜きのため 5. その他	



7 あて名のお子さんの病気の際の対応 (平日の教育・保育事業を利用している方のみ)

問14 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問11で「1.」に○を付けた方）にうかがいます。利用していない方は問15にお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できず、特別な対応をとる必要がありましたか？ 必要があった場合は、この1年間に行った対処方法に○を付け、おおよその日数をお答えください（半日の場合も1日とカウントしてください）。

必要性の有無 【1つ選択】		1年間の対処方法 【複数選択可】	日数 【数字を記入】		
1. あった	➡	ア. 父親が休んだ	() 日	}	問14-1へ
		イ. 母親が休んだ	() 日		
		ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日		
		エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日		
		オ. 病児・病後児の保育を利用した	() 日	}	問15へ
		カ. ベビーシッターを利用した	() 日		
		キ. ファミリーサポートセンターを利用した	() 日		
		ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日		
		ケ. その他 ()	() 日		
2. なかった					

問14-1 問14で「ア.」「イ.」のいずれかに○を付けた方にうかがいます。

その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか？ 思われた場合は、希望日数と利用したい事業形態を、思わなかった場合はその理由をお答えください。

病気の際の意向 【1つ選択】		希望日数 【数字を記入】	希望する事業形態 【複数選択可】
1. できれば利用したいと思った	➡	() 日	ア. 他の施設（例：幼稚園、保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業 イ. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 ウ. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等） エ. その他 ()
2. 利用したいとは思わなかった	➡		ア. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 イ. 地域のサポート事業の質に不安がある ウ. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない エ. 利用料がかかる・高い オ. 利用料がわからない カ. 親が仕事を休んで対応する キ. その他 ()

8 あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用

問15 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか？ ある場合は、利用している事業に○を付け、1年間の利用日数（おおよそ）をお答えください。

利用しているサポート事業 【複数選択可】	日数 【数字を記入】
1. 一時預かり保育 (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	() 日
3. ファミリーサポートセンター (地域住民の会員組織の仕組みにより子どもを預かる事業)	() 日
4. 短期入所生活援助事業：ショートステイ (児童養護施設等で一時的に子どもを預かる事業)	() 日
5. ベビーシッター	() 日
6. その他 ()	() 日
7. 利用していない	⇒ 問15-1へ

問16へ

※ 平成30年11月現在、本市では、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」は行っていません。

問15-1 問15で「7. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか？ (当てはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	5. 利用料がかかる・高い
2. 利用したい事業が地域にない	6. 利用料がわからない
3. 地域の事業の質に不安がある	7. 自分が事業の対象者になるかどうかわからない
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間 日数など)がよくない	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
	9. その他 ()

問16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問15で挙げた事業を利用したいと思いますか？ 利用したい場合は、どのような場合に利用したいか、また1年間の利用希望日数（おおよそ）をお答えください。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい ⇒ア～エに回答した後、問16-1へ	合計 () 日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、 リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の 通院 等	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない ⇒問17へ	

問16-1 問16で「1.利用したい」に○を付けた方にうかがいます。

問16の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか？
 (当てはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等） |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等） |
| 4. その他（ ） |

問17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらう必要がありましたか？（預け先が見つからなかった場合も含む）
 必要があった場合は、この1年間の対処方法に○を付け、おおよその日数もお答えください。

必要性の有無 【1つ選択】	1年間の対処方法 【複数回答可】	日数 【数字を記入】
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	() 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	() 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他（ ）	() 泊
2. なかった		

9 あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況

問18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点[※]事業を利用していますか？ 利用している場合は、おおよその利用回数をお答えください。

なお、事業の内容によっては、利用料がかかるものもあります。

利用の有無 【1つ選択】	利用回数 【1つ選択】
1. 利用している	1. 週に3回以上 2. 週に2回 3. 週に1回 4. 月に1～3回
2. 利用していない	

※ 地域子育て支援拠点…本市では、地域子育て支援センターげんき（奥沢保育所）、風の子（赤岩保育所）、あそぼ（銭函保育所）、わくわく広場（朝里幼稚園）の各施設で、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の事業を行っています。

問19 地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望や利用回数（おおよそ）をお答えください。

希望の有無 【1つ選択】	利用希望回数 【1つ選択】
1. これから利用したい 2. 利用日数を増やしたい	1. 週に3回以上 2. 週に2回 3. 週に1回 4. 月に1～3回
3. 特に希望はない	

問20 下記①～⑮の事業について、知っているものやこれまで利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものは何ですか？ A～Cについてそれぞれお答えください。

	A 知っている 【1または2を選択】	B これまでに利用 したことがある 【1または2を選択】	C 今後利用したい 【1または2を選択】
① 母親・両親教室(にこたまクラブ) 【保健所】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
② 総合健康相談【保健所】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③ テレホン育児相談【保健所】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④ まちかど子ども健康相談 (カンガルークラブ)【保健所】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤ こんにちは赤ちゃん訪問【保健所】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥ 発達相談 【こども発達支援センター】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦ 保育所 一般開放【各保育所】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧ 幼稚園での子育て支援事業 【各幼稚園】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨ 子育て支援センター事業※ 【げんき・風の子・あそぼ】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑩ わくわく広場【朝里幼稚園】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑪ 杜ひろランド(産業会館) 【杜のつどい】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑫ 子育て支援ニュース【小樽市発行】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑬ 児童館・児童センター	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑭ 妊産婦訪問指導【保健所】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑮ 産後ケア事業【保健所】	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

※ 「⑨子育て支援センター事業」は、子育て講座、げんきがまちにやってくる、かぜのこランド、すくすくひよこくらぶ、育児相談などの各種事業を含めたものです。



10 あて名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方 (あて名のお子さんが平成31年4月小学校入学予定の方のみお書きください)

⇒それ以外の方は問24へ

問21 あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか？ 場所と日数について、それぞれお答えください。また、「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。

※「放課後児童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、クラブ指導員の下で、子どもに生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

小学校1～3年生の期間

放課後を過ごす場所 【複数選択可】	1週当たりの希望日数 【数字を記入】
1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館（児童センター） ※1	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい ⇒下校時から（1つに○） 1. 16時まで 2. 17時まで 3. 18時まで 4. 19時まで
7. ファミリーサポートセンター ※3	週（ ）日くらい
8. 放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど） ※4	週（ ）日くらい
9. その他（図書館、公園など）	週（ ）日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用する場合は「6.」に○を付けてください。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組ですが、本市では行っておりません。

※3 「ファミリーサポートセンター」…地域住民の会員組織の仕組みにより子どもを預かる事業です。日常の預り30分300円などの料金設定があります。

※4 「放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど）」…お子さんの発達などに不安のある方が利用する施設です。

問22 あて名のお子さんが 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか？ 場所と日数について、それぞれお答えください。また、「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。

小学校4～6年生の期間

放課後を過ごす場所 【複数選択可】	1週当たりの希望日数 【数字を記入】
1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館（児童センター） ※1	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい ⇒下校時から（1つに〇） 1. 16時まで 2. 17時まで 3. 18時まで 4. 19時まで
7. ファミリーサポートセンター ※3	週（ ）日くらい
8. 放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど） ※4	週（ ）日くらい
9. その他（図書館、公園など）	週（ ）日くらい

※1、※2、※3、※4 前ページの間21をご参照ください。

問23 問21または問22で「6. 放課後児童クラブ」に〇を付けた方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬休み）中の放課後児童クラブの利用希望はありますか？（事業の利用には、前記のとおり一定の利用料がかかります）利用希望の有無と利用したい時間帯について、それぞれお答えください。

（例）9時～16時のように24時間制で記入

区 分	希望の有無 【1つ選択】	利用したい時間帯 【数字を記入】
土曜日	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4年生）まで利用したい 3. 高学年（5年生）まで利用したい 4. 高学年（6年生）まで利用したい 5. 利用する必要はない	（ ）時から（ ）時まで
日曜日・祝日 ※	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4年生）まで利用したい 3. 高学年（5年生）まで利用したい 4. 高学年（6年生）まで利用したい 5. 利用する必要はない	（ ）時から（ ）時まで
長期休業期間 （春・夏・冬休み）	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4年生）まで利用したい 3. 高学年（5年生）まで利用したい 4. 高学年（6年生）まで利用したい 5. 利用する必要はない	（ ）時から（ ）時まで

※ 現在、日曜日・祝日に放課後児童クラブは開設していません。

問26 問26-1～問26-6までは、問25で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○を付けた方にうかがいます。

問26-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか？

年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親 【1つ選択】	(2) 父親 【1つ選択】
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問26-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか？ また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか？

(1) 母親	(2) 父親
実際の取得期間（1つに○） ⇒ 1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月～1歳未満 3. 1歳～1歳6ヶ月未満 4. 1歳6ヶ月～2歳未満 5. 2歳以上	実際の取得期間（1つに○） ⇒ 1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月～1歳未満 3. 1歳～1歳6ヶ月未満 4. 1歳6ヶ月～2歳未満 5. 2歳以上
希望（1つに○） ⇒ 1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月～1歳未満 3. 1歳～1歳6ヶ月未満 4. 1歳6ヶ月～2歳未満 5. 2歳以上	希望（1つに○） ⇒ 1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月～1歳未満 3. 1歳～1歳6ヶ月未満 4. 1歳6ヶ月～2歳未満 5. 2歳以上

問26-3 問26-2で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由について、お答えください。

◆「希望」より早く復帰した方

(1) 母親 【複数選択可】	(2) 父親 【複数選択可】
1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他（ ）	1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他（ ）

◆「希望」より遅く復帰した方

(1) 母親 【複数選択可】	(2) 父親 【複数選択可】
1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他（ ）	1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他（ ）

問26-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか？

(1) 母親 【1つ選択】	(2) 父親 【1つ選択】
1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月～1歳未満 3. 1歳～1歳6ヶ月未満 4. 1歳6ヶ月～2歳未満 5. 2歳以上～3歳未満 6. 3歳以上～4歳未満	1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月～1歳未満 3. 1歳～1歳6ヶ月未満 4. 1歳6ヶ月～2歳未満 5. 2歳以上～3歳未満 6. 3歳以上～4歳未満

問26-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか？

(1) 母親 【1つ選択】	(2) 父親 【1つ選択】
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒問26-6へ	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともとフルタイムだった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒問26-6へ

問26-6 問26-5で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○を付けた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか？

(1) 母親 【複数選択可】	(2) 父親 【複数選択可】
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）

問27 問25で「2. 現在も育児休業中である」に○を付けた方にうかがいます。

あて名のお子さんが1歳になったときに預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか？ または、このような事業があっても1歳になる前に復帰しますか？

(1) 母親 【1つ選択】	(2) 父親 【1つ選択】
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

12 市内中心部における「子育てまちなか拠点スペース」について

全国の自治体の中には、市内中心部の商店街の空き店舗等を利用して、子育て中の親子が買い物や用事で外出した際に活用できる「子育てまちなか拠点スペース」を整備している事例があります。

この「子育てまちなか拠点スペース」では、自治体により、子どもの一時預かり、子育て支援事業の催し、交流スペースによる親子の一時滞在、授乳やおむつ替えスペースの設置、商店街や他世代との交流事業の開催、観光客の休憩や託児利用など、いろいろな機能を持たせている場合があります。

本市の市内中心部における子育て支援施策の検討資料とするため、次のとおり、うかがいます。

問28 本市においてもこうした施設・スペースが整備された場合、あなたは利用しますか？ 利用希望の有無とその理由をお答えください。

なお、子どもの一時預かりなどは託児料金を伴う場合があります。

希望の有無 【1つ選択】	利用する／利用しない理由 【複数選択可】
1. 市内中心部に出かけた際は利用すると思う 2. 目的により利用すると思う 3. たまに利用すると思う	1. 市内中心部へ外出する際に便利だと思うため 2. 子どもを連れて外出する際に便利だと思うため 3. 買い物や用事の際に一時的な託児を希望するため 4. 子育て支援事業や商店街などとの交流事業に興味があるため 5. 交流スペースによる親子の滞在で仲間づくりができるため 6. その他（ ）
4. 利用しないと思う	1. 市内中心部には、あまり出かけないため 2. 子どもを連れての外出は大変なため 3. あまり興味を引かれないため 4. その他（ ）

問29 本市において、市内中心部に「子育てまちなか拠点スペース」を設ける場合、具体的な事業について、どのような内容を希望しますか？（当てはまる番号すべてに○）

1. 買い物などの際の、子どもの一時的な預かり先の整備 2. 保健師や保育士による育児相談事業の開催 3. 親子での交流や情報交換ができる場所の整備 4. 授乳・おむつ替えスペースの設置 5. 地域のコミュニティスペースとして、年代を問わず利用できる場所の整備 6. 街なかでの「にぎわい」をつくるためのイベントの開催 7. 買い物などの際のベビーカーの貸出し 8. 子育て支援団体や育児サークルなどが親子向けの催しを行える場所の整備 9. その他（ ）



13 その他

問30 理想と考えるお子さんの人数は何人ですか。 (1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人以上 |
|-------|-------|-------|---------|

問31 お子さんの実際の人数（これからの予定がある場合も含む）と上記の理想の人数を比べた場合、いかがですか。その理由についてもお答えください。

実際の人数との比較 【1つに○】		理由 【主なもの3つまでに○】
1. 理想の人数より多い 2. 理想の人数と同じ	➡	1. 親と同居をしているため、子育ての協力が得られる 2. 親と同居をしていないが、子育ての協力が得られる 3. 配偶者から子育ての協力が得られる 4. 子どもの医療費や保育料の軽減など経済的支援がある 5. 子育てと仕事の両立に対して、職場の理解がある 6. きょうだいがいたほうが、子どものために良い 7. その他 ()
3. 理想の人数より少ない	➡	1. 配偶者の理解や子育ての協力が得られない 2. 親の協力が得られない 3. 子育てや教育にかかる費用が高い 4. 子育てと仕事の両立が難しい 5. 子育ての心理的・身体的負担が大きい 6. 出産や子育てをする年齢に不安がある 7. その他 ()

問32 本市の子育ての環境や支援への満足度について、お答えください。 (1つに○)

満足度が低い	←—————→	満足度高い
1	2 3 4	5

問33 小樽市が、今よりもっと子育てしやすいまちとなるためにはどのようなことが重要だと思いますか？
(主なもの5つまでに○)

1. 小児科救急医療体制の充実 2. 保育所・放課後児童クラブ（学童保育）などの整備 3. 児童館・児童センターなどの整備 4. 子育てについて学ぶ機会の促進 5. 男女が共に子育てに関わるための意識啓発 6. 保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減 7. 出産に係る費用の負担軽減 8. 医療に係る費用の負担軽減 9. 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備 10. 発達などに関する専門相談体制の整備 11. 道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備 12. 子どもの創造性や感性をのばす教育機会の普及 13. いじめや差別をなくす教育の推進 14. 親子が安心して集まって交流ができる場などの整備 15. 交通事故や不審者などから子どもを守る安全・安心の取り組みの推進 16. 商業施設における授乳・おむつ替えスペースの整備 17. 公共施設における授乳・おむつ替えスペースの整備 18. その他 ()

小樽市子ども・子育て支援アンケート

アンケート調査にご協力をお願いいたします。

小樽市では、平成27年度に「小樽市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：平成27～31年度）」を策定し、子育て支援施策の推進を図っていますが、この度「第2期小樽市子ども・子育て支援事業計画（平成32年度から5年間）」の策定にあたり、放課後児童クラブについても、「今後の利用希望」などを把握するため、このアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、日々のお仕事や子育てなどでお忙しい皆様にとってご負担ではあると思いますが、子育て支援施策に関わる重要な資料となるアンケートですので、ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年11月 小樽市長 迫 俊哉

- 調査は、放課後児童クラブを利用しているご家庭にクラブを通じて、調査票をお渡ししています。主に高学年（4～6年生）での利用希望を把握するため、対象は小学校1～3年生のお子さんのいるご家庭としています。ご兄弟でご利用の場合も調査票は1通となっています。
- 調査票は、あて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。また、利用希望についての質問がありますが、施設や事業の利用にあたっては、利用料などの料金負担を伴うこともありますので、一定の負担も念頭にご回答されるようお願いいたします。
- ご回答いただいた内容については、上記目的以外に使用することは一切ありません。
- 調査基準日は11月1日現在としています。
ご記入が済んだ調査票は、**11月20日（火）までに** 同封の封筒（切手不要）に入れて、放課後児童クラブ支援員にお渡しください。
- このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

小樽市福祉部子育て支援室 こども育成課 子育て支援係
電話：0134-32-4111 内線398（月曜日～金曜日 8:50～17:20）

1 あて名のお子さんご家族の状況

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか？ あて名のお子さんからみた関係でお答えください。
(1つに○)

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問2 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問3 お住まいの地区はどちらですか？

地区	あてはまる番号1つに○				
塩谷地区	1. 蘭島	2. 忍路	3. 桃内	4. 塩谷	
長橋・オタモイ地区	5. オタモイ	6. 幸	7. 長橋	8. 旭町	
高島地区	9. 祝津	10. 赤岩	11. 高島		
手宮地区	12. 手宮	13. 末広町	14. 梅ヶ枝町	15. 錦町	
	16. 清水町	17. 豊川町	18. 石山町	19. 色内3丁目	
中央地区	20. 稲穂	21. 花園	22. 色内1・2丁目	23. 港町	
	24. 堺町	25. 東雲町	26. 山田町	27. 相生町	
	28. 入船1・2丁目				
山手地区	29. 富岡	30. 緑	31. 最上	32. 松ヶ枝	
	33. 入船3～5丁目	34. 天狗山			
南小樽地区	35. 住ノ江	36. 住吉町	37. 有幌町	38. 信香町	39. 若松
	40. 奥沢	41. 天神	42. 真栄	43. 潮見台	44. 新富町
	45. 勝納町	46. 若竹町	47. 築港		
朝里地区	48. 桜	49. 船浜町	50. 朝里	51. 新光	52. 望洋台
	53. 新光町	54. 朝里川温泉			
銭函地区	55. 張碓町	56. 春香町	57. 桂岡町	58. 銭函	59. 見晴町
	60. 星野町				

問4 あて名のお子さんはどちらの小学校に通っていますか？ 小学校名をご記入ください。

() 小学校

問5 あて名のお子さんの学年をご記入ください。

小学校	() 年生
-----	--------

2 あて名のお子さんの放課後の過ごし方

問6 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか？ また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいですか？ 場所と日数について、それぞれ現状と希望をご記入ください。

また、「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。

※「放課後児童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、クラブ指導員の下で、子どもに生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

小学校1～3年生の期間

放課後を過ごす場所 【当てはまる番号すべてに○】	1週当たりの日数	
	現 状 【数字を記入】	希 望 【数字を記入】
1. 自宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
4. 児童館（児童センター） ※1	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2		週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい ⇒下校時から（1つに○） 1. 16時まで 2. 17時まで 3. 18時まで	週（ ）日くらい ⇒下校時から（1つに○） 1. 16時まで 2. 17時まで 3. 18時まで 4. 19時まで
7. ファミリーサポートセンター ※3	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
8. 放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど） ※4	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
9. その他（図書館、公園など）	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用する場合は「6.」に○を付けてください。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組ですが、本市では行っておりません。

※3 「ファミリーサポートセンター」…地域住民の会員組織の仕組みにより子どもを預かる事業です。日常の預り30分300円などの料金設定があります。

※4 「放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど）」…お子さんの発達などに不安のある方が利用する施設です。

問7 あて名のお子さんが **小学校高学年（4～6年生）**になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか？ 場所と日数について、それぞれご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合は、下校時から何時まで利用したいかお答えください。

小学校4～6年生の期間

放課後を過ごす場所 【当てはまる番号すべてに○】	1週当たりの希望日数 【数字を記入】
1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館（児童センター） ※1	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい ⇒下校時から（1つに○） 1. 16時まで 2. 17時まで 3. 18時まで 4. 19時まで
7. ファミリーサポートセンター ※3	週（ ）日くらい
8. 放課後等デイサービス（こども発達支援センターなど） ※4	週（ ）日くらい
9. その他（図書館、公園など）	週（ ）日くらい

※1 ※2、※3、※4 前ページの間6をご参照ください。

問8 **問6または問7で「6.放課後児童クラブ」に○を付けた方にうかがいます。**

あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休業期間（春・夏・冬休み）中の放課後児童クラブの利用希望はありますか？（事業の利用には、前記のとおり一定の利用料がかかります）
利用希望の有無と利用したい時間帯をご記入ください。

（例）9時～16時のように24時間制で記入

区 分	利用希望の有無 【当てはまる番号1つに○】	利用したい時間帯 【数字を記入】
土曜日	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4年生）まで利用したい 3. 高学年（5年生）まで利用したい 4. 高学年（6年生）まで利用したい 5. 利用する必要はない	（ ）時から（ ）時まで
日曜日・祝日 ※	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4年生）まで利用したい 3. 高学年（5年生）まで利用したい 4. 高学年（6年生）まで利用したい 5. 利用する必要はない	（ ）時から（ ）時まで
長期休業期間 （春・夏・冬休み）	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4年生）まで利用したい 3. 高学年（5年生）まで利用したい 4. 高学年（6年生）まで利用したい 5. 利用する必要はない	（ ）時から（ ）時まで

※ 現在、日曜日・祝日に放課後児童クラブは開設していません。

最後に、放課後児童クラブに関してご意見がございましたら、ご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは以上です。
ご協力いただき、ありがとうございました。

この調査票は、**11月20日（火）までに**
同封の封筒（切手不要）に入れて、放課後児童クラブ指導員へお渡してください。

**第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画
ニーズ調査結果報告書**

平成 31 年 3 月

発行 小樽市（福祉部子育て支援室こども育成課）
〒047-8660 北海道小樽市花園 2 丁目 12 番 1 号
電話 0134-32-4111